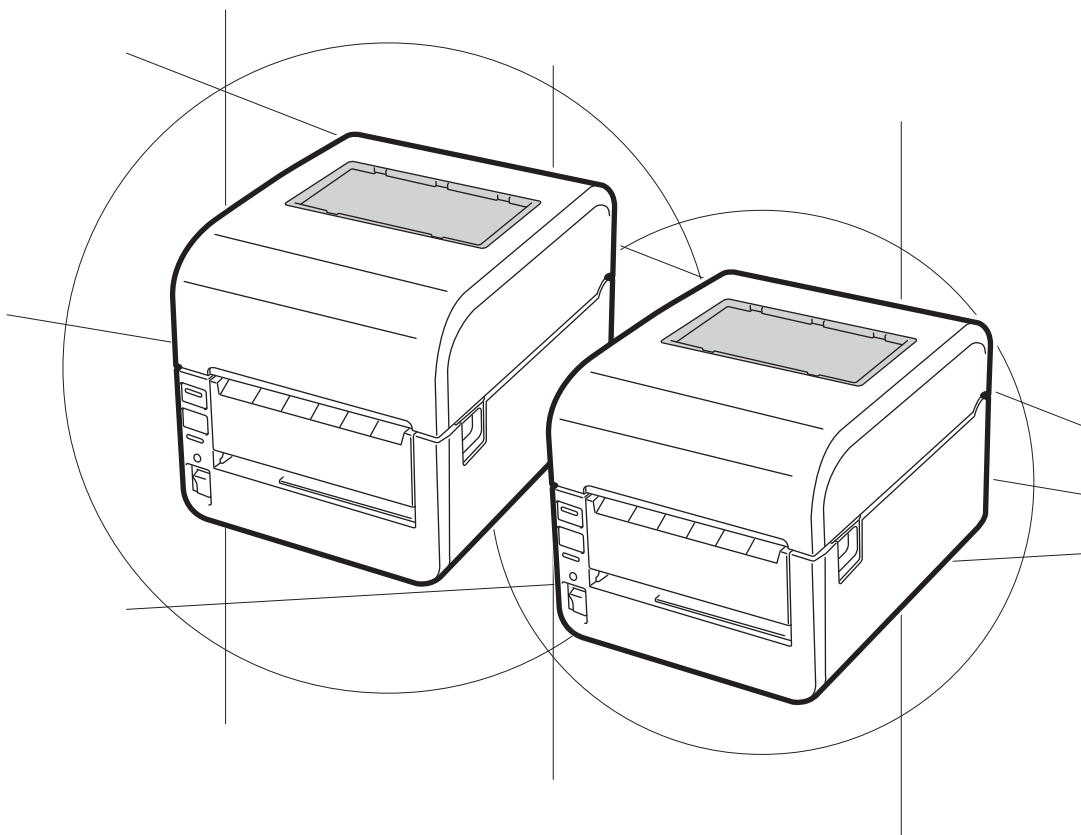


MultiCoder 502L シリーズ

ラベルプリンター ユーザーズマニュアル

MultiCoder 502L3Dシリーズ

MultiCoder 502L3Tシリーズ



このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。



安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアルにはプリンターのどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
 注意	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。






危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		体内に入れると有害な物質であることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⊘」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		お子様を近づけないでください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電</u> や <u>火傷</u> などの <u>傷害</u> が起こるおそれがあります。		電源プラグを中途半端に差し込まないでください。 <u>火災</u> のおそれがあります。
	金属類を差し込まないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		不安定な場所を避けてください。 <u>けが</u> をするおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> のおそれがあります。		電源コードをねじらないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。 <u>感電</u> や <u>発火</u> のおそれがあります。		薬品類をかけないでください。電源コードや本体電気部品の劣化による <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	製品の近くで火器類を扱わないでください。 <u>火災</u> の原因となるおそれがあります。		手や髪の毛を近づけないでください。装置内部に巻き込まれて <u>けが</u> をするおそれがあります。
	直射日光を避けてください。 <u>発火</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の禁止を示します。
	破損した電源コードは使わないでください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		



行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		電源コードはAC100Vのコンセントに差し込んでください。 <u>火災</u> や <u>漏電</u> のおそれがあります。
	電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが破損して <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。万一漏電した場合に <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。
	電源コードは添付のものを使ってください。専用品を使わないと <u>感電</u> や <u>火災</u> のおそれがあります。		特定しない一般的な行為の強制を示します。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内容	記号	内容
 重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。	 チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。

MultiCoderはNECパーソナルプロダクツ株式会社の登録商標です。

PrinterSignalStationはNECソフト株式会社の登録商標です。

BarStar、LabelStarはアイニックス株式会社の登録商標です。

DynaFontはDynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

SVF: Super Visual Formade、RDE: Report Director Enterpriseはウイングアークテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。

Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。

Windows Server 2008は、Microsoft Windows Server 2008 operating system, Standard 日本語版、Windows Server 2008 operating system, Enterprise 日本語版の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのラベルプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本マニュアルは、NECラベルプリンター「MultiCoder 502Lシリーズ」を正しくお使いいただくための手引きです（以降、「本プリンター」と呼びます）。本マニュアルにはプリンターの設置、操作、保守に必要な情報を記載していますので、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにぜひご利用ください。

また、本プリンターにはユーザーズマニュアルのほかに同梱のCD-ROMに収録された「オンラインマニュアル」があります。併せてご活用ください。

本書で説明する製品について

このユーザーズマニュアルは次の製品について説明しています。

印刷モードは、連続印刷、カット印刷、糊（のり）部カット印刷、およびハクリ印刷があり、ハードウェアインターフェースはUSB、LAN、無線LAN、パラレル、RS-232Cがそれぞれあります。印刷モードとハードウェアインターフェースの組み合わせで、お客様の用途に合ったプリンターとなります。

モデル例1： 感熱タイプカット印刷でパラレルインターフェースを利用したい
→MultiCoder 502L3DCP

モデル例2： 熱転写+感熱タイプハクリ印刷でRS-232Cインターフェースを利用したい
→MultiCoder 502L3TSR

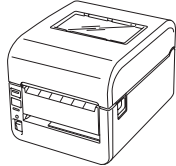
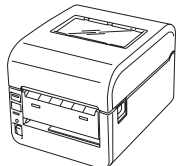
詳しくはカタログをご覧ください。

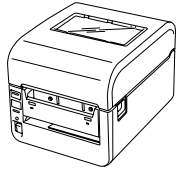
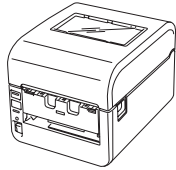
ここでは、基準となる印刷モードのモデルとハードウェアインターフェースを表記します。また、全モデルとも305dpi（12ドット/mm）の印刷解像度で、USBインターフェースを標準装備しています。

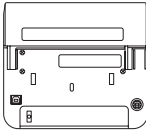
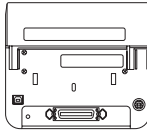
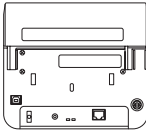
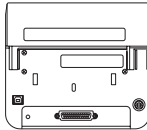
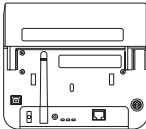
〈感熱タイプ：MultiCoder 502L3Dシリーズ〉

感熱紙に印刷するタイプです（リボン装着できません）。

医療現場や物流などで印刷結果をそれほど長期間保存しなくてもよい場合に使用に適しています。

モデル名（型番）	構成	印刷モード	特長	前面
MultiCoder 502L3D (PR-T502L3D)	標準モデル	連続印刷	連続印刷ができます。	
MultiCoder 502L3DC (PR-T502L3DC)	カッターモデル	カット印刷	— 自動用紙切り離し機構（カッターモジュール）標準装備。 — 連続印刷もできます。	

モデル名 (型番)	構成	印刷モード	特長	前面
MultiCoder 502L3DX (PR-T502L3DX)	糊カッターモデル	糊部カット印刷	<ul style="list-style-type: none"> ラベル糊部をカットするための専用カッターユニットを標準装備。 連続印刷もできます。 	
MultiCoder 502L3DS (PR-T502L3DS)	ハクリモデル	ハクリ印刷	<ul style="list-style-type: none"> 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装備。 連続印刷もできます。 	

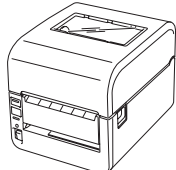
ハードウェア インター フェイス	特長	背面	ハードウェア インターフェイス	特長	背面
USBモデル	USB1.1/2.0 Full-Speed準拠USBインターフェイス (通信速度: 12Mbps、コネクター: USB Bタイプ)。全モデルに標準装備。		USB+ パラレル インターフェイス モデル	IEEE1284規格準拠 双方向パラレルインターフェイス (ニプルモード) 標準装備。	
USB+ LANモデル	IEEE802.3準拠Ethernetインターフェイス (10Base-T/100Base-TX) 標準装備。		USB+ RS-232C モデル	RS-232C準拠標準装備。	
USB+ 無線LAN モデル	無線規格 IEEE802.11b/g準拠、 IEEE802.3準拠Ethernet インターフェイス 標準装備。				


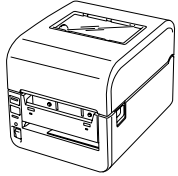
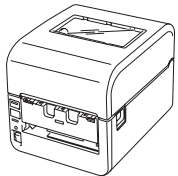
〈熱転写+感熱タイプ : MultiCoder 502L3Tシリーズ〉

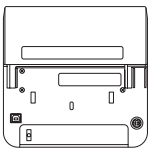
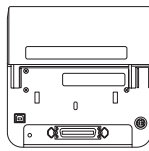

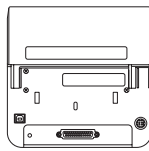
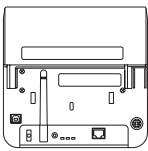
リボンを使用して熱転写印刷するタイプです。

工場の生産ラインや物流など印刷結果を長期間保ちたい場合の使用に適しています。

また病院などでの用途としては、リストバンドに印刷して患者さんの腕に着けるなどの利用方法もあります。

モデル名 (型番)	構成	印刷モード	特長	前面
MultiCoder 502L3T (PR-T502L3T)	標準モデル	連続印刷	連続印刷ができます。	

モデル名 (型番)	構成	印刷モード	特長	前面
MultiCoder 502L3TC (PR-T502L3TC)	カッターモデル	カット印刷	<ul style="list-style-type: none"> 自動用紙切り離し機構 (カッターモジュール) 標準装備。 連続印刷もできます。 	
MultiCoder 502L3TX (PR-T502L3TX)	糊カッターモデル	糊部カット印刷	<ul style="list-style-type: none"> ラベル糊部をカットするための専用カッターユニットを標準装備。 連続印刷もできます。 	
MultiCoder 502L3TS (PR-T502L3TS)	ハクリモデル	ハクリ印刷	<ul style="list-style-type: none"> 自動用紙ハクリ機構 (ハクリモジュール) 標準装備。 連続印刷もできます。 	

ハードウェア インター フェース	特長	背面	ハードウェア インターフェース	特長	背面
USBモデル	USB1.1/2.0 Full-Speed準拠USBインターフェース (通信速度: 12Mbps、コネクタ: USB Bタイプ)。全モデルに標準装備。		USB+ パラレル インターフェース モデル	IEEE1284規格準拠 双方向パラレルインターフェース (ニプルモード) 標準装備。	
USB+ LANモデル	IEEE802.3準拠Ethernetインターフェース (10Base-T/100Base-TX) 標準装備。		USB+ RS-232C モデル	RS-232C準拠標準装備。	
USB+ 無線LAN モデル	無線規格 IEEE802.11b/g準拠、 IEEE802.3準拠Ethernet インターフェース 標準装備。				

マニュアルの構成

このユーザーズマニュアルは、初めて本プリンターをお使いになる方が始めから順序よくお読みになれば、本プリンターを正しく使用できるように書かれています。また日常お使いになる上でわからないことが起こったり、故障かなと思ったりしたときは随時このマニュアルを活用してください。また、本書で記載されていない内容についてはソフトウェアCD-ROMに収められている「オンラインマニュアル」をご覧ください。

本書では熱転写+感熱タイプの標準モデルである「MultiCoder 502L3T」を中心に説明しています。モデルによって異なる場合は、それぞれのモデルごとの説明をしています（モデルに関する説明はvページをご覧ください）。

第1章 初めてお使いになるとき

本プリンターの取り扱い上の注意など、お使いになる前に知っておきたい情報や、本体を箱から出して印刷の準備が整うまでの手順を説明しています。また本プリンターに添付の「ソフトウェアCD-ROM」に収録されているソフトウェアや別売品の紹介もあります。

第2章 操作部とプリンターの設定

操作部のスイッチやランプの機能、ディスプレイの表示内容や本プリンターが持っているさまざまな機能を説明しています。

第3章 日常の保守

リボンなどの消耗品の交換や本体の清掃手順を説明しています。

第4章 故障かな?と思ったときは

プリンターが思うように動作しなかったり、印刷の状態がよくなかったりしたときは、故障を疑う前にまずこの章をお読みください。保証や修理の依頼、本体を運搬するときの準備についても記載しています。



LANと無線LANが搭載されているプリントサーバーのマニュアルは、プリントサーバー専用の箱またはプリンターに同梱されているセットアップガイドおよびプリントサーバーソフトウェアCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。

関連文書について

本プリンターの説明書として、ユーザーズマニュアルの他に以下のマニュアルがあります。

オンラインマニュアル

ソフトウェアCD-ROMに収められている「オンラインマニュアル」では以下について説明していません。必要に応じてご覧ください。オンラインマニュアルはAdobe ReaderまたはAcrobat Reader (Ver.5以降) で閲覧できるPDFファイルです。

第1章 プリンタードライバー

本プリンターのプリンタードライバーのインストール方法、およびプリンタードライバーを使った印刷の手順や印刷の詳細な設定方法について説明しています。

第2章 リモートパネル

リモートパネルのインストール方法、および使い方や設定の変更方法について説明しています。

第3章 PrinterSignalStation for ラベルプリンタ

PrinterSignalStationのインストール方法、および使い方や設定の変更方法について説明しています。

第4章 プリンタドライバー一括設定ツール

1台のコンピューターに登録されている用紙設定やプリンタードライバーの設定を他のコンピューターへ展開するツールの使用方法について説明しています。本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに収録されています。

第5章 バンドルソフトウェア

本プリンターに添付のソフトウェアCD-ROMに含まれているBarStar ProとLabelStar Liteのインストール方法およびアンインストール方法を説明しています。

第6章 リストバンドの印刷方法

リストバンドの印刷方法を説明しています。リストバンドは、病院などで患者さんの腕に着けるなどさまざまな用途で使用することができます。

第7章 オプション

本プリンター用のオプションの取り付け手順について説明しています。

第8章 用紙規格と印刷範囲

本プリンターで使用できる用紙と印刷範囲の説明、および用紙の取り扱いに関する注意事項について説明しています。

付録 技術情報

本プリンターの仕様など技術的な情報が記載されています。

NLPLコマンドマニュアル

本プリンターがサポートする「NEC Label Printer Language (NLPL) : NECラベルプリンター言語」のコマンド解説書です。

MultiCoder SDK説明書

本プリンターを組み込んだシステム開発またはアプリケーション設計の際に参考となる解説書です。

リモートパネル API説明書

添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」のApplication Program Interface (API) に関する解説書です。

PrinterSignalStation API説明書

添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「PrinterSignalStation」のApplication Program Interface (API) に関する解説書です。

リボン／センターリブ／用紙 取り付け・取り外しマニュアル

本プリンターに添付の冊子です。プリンターのそばに置き、リボンや用紙の交換をする際に参照してください。

その他

上記の他にプリンターの梱包箱には本プリンターの操作や設定、または補足的な注意事項などが記載された説明書が添付されることがあります。必要に応じてすぐに参照できるようユーザーズマニュアルやその他の添付品と併せて大切に保管してください。

本プリンターの特長

小型・省スペース設計

装置幅（188mm）の小型化を実現しました。使いやすい前面と右側面操作で本プリンターの状態の確認や設定が行えます。また、左側面に機器などを設置可能な省スペースなデザインを採用し、カバーを開けたときでも奥行をとらない形状となっています。本体にはリボン*1、用紙、カッターモジュール*2、またはハクリモジュール*2がすべて収まり、人通りや荷動きの多い現場でのホコリ、チリの侵入を防止します。

自動用紙先頭位置合わせ機能

用紙交換後、トップカバーを閉じると、印刷時に自動で用紙先端を印刷位置に合わせます。*3

高速印刷

152.4mm/秒（6インチ/秒）の高速印刷が可能です。

手軽な操作

扱いやすいフロントオープン構造により、リボン交換*1はカバーを開けるだけで、用紙交換はカバーを開け、用紙ガイドから外すだけで簡単にできます。また、用紙の残量が分かる便利な窓付きです。

2方式の印刷をサポート

印刷方式は熱転写（リボン転写）*1と感熱（直接発色）の2つ方式を採用しています。

各種用紙に印刷可能

一般感熱紙やコート紙、PETなどのさまざまな用紙に印刷することができます（用紙については1章の「消耗品」（17ページ）を参照してください）。

短ラベル・医療用リストバンド対応

長さが3mmのラベル、ラベルギャップ（ラベルとラベルの間の長さ）が2mmへの印刷が可能です（連続印刷時）。また、患者さんに優しい柔らかな素材のリストバンドへの印刷も可能*1です。

高品位印刷

サーマルヘッドの温度を参照する熱履歴制御を行う機能を持ち、高品位印刷を実現します。

アウトラインフォント・バーコード・2次元コード内蔵*4

プリンターコマンドで内蔵のフォント・内蔵バーコード*5を指定して印刷することができます。また、内蔵アウトラインフォントで拡大文字も精細で滑らかに印刷できます。

センサーしきい値調整機能

各種用紙に応じた印刷位置の調整を行うことができる機能です。

- *1 熱転写+感熱タイプのみ。
- *2 モデルによって構成が異なります。「本書で説明する製品について」（vページ）を参照してください。また、オプションとしても用意されています。
- *3 自動用紙位置先頭合わせを有効にしている場合。
- *4 内蔵フォントとしてDynaFontを使用しています。バーコード/2次元コードの生成にはBarStarProの生成機能を使用しています。
- *5 バーコード/2次元コードの読み取りについてはあらかじめ使用されるバーコードスキャナーでの評価が必要です。

自動用紙カット機能/自動剥離機能

「カッターモジュール*2」によって印刷済みの用紙を自動でカットします。また「ハクリモジュール*2」は印刷済みのラベル紙を台紙から自動で剥離させます。

多種のインターフェースをサポート

すべてのモデルでUSB 1.1/2.0 (Full-Speed) ポートを装備しています。また、お使いの環境に合わせてパラレル・RS-232C・有線LAN・無線LANと多種のインターフェースに対応したモデルを選択可能です。

ネットワーク環境に対応

TCP/IPなどのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバー（有線または無線）*2をサポートしています。また、お使いの環境に合わせてパラレル・RS-232C・有線LAN・無線LANと多種のインターフェースに対応したモデルを選択可能です。

ブザー音

リボン未装着やリボン切れ、用紙なし、またはエラーが発生するとブザー音が鳴ります（ON/OFFの切り替えあり）。

状態監視ソフトウェア

コンピューターの画面上で本プリンターの状態を遠隔監視することができます。PrinterSignalStationの詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。

プリンタードライバー

Windows専用ドライバーにより、Windows環境で簡単に印刷することができます。

リモートパネル

プリンターの各種設定をコンピューターの画面上で行うことができます。リモートパネルの詳細についてはオンラインマニュアルをご覧ください。

帳票作成ツール

帳票を作成する支援ツールとして、「LabelStar Lite」と「BarStar Pro*5」をソフトウェアCD-ROMに収録しています。

抗菌仕様

筐体などには抗菌モールド材を適用しています。

省電力機能

プリンターが待機状態の間、消費電力を抑える機能を持っています。

目次

はじめに	v
本書で説明する製品について	v
マニュアルの構成	viii
関連文書について	ix
本プリンターの特長	x

1章 安全にお使いいただくために 1

警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
無線 LAN（電波）について	2
プリンター（プリントサーバー・無線 LAN）について	4

1章 初めてお使いになるとき 11

1 設置場所を用意する	12
本体の設置について	12
正しく使用するために	13
2 箱の中身を確認する	14
別売品	15
オプション	15
消耗部品	16
消耗品	17
3 各部の名前と機能を覚える	20
外 観	20
前 面	20
背 面	21
印刷機構部	22
4 保護用部品を取り除く	26
5 電源コード・ACアダプターを接続する	27
6 電源をONにする（OFFにする）	29
電源をONにする	29
電源をOFFにする	29
7 リボンを取り付ける	30
8 用紙をセットする	33
センターリブの交換	33
用紙とセンターリブの適合表	33
センターリブの取り外し	34
センターリブの取り付け	34
ロール紙のセット	35

ファンフォールド紙のセット	37
感熱タイプ	37
熱転写+感熱タイプ	39
9 プリンターの設定をする	41
10 テスト印刷をする	42
11 センサーしきい値を調整する	44
12 コンピューターに接続する	46
ディップスイッチの設定を変更する	46
USB ケーブルで接続する	47
LAN ケーブルで接続する	48
パラレルインターフェースケーブルで接続する	49
RS-232C インターフェースケーブルで接続する	50
13 ソフトウェアをインストールする	52
14 ネットワークの設定をする	52

2章 操作部とプリンターの設定 53

スイッチ	54
ランプ	55
7セグメントLED	55
ディップスイッチ（DIP SW）	56
ポリウム	59
DIP SW9 調整値の切り替え	59
設定手順	60
リモートパネルで調整する方法	60
調整ポリウムで調整する方法	60
リモートパネル	61

3章 日常の保守 63

清 掃	64
カバーを清掃する	64
サーマルヘッド／リボンローラー／ブラテンを清掃する	65
用紙収納部を清掃する	66
ハクリモジュールを清掃する	67
消耗品の交換	68
消耗部品の交換	68
サーマルヘッドを交換する	68
ブラテンブロックを交換する	71

4章 故障かな?と思った ときは73

エラー表示が出ているときは	74
エラー表示が出ていないのにおかしいときは	76
用紙がつまったとき	78
リボンが途中で切れたとき	79
リボンの巻きが乱れたとき	80
保証および修理の依頼について	81
お客様登録の方法	81
保証について	81
修理に出される前に	82
保守サービスについて	82
プリンターの寿命について	82
補修用部品について	82
マニュアルの再購入について	83
情報サービスについて	83
プリンターを運搬するときは	84
プリンターの廃棄とリボンの処理について	84
プリンターの廃棄について	84
リボンの廃棄について	84

索引	85
----------	----



安全にお使いいただくために

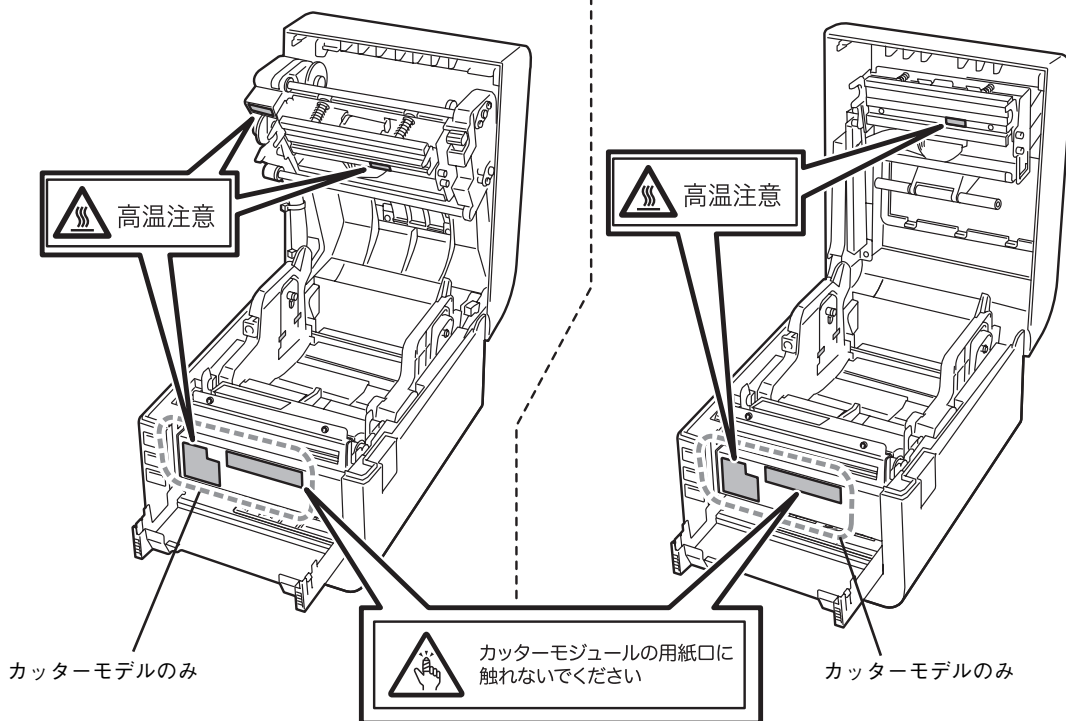
警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡ください。

MultiCoder 502L3Tタイプ

MultiCoder 502L3Dタイプ



重要

本製品には無線LANを装着したモデルもあります。無線LANを装着したプリンターは電波を使用する装置*1となります。そのため、使用する用途または場所によっては医用機器に影響を与えるおそれがあります。警告ラベルの表示と併せて「無線LAN（電波）について」（2ページ）に示す注意事項を厳守してください。

*1 USB+無線LANモデルやオプションとして無線LANを使用した場合のみが対象となります。モデルについては「本書で説明する製品について」（vページ）を参照してください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。プリントサーバーや無線LANについても記載していますが、装着されていないモデルもあります（vページ参照）。

無線LAN（電波）について

無線LANを装着したプリンター*1の場合は、電波を使用する装置となります。そのため、使用する用途または場所によっては医用機器に影響を与えるおそれがあります。

無線LAN機能を持つプリントサーバーを搭載したプリンターは、2.4GHz帯域の電波を使用した無線機器として扱われます。2.4GHz帯域は電子レンジなどの産業・化学・医用機器のほか、工場の生産ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定省電力無線局（免許を要しない無線局）で使用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の周波数を変更して、混信を回避してください。（周波数の変更方法についてはプリントサーバーソフトウェアCD-ROM内のオンラインマニュアルの「6 Web Setupの利用」－「無線機能を設定する」の「通信チャンネル」を参照してください。）

その他、この機器から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などは本製品の使用を停止し、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口までお問い合わせください。



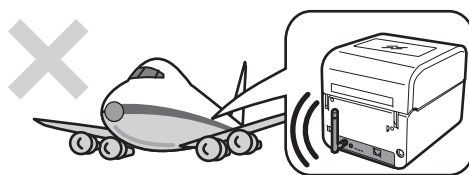
警告

植込み型医用機器を
近づけない



植込み型医用機器を装着されている方は、装着部位をプリンターのアンテナ部より22cm以内に近づけないでください。

飛行機内では
使用しない



飛行機内では無線LAN（プリントサーバー）を装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、プリントサーバーもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

*1 USB+無線LANモデルやオプションとして無線LANを使用した場合のみが対象となります。モデルについては「本書で説明する製品について」（vページ）を参照してください。

使用禁止区域では
使用しない



心臓ペースメーカーや補聴器などの医用機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が電波を発生する無線LANの使用を禁止した区域では、本プリンターを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANの使用を認めた区域でも、近くで医用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源はOFFにしてください。

使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

注意

補聴器のそばで
使用しない



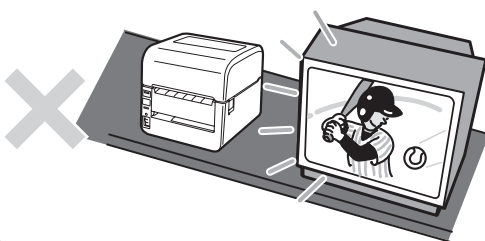
補聴器を装着されている方、またはその近くでプリンターを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くでプリンターを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。



ラジオ、テレビの近くに
設置しない



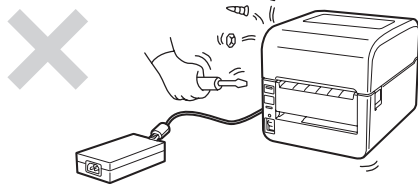
ラジオやテレビの近くには設置しないでください。そばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



プリンター（プリントサーバー・無線LAN）について

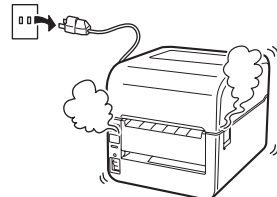
警告

分解・修理・
改造はしない



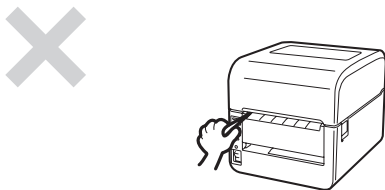
ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理/改造を行ったりしないでください。ACアダプターやプリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら
電源をOFFにする



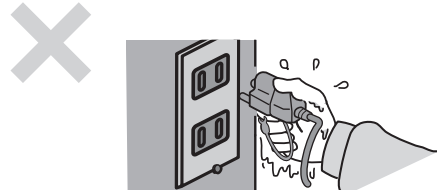
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を
差し込まない



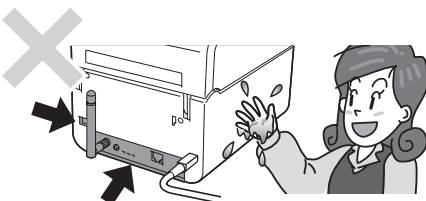
プリンターのすきまから金属片や針金などの異物を落したり、差し込んだりしないでください。感電や故障のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ
を触らない



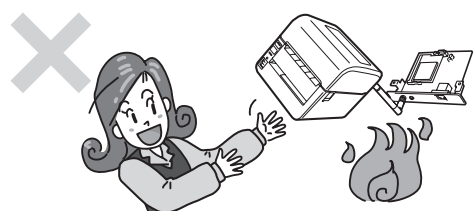
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で触らない



通電中にぬれた手でプリンター背面のインターフェース部やプリンター内部に触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

火の中に投げ入れない



プリンターやプリントサーバーを火の中に投げ入れないでください。プラスチック部分が溶け出して、有害な成分が発生することがあります。

⚠️ 注意

100V以外のコンセントに
差し込まない



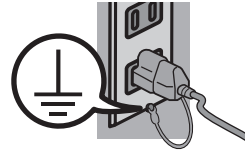
電源は100Vの電圧、電流の壁付きコンセントをお
使いください。100V以外の電源を使うと火災や漏
電になるおそれがあります。



必ずアース（接地）する



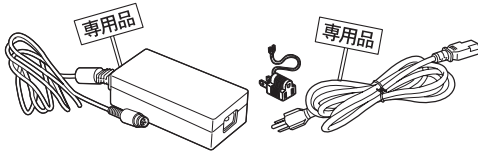
万一漏電した場合、火災・感電のおそれがありま
す。ただし、ガス管、水道管、蛇口、避雷針など
にはアース（接地）を行わないでください。



変換プラグ・電源コード・
ACアダプターは本体
付属品を使用する



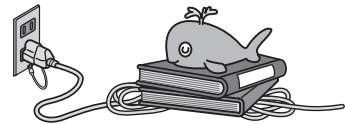
付属品以外を使用すると、火災のおそれがありま
す。



電源コードは
曲げたりねじつ
たりしない



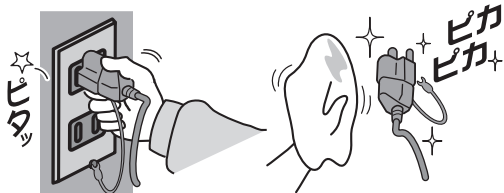
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ね
たり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないで
ください。またステーブルなどで固定することも
避けてください。コードが破損し、火災や感電の
原因となるおそれがあります。



電源プラグを中途半端
に差し込まない



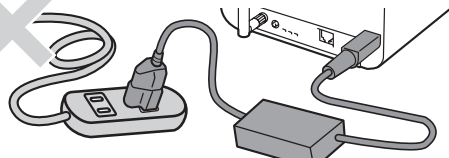
電源プラグはしっかりと差し込んでください。中
途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触
不良の発熱による火災の原因となるおそれがあり
ます。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布
でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこ
りがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、
火災となるおそれがあります。



延長コードは使用しない



添付の専用ACアダプターや変換プラグ、電源コード
だけでコンセントに届かない場所に設置しないでくだ
さい。延長コードの過容量、延長コードへのコンセ
ントの差し込みにより発熱するおそれがあります。



損傷した電源コード
は使わない



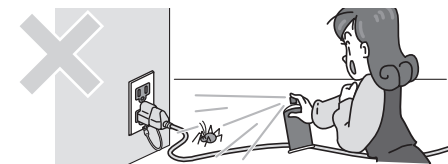
電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



電源コードに薬品類
をかけない



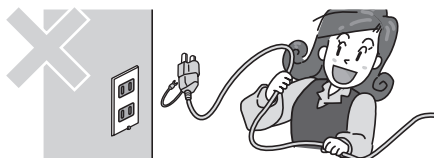
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となるおそれがあります。



電源コードを抜くときは
コードを引っ張らない



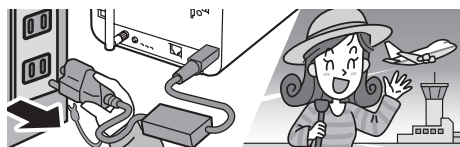
電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



長期間使用しないときは
電源プラグを抜く



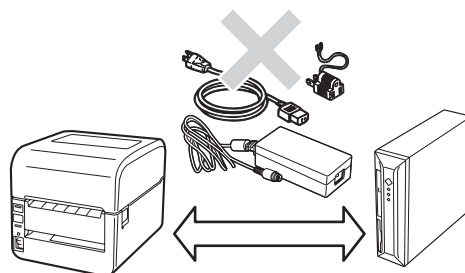
連休などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためプリンター本体および専用ACアダプタの電源プラグを抜いてください。火災の原因となることがあります（電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります）。



添付の変換プラグ・電源
コード・ACアダプター
を転用しない



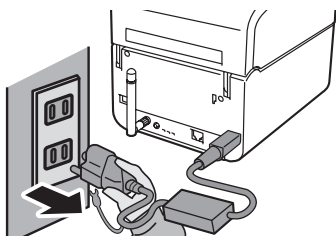
添付の電源コードと変換プラグ、ACアダプターは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。



電源プラグに手が届きやすい
場所に置く



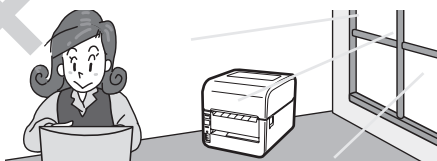
プリンターの電源スイッチをOFFにしても、電源コードをコンセントから抜くまでプリンター内部は通電状態にあります。万一の事故に備えてコンセントに接続した電源プラグにすぐ手が届くようにしてください。



直射日光が当たるところ、
温度変化の激しいには
置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。また温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）、湿気の多い場所には設置しないでください。温度変化により内部の温度が上がったり、結露現象が起こったりして、故障の原因となるばかりでなく、異常動作したり、火災を引き起こしたりすることがあります。



調理台や加湿器、熱器具
のそばなど、油煙や湯気、
熱が当たる場所に置か
ない



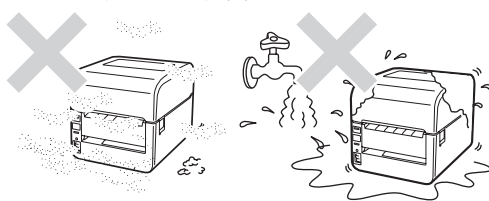
絶縁が悪くなったり、カバーや電源コードの被膜が
溶け、火災・感電の原因となるおそれがあります。



ほこり・湿気の多い
場所で使用しない



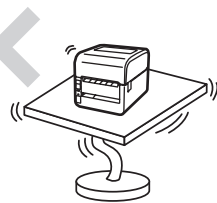
プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。



不安定な場所に
置かない



プリンターを縦型OA
ラックの上段など
不安定な場所には置か
ないでください。けがや
周囲の破損の原因とな
るおそれがあります。



本プリンターを子供に使
せたり、幼児の手の届く
ところに置いたりしない



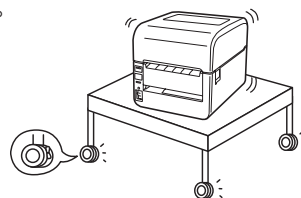
感電・けがの原因となるおそれがあります。



キャスター付きの台に
設置したときは、必ず
キャスター止めをする



動いたり、倒れたりして、けがの原因となるおそれ
があります。

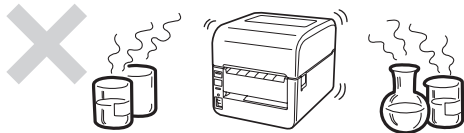


腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない



腐食性ガス（二酸化硫黄、硫酸化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。

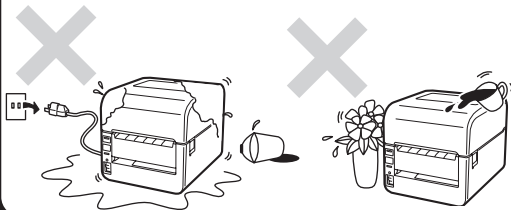
もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



プリンターおよびプリントサーバー内に異物を入れない



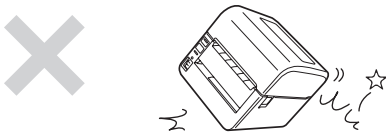
プリンターおよびプリントサーバー内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。



プリンターを落としたり、強い衝撃を与えたりしない



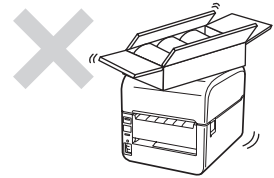
カバーおよびプリントサーバーなどが破損し、火災・感電のおそれがあります。



プリンターの上に重い物を置かない



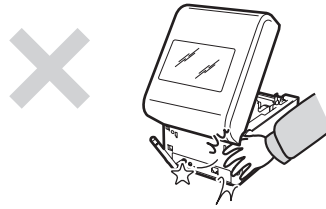
置いた物がバランスを崩して倒れたり、落ちたりして、けがの原因となるおそれがあります。



指を挟まない



トップカバーを開けたときに指を挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。



突起物に手などをぶつけない



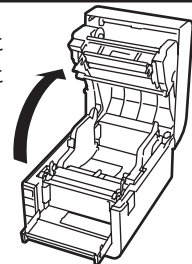
本体内部のロックプレートやトップカバー左側には突起物があります。突起物などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。



トップカバーやリボンフレームユニットは後側へ90度全開にする



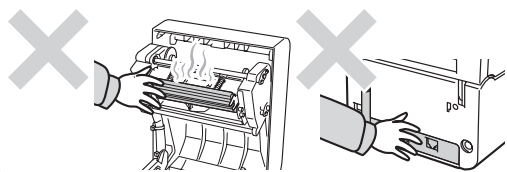
中途半端な状態にしておくとか不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。



高温注意



プリンターの内部には、使用中に高温になるサーマルヘッドという部品があります。カバーを開けて作業する場合は十分に冷めてから行ってください。また長時間プリントサーバーを使用した後、取り外したりする場合は、十分に冷めてから行ってください。使用中に触ると火傷するおそれがあります。



リボンをなめたりしない



リボンはお子様の手が届かない所に保管してください。インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。



巻き込み注意



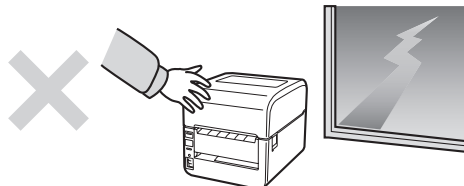
プリンターの動作中、用紙やリボンなどの消耗品を交換するときはプリンターのギヤなどに髪の毛やスカーフ、ネクタイを近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



雷が鳴りだしたらプリンターに触らない



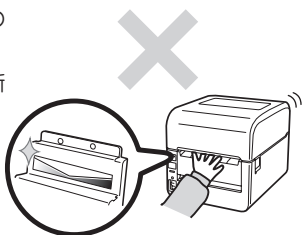
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターおよびプリンター背面のインターフェース部には触らないでください。



カッターモジュール用紙口には手を触れない



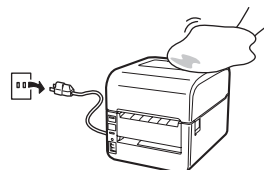
カッターモジュールの用紙口に触れないでください。用紙を切断するカッターが内蔵されており、けがの原因となるおそれがあります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



感電の原因となるおそれがあります。



シンナーやベンジンなどの
薬品類で本プリンターを
拭かない



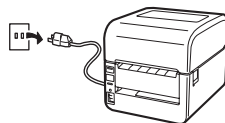
火災の原因となるおそれがあります。



移動するときは、
電源コードや他の
接続コードを抜く



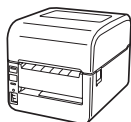
接続したまま移動するとコードが傷つき、火災・
感電の原因となるおそれがあります。



プリンターの近くで携帯電話
等を使用しない



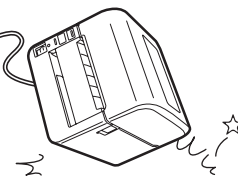
携帯電話、PHS、ポケットベル、無線通信機、電子レンジ
をプリンターの近くで使用しないでください。
プリンターが異常動作するおそれがあります。



万一、本体を落としたり、
カバーなどを破損した
場合は、電源プラグを
コンセントから抜き、お買い上げの販売店
に連絡する



そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあり
ます。



1章

初めてお使いになるとき

この章では、プリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、コンピューターに接続するまでを以下の手順で説明します。

- | | | |
|----|--------------------|--------|
| 1 | 設置場所を用意する | →12ページ |
| 2 | 箱の中身を確認する | →14ページ |
| 3 | 各部の名前と機能を覚える | →20ページ |
| 4 | 保護用部品を取り除く | →26ページ |
| 5 | 電源コード・ACアダプターを接続する | →27ページ |
| 6 | 電源をONにする（OFFにする） | →29ページ |
| 7 | リボンを取り付ける | →30ページ |
| 8 | 用紙をセットする | →33ページ |
| 9 | プリンターの設定をする | →41ページ |
| 10 | テスト印刷をする | →42ページ |
| 11 | センサーしきい値を調整する | →44ページ |
| 12 | コンピューターに接続する | →46ページ |
| 13 | ソフトウェアをインストールする | →52ページ |
| 14 | ネットワークの設定をする | →52ページ |

✓ チェック

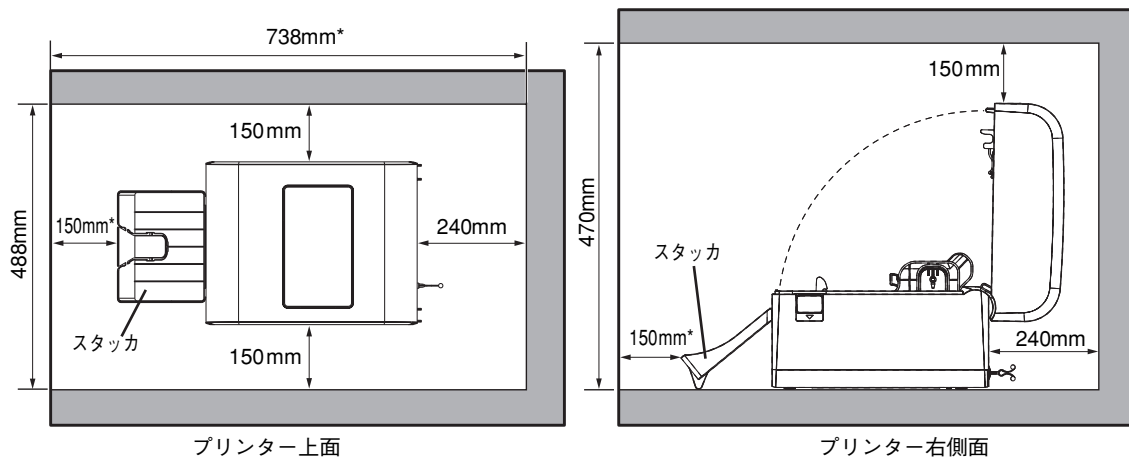
オプションの「プリントサーバー（LAN）」「プリントサーバー（無線LAN）」「カッターモジュール」「糊カッターモジュール」または「ハクリモジュール」を併せて購入した場合も、いったんここに示す手順に従って標準装備の状態ですべてのセットアップを完了してからオプションの取り付けを行ってください。

1 設置場所を用意する

設置にふさわしい場所を用意してください。また、ここでは設置準備および日常の運用の際に本プリンターを正しく安全に動作させるための注意事項も記載しています。

本体の設置について

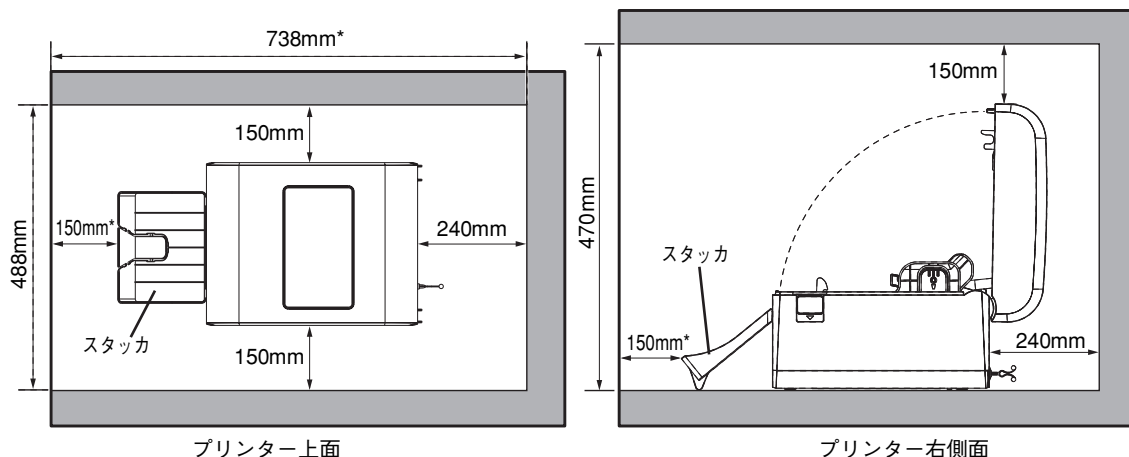
本プリンターを操作するための十分なスペースが確保でき、風通しが良く、平らで水平な場所に本プリンターを設置してください。また、本プリンターの周辺には、下図のような空間を確保してください。



プリンター上面

プリンター右側面

MultiCoder 502L3Tタイプ (熱転写+感熱タイプ)



プリンター上面

プリンター右側面

MultiCoder 502L3Dタイプ (感熱タイプ)

* 上図はカッターモデルの場合のもので。カッターモデル以外のモデルの場合は、装置前面から150mmを確保してください。全長は633mmになります。

注意

次のような場所には設置しないでください。火災や感電、けがの原因となるおそれがあります。

- 直射日光が当たる場所
- 高温、多湿な場所
- 急激な温度変化がある場所
- 振動のある場所
- ほこりが多い場所
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 火気や水気に近い場所
- 不安定な台の上

重要

油や溶剤が付着するような場所に本プリンターを設置しないでください。カバーなどのプラスチック部品が割れたり、劣化したりする原因となります。

正しく使用するために

本プリンターを正しくお使いいただくために、次のことを守ってください。守らないと、故障・誤動作・破損の原因となります。

- プリンターを動作させる際は必ず用紙をセットしてください。
- 印刷した用紙の表面を先の尖ったものでこすったり、火を近づけたり、水をかけたり、薬品・溶剤等で拭かないでください。印刷内容の判読不能の原因となります。印刷面の定着性を確認の上、適切な方法で取り扱ってください。
- 本プリンターはNEC指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合があるため、消耗品はNEC指定品を使用することを推奨します。
- リボンや用紙などの消耗品は、室温で適度な湿度のところに保管してください。直射日光の当たるところ、高温で多湿なところに保管すると、変質・変色の原因となります。また、変質・変色したりリボンや用紙を使用すると、印刷品質への悪影響や故障の原因となります。
- オプション類はNECの純正品（指定品）を使用してください。NECの純正品（指定品）以外を使用すると、故障・誤動作の原因となります。
- 使用済みリボンは、各自治体の条例等に従って処分してください。使用済みリボンを不法投棄すると、法律で罰せられます。法律上は「廃プラスチック」に該当します。一般家庭では「プラスチック品」として分別処分してください。

2 箱の中身を確認する

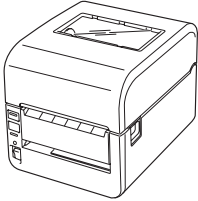
箱を開けて、次のものが入っていることを確認してください。万一足りないものや破損しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



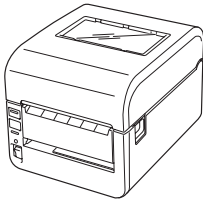
梱包材 (箱や緩衝材など) はプリンターを運搬するときに必要なとなりますので、保管しておいてください。

どちらかのタイプ (vページ参照)

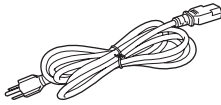
プリンター本体
MultiCoder 502L3Tタイプ




プリンター本体
MultiCoder 502L3Dタイプ



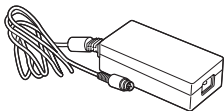
電源コード*1



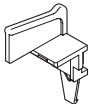
変換プラグ



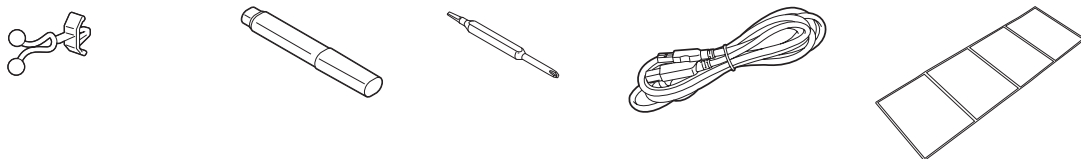
ACアダプター*1




センターリブ



- ケーブルロック
 ヘッドクリーナー
 調整ドライバー
 USBケーブル
 テスト用紙 (感熱紙)



ソフトウェア
CD-ROM*2



保証書



ソフトウェアの
ご使用条件




NECサービス網
一覧



リボン/センターリブ/
用紙取り付け・取り外し
マニュアル




ユーザーズマニュアル
(本書)




USB+LAN モデル/USB+無線LANモデルにのみ添付

プリントサーバーソフト
ウェアCD-ROM
(オンラインマニュアル収録)

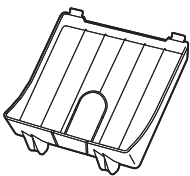


セットアップガイド 無線LAN注意ラベル*3



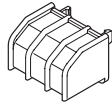
カッターモデル/糊 (のり)
カッターモデルにのみ添付

スタッカ



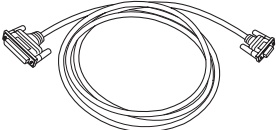
ハクリモデルにのみ添付

ハクリガイド



USB+RS-232Cモデルのみ添付

RS-232Cインター
フェースケーブル



パラレルインターフェースケーブルおよびLANケーブルは添付されていません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めください。

*1 本プリンター以外の用途には絶対にご使用にならないでください。
 *2 CD-ROMには、プリンタードライバーおよび「リモートパネル」「PrinterSignalStation for ラベルプリンタ」「LabelStar Lite」「BarStar Pro」のソフトウェアとオンラインマニュアル他が収められています。
 *3 USB+無線LANモデルにのみ添付されています。

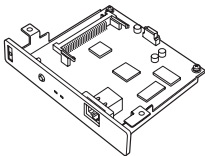
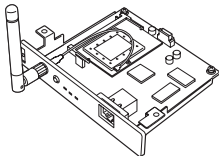
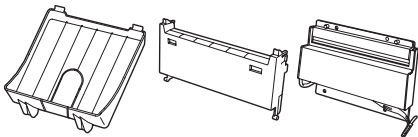
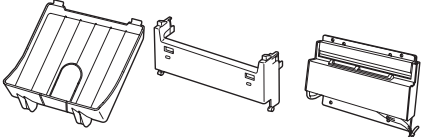
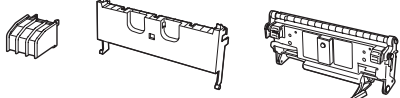
別売品

ご購入にあたりましては、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

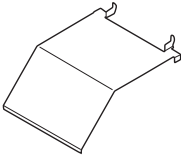
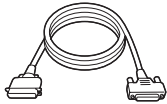
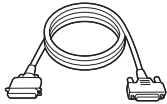
オプション

オプションの取り付け手順などの詳細については、オプションに添付の説明書またはソフトウェアCD-ROMに収められている「オンラインマニュアル」を参照してください。

オプションのプリントサーバー（LANボード、無線+LANボード）、カッターモジュール、およびハクリモジュールの取り付け/取り外しをお客様ご自身で行わない場合はお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。有償で対応します。

形状	品名	説明
	PR-NP-08 プリントサーバー (LANボード)	IEEE 802.3準拠Ethernetインターフェース。 TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。
	PR-NP-09 プリントサーバー (無線+LANボード)	IEEE 802.11b/g準拠Ethernet（無線LAN）インターフェース。 TCP/IPなどのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバー（無線LAN）です。 有線LANのポートも装備しています。IEEE 802.3準拠Ethernet（有線LAN）インターフェース。TCP/IPのプロトコルに対応したプリンター内蔵型のプリントサーバーです。
	PR-T500L-01 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットするユニットです。ラベルのカットは、連続用紙から切り離す方法と、完全に切り離さずに中央をつなげておく方法があります。 ラベル糊（のり）部のカットには適していません。（リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）：薄紙30万カット*1
	PR-T500L-11 カッターモジュール	ラベル紙を適切な位置で自動的にカットし、連続用紙から切り離します。 ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。 （リストバンドはカッターモジュールではカットできません。印刷した後、はさみで切ってください。） 寿命（目安）： ラベル糊（のり）部13万カット*1
	PR-T500L-02 ハクリモジュール	ラベルを自動的に台紙から剥離させます。 寿命（目安）：15km*1

* 1 寿命の回数・距離は当社評価による目安であり、保証値ではありません。ご使用になるラベル/タグの印刷条件などによって大きく異なる場合があります。

形状	品名	説明
	PR-T500L-04 ペーパーテーブル (L)	ファンフォールド紙を送るときや接続しているケーブルを保護するための部品です。
	PC-PRCA-01 プリンタケーブル	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機 (DOS/V対応機) 用パラレルインターフェースケーブルです。D-Sub25ピン・1.5m。
	PC-CA205 プリンタケーブル	PC98-NXシリーズ用パラレルインターフェースケーブルです。D-Sub25ピン・4m。

プリンターに内蔵することができるオプションは5つあります。

例えば、カッターモジュールとプリントサーバーを使用していたが、ハクリモジュールと無線LANにしたいときなど、さまざまな組み合わせがあります。

✓チェック

- カッターモジュールとハクリモジュールは同時に装着することはできません。
- プリントサーバー (LAN)、プリントサーバー (無線LAN)、パラレルインターフェース、およびRS-232Cインターフェースは同時に装着することはできません。

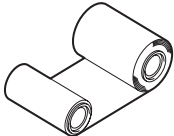
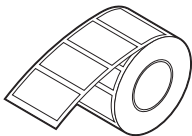
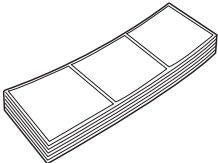
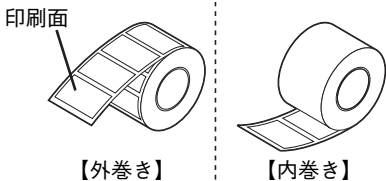
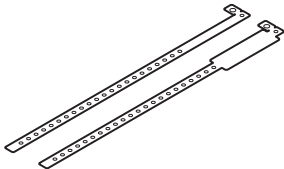
消耗部品

形状	品名	説明
	PR-T500M3-TC01 ヘッドクリーナー	本プリンターのサーマルヘッドを清掃するためのペンです。プリンターに1本標準で添付されています。
	PR-T500L3-TH01 サーマルヘッドブロック	印刷するための機構部品です。 寿命 (目安): ラベル長約25km分の印刷
	PR-T500L-PB01 プラテンブロック	用紙の押さえと用紙送りをする機構部品です。 寿命 (目安): ラベル長約25km分の印刷

✓チェック

本プリンターはNECが指定する消耗部品を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗部品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗部品はNEC指定品のご使用をお勧めします。

消耗品

形状	品名	説明
	リボン	熱転写印刷をする際に使用する黒色のリボンです。 詳しくは「リボン一覧」(18ページ)を参照してください。
	用紙 (ロール紙)	本プリンターで使用できる用紙です。 用途に応じたさまざまな用紙を用意しています。 詳しくは「用紙一覧」(18ページ)をご覧ください。なお、ロール紙には下図のように「外巻き」と「内巻き ^{*1} 」があります。 本プリンターは「外巻き」を推奨します。
	用紙 (ファンフォールド紙)	 【外巻き】 【内巻き】
	リストバンド	本プリンターで使用できるリストバンドです。 用途に応じたサイズを用意しています。詳しくは「リストバンド一覧」(19ページ)をご覧ください。

* 1 粘着力の弱い内巻き用紙は、紙づまりの原因となる場合があります。

✓ チェック

- 本プリンターはNECが指定する消耗品を使用時に、印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、消耗品はNEC指定品のご使用をお勧めします。
- 印刷品位を保つためにリボンおよび用紙は使用期限内にお使いください。

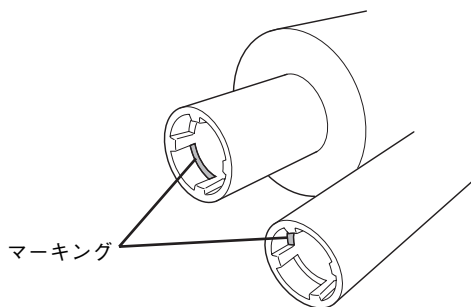
リボン一覧

お客様の仕様に合わせた対応もできます。お買い求めの販売店にご相談ください。

品名	型番	仕様	説明
ワックスリボン40	PR-T500L-111S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性は低いが高感度でコストが安いリボン。
ワックスリボン60	PR-T500L-112S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスリボン90	PR-T500L-113S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスリボン112	PR-T500L-114S	幅：112mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン40	PR-T500L-411S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 ワックスより耐性が高く、印刷品位の高いリボン。
ワックスレジンリボン60	PR-T500L-412S	幅：60mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン90	PR-T500L-413S	幅：90mm×長さ：100m	
ワックスレジンリボン112	PR-T500L-414S	幅：112mm×長さ：100m	
レジンリボン40	PR-T500L-711S	幅：40mm×長さ：100m	各5個入り。 耐性、印刷品位に優れたリボン。
レジンリボン60	PR-T500L-712S	幅：60mm×長さ：100m	
レジンリボン90	PR-T500L-713S	幅：90mm×長さ：100m	
レジンリボン112	PR-T500L-714S	幅：112mm×長さ：100m	

リボン種類マーキング色一覧表

リボンには種類によって色分けがされています。マーキングされている場所は次のとおりです。



リボン種類	色
ワックスリボン	赤
ワックスレジンリボン	青
レジンリボン	黒
リストバンドリボン	なし (マーキングはされていません。)

用紙一覧

各種材質、サイズ、加工仕様、印刷仕様に対応しています。詳細はMultiCoderのホームページ (<http://nec8.com/products/label>) を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

印刷方式	品名	説明
感熱	一般感熱紙	安価な感熱紙で、ラベルとタグを用意しています。
	耐保存感熱紙	保存性に優れたラベルです。
	ユボ感熱	合成紙のラベルです。
熱転写 (リボンが必要)	コート紙	安価な熱転写用のラベルです。
	タグ紙	安価な熱転写用のタグです。
	ユボ	合成紙のラベルです。
	白PET 銀PET	PETフィルムのラベルです。

用紙とリボンの適合表

下表は一般的な目安であり、ラベルの表面加工や使用条件によって異なるため、あらかじめ印刷品質を評価する必要があります。

◎ 非常に適している ○ 適している × 適していない

リボン	用紙			
	コート・タグ	ユボ	白PET・銀PET	リストバンド
ワックスリボン	◎	×	×	×
ワックスレジンリボン	◎	◎	○	×
レジンリボン*1	×	○	◎	×
リストバンドリボン	×	×	×	◎

* 1 レジンリボンでの細線（0.1～0.2mm幅）は、かすれる場合がありますので注意してください。

リボン幅と用紙幅の適合表

リボン幅	対応可能な用紙幅 (台紙含む)
40mm	25～35mm
60mm	25～55mm
90mm	55～85mm
112mm	85～118mm

リストバンド一覧

リストバンドは、病院などで患者さんの腕に着けるなど、さまざまな用途で使用することができます。詳細はMultiCoderのホームページ（<http://nec8.com/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、リストバンドはリストバンド専用の「リストバンドリボン」をご使用ください。

セット*1	内容	品名	型番	リストバンド仕様（1本）	説明
Bセット	リストバンド リボン（2本）*2	リストバンド・ リボンセットB	PR-T500-SAAA001	（印刷部幅×印刷部長さ） 26*3×70mm （バンド部幅×全体の長さ） 13×288mm	リボンと印刷部 が太いバンドの セットです。 リストバンドを 留めるホック （白）*4も同梱し ています。
	リストバンド Bタイプ（10ロール （500本））				
Nセット	リストバンド リボン（2本）*2	リストバンド・ リボンセットN	PR-T500-SAAA002	（印刷部幅×印刷部長さ） 13*3×70mm （バンド部幅×全体の長さ） 13×288mm	リボンと印刷部 が細いバンドの セットです。 リストバンドを 留めるホック （白）*4も同梱し ています。
	リストバンド Nタイプ（10ロール （500本））				

* 1 セットでの販売の他、リストバンドBタイプ／Nタイプ、リボン、ホックをそれぞれ個別で販売しています。ホックは、白以外に赤、青、緑、黄を個別販売にて用意しています。詳しくはMultiCoderのホームページ（<http://nec8.com/products/label>）を参照するか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

* 2 リボン1本に対してリストバンドは5ロールが使用目安です。

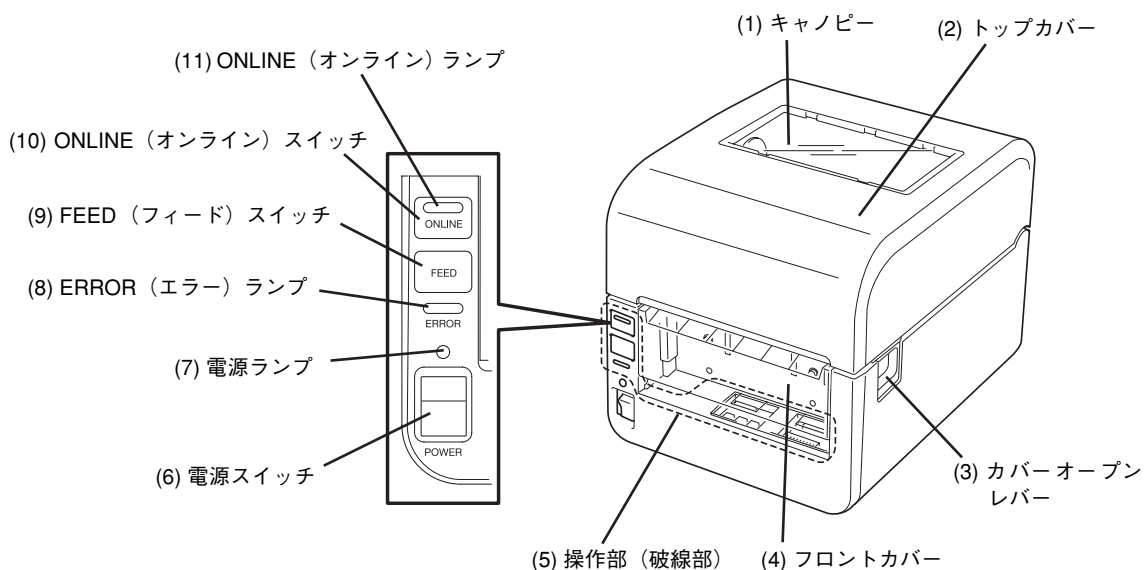
* 3 印刷部の幅です。印刷内容を保証する幅ではありません。

* 4 リストバンドセットに同梱されるホックの色は白です。

3 各部の名前と機能を覚える

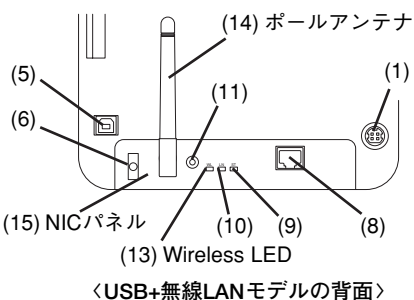
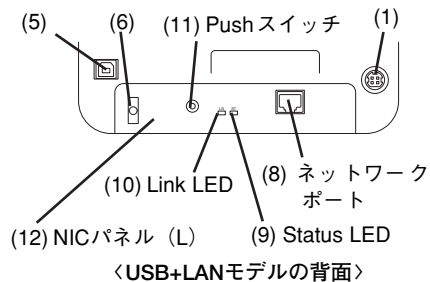
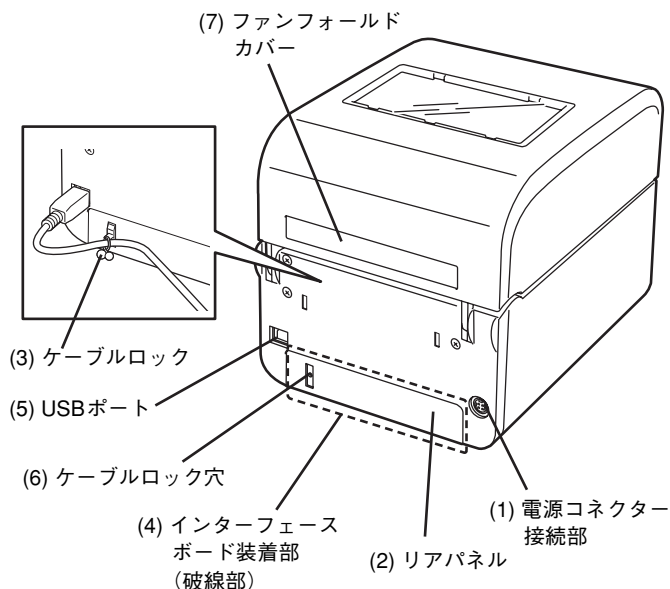
外観

前面



番号	部品名	機能
(1)	キャノピー	用紙の残量を確認する窓です。
(2)	トップカバー	用紙およびリボンを取り外すときや交換、紙詰まりの処理をするときに開閉します。
(3)	カバーオープンレバー	トップカバーを開けるときに押します。
(4)	フロントカバー	前面のカバーです。プリンターのスイッチやボリュームを操作する際に開きます。
(5)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは2章の「操作部とプリンターの設定」(53 ページ) を参照してください。
(6)	電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 : ON ○ : OFF
(7)	電源ランプ	プリンターの電源の状態を表示するランプです。 点灯 : 電源がONの状態です。 消灯 : 電源がOFFの状態です。
(8)	ERROR (エラー) ランプ	エラーが発生したときに点灯・点滅するランプです。
(9)	FEED (フィード) スイッチ	用紙を送るスイッチです。スイッチは放したときに有効になります。
(10)	ONLINE (オンライン) スイッチ	押すたびにデータを印刷できる状態 (オンライン状態) と印刷できない状態 (オフライン状態) を交互に切り替えるスイッチです。スイッチは放したときに有効になります。
(11)	ONLINE (オンライン) ランプ	印刷可能な状態や印刷の一時停止中に点滅・点灯するランプです。

背面



1 初めてお使いになるとき

番号	部品名	機能
(1)	電源コネクター接続部	添付のACアダプターの電源コネクターを接続するところです。
(2)	リアパネル	プリントサーバー (LANまたは無線LANボード) を取り付ける際に取り外すパネルです。
(3)	ケーブルロック	USBケーブルをUSBポートから抜けにくくするために通す部品です。
(4)	インターフェースボード装着部	LAN、無線LAN、パラレル、RS-232Cインターフェースボードを装着する場所です。
(5)	USBポート	添付のUSBケーブルを接続するポートです。
(6)	ケーブルロック穴	装置に添付のケーブルロックを差し込む穴です。
(7)	ファンフォールドカバー	ファンフォールド紙を使用するときに開けるカバーです。

〈USB+LANモデル／USB+無線LANモデルのみ〉

番号	部品名	機能
(8)	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します (10BASE-T/100BASE-TX)。
(9)	Status LED	通信中に点滅します。
(10)	Link LED	10BASE-T/100BASE-TXまたは無線 (Infrastructureモード) で接続が確立されると点灯します。
(11)	Pushスイッチ	自己診断印刷や出荷時の状態へのリセットを行うことができます。

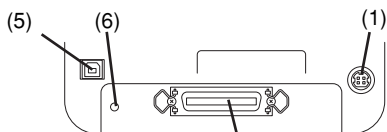
〈USB+LANモデルのみ〉

番号	部品名	機能
(12)	NICパネル (L)	LANモデル専用のパネルです。

〈USB+無線LANモデルのみ〉

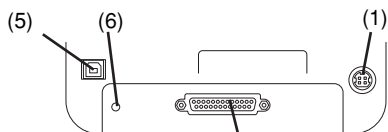
番号	部品名	機能
(13)	Wireless LED	AdHocモードで接続が確立されると、2秒周期で点滅します。Infrastructureモードで接続が確立すると、点灯します。
(14)	ポールアンテナ	無線LAN用のアンテナです。
(15)	NICパネル	無線LAN+LANモデル専用のパネルです。

〈USB+パラレルインターフェースモデルのみ／USB+RS-232Cモデルのみ〉



(16) パラレルポート

〈USB+パラレルインターフェースモデルの背面〉



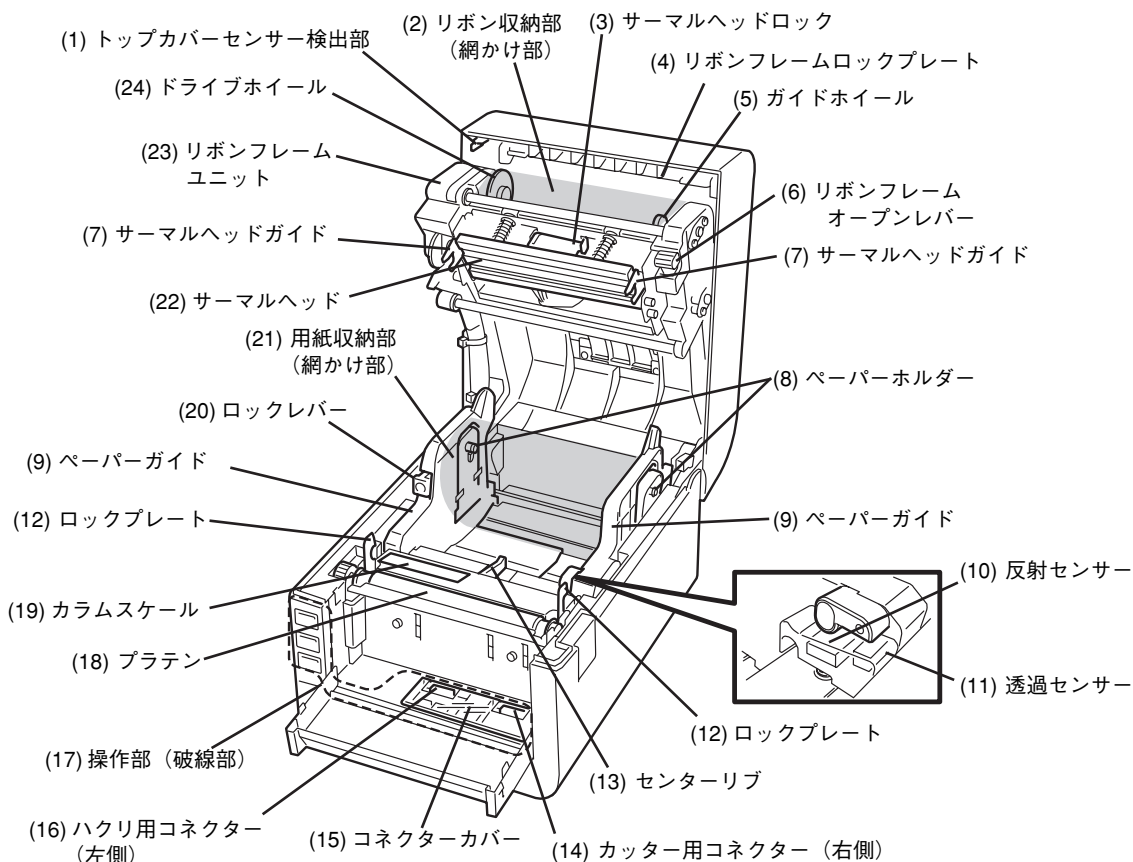
(17) RS-232Cポート

〈USB+RS-232Cモデルの背面〉

番号	部品名	機能
(16)	パラレルポート	パラレルインターフェースケーブルを接続するポートです。
(17)	RS-232Cポート	RS-232Cインターフェースケーブルを接続するポートです。

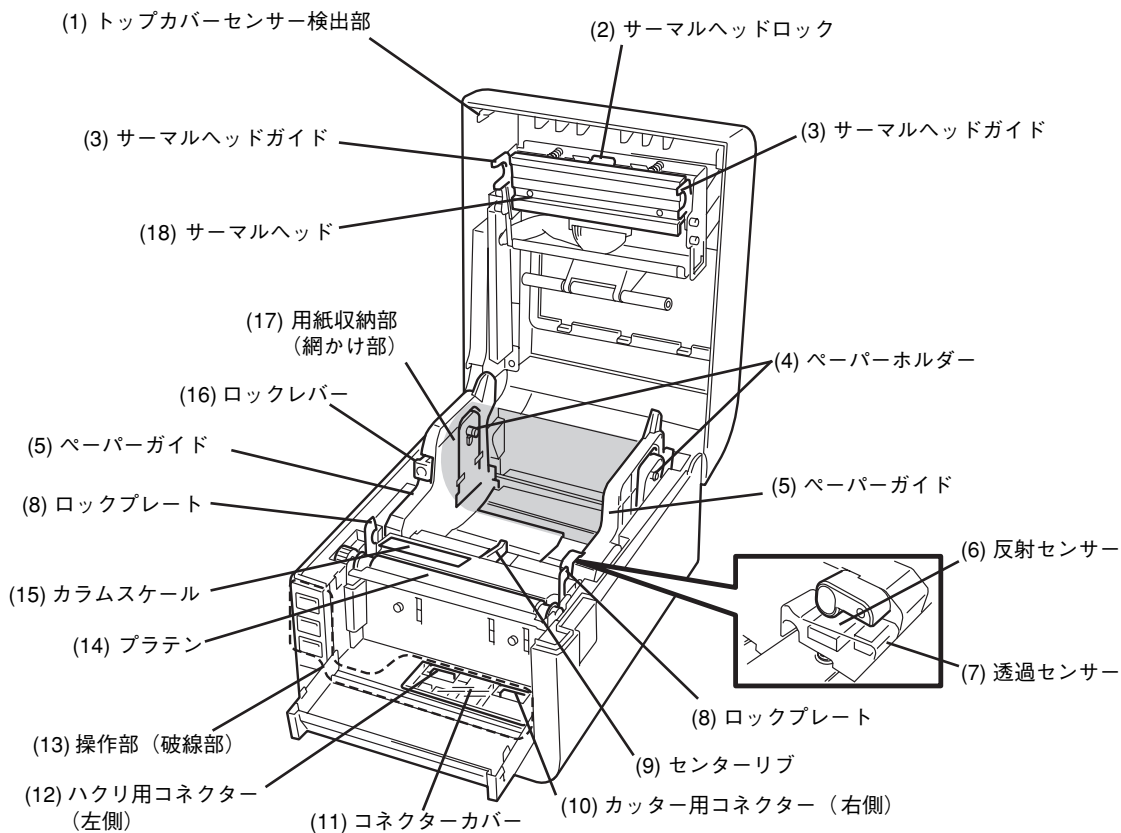
印刷機構部

〈MultiCoder 502L3T (熱転写+感熱タイプ)〉



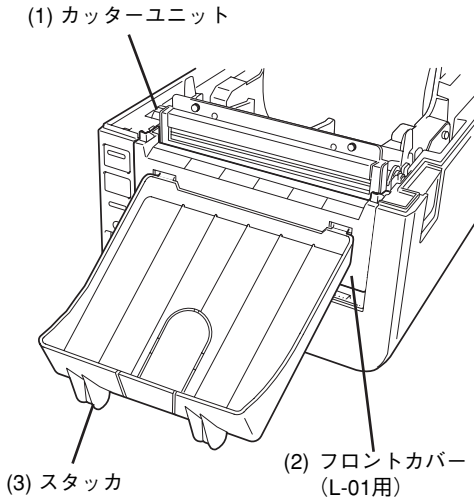
番号	部品名	機能
(1)	トップカバーセンサー検出部	トップカバー開閉時、センサーを検出するための部分です。
(2)	リボン収納部	リボンを収納する場所です（手前：巻き取り側／奥：供給側）。
(3)	サーマルヘッドロック	サーマルヘッドを本体から取り外すためのレバーです。
(4)	リボンフレームロックプレート	リボンを入れるときにリボンフレームユニットを解除する部品です。
(5)	ガイドホイール	リボンを保持します。
(6)	リボンフレームオープンレバー	リボンフレームを下げるときに押すレバーです。
(7)	サーマルヘッドガイド	プラテンとサーマルヘッドを固定させる部品です。
(8)	ペーパーホルダー	用紙を保持する可動式のガイドと軸です。
(9)	ペーパーガイド	用紙を保持するガイドです。
(10)	反射センサー	用紙の位置を感知するセンサーです（用紙裏の黒マーク感知用）
(11)	透過センサー	用紙の位置を感知するセンサーです（用紙間のギャップ（すき間）感知用）
(12)	ロックプレート	トップカバーを留める部品です。
(13)	センターリブ	用紙を保持するガイドです。外巻き用と内巻き用があり、購入時は外巻き用が取り付けられています。内巻き用は本プリンターに添付されています。
(14)	カッター用コネクタ（右側）	カッターユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(15)	コネクタカバー	コネクタを保護するカバーです。
(16)	ハクリ用コネクタ（左側）	ハクリユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(17)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは2章の「操作部とプリンターの設定」（53 ページ）を参照してください。
(18)	プラテン	用紙を送ります。
(19)	カラムスケール	用紙をセットする際にペーパーホルダーの位置合わせの目安となるメモリです。
(20)	ロックレバー	用紙幅を調整するときに押すレバーです。
(21)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。
(22)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。
(23)	リボンフレームユニット	リボンを収めるユニットです。
(24)	ドライブホイール	リボンを巻き取り側へ送ります。

<MultiCoder 502L3D (感熱タイプ)>



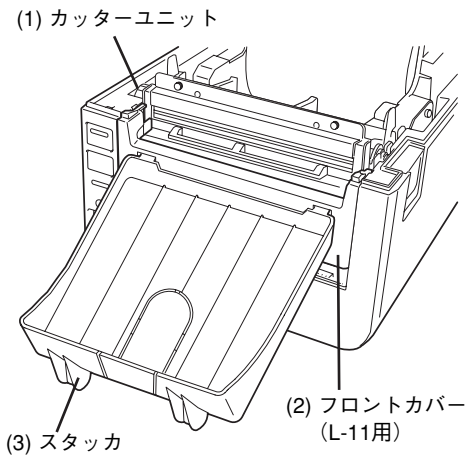
番号	部品名	機能
(1)	トップカバーセンサー検出部	トップカバー開閉時、センサーを検出するための部分です。
(2)	サーマルヘッドロック	サーマルヘッドを本体から取り外すためのレバーです。
(3)	サーマルヘッドガイド	プラテンとサーマルヘッドを固定させる部品です。
(4)	ペーパーホルダー	用紙を保持する可動式のガイドと軸です。
(5)	ペーパーガイド	用紙を保持するガイドです。
(6)	反射センサー	用紙の位置を感知するセンサーです (用紙裏の黒マーク感知用)
(7)	透過センサー	用紙の位置を感知するセンサーです (用紙間のギャップ (すき間) 感知用)
(8)	ロックプレート	トップカバーを留める部品です。
(9)	センターリブ	用紙を保持するガイドです。外巻き用と内巻き用があり、購入時は外巻き用が取り付けられています。内巻き用は本プリンターに添付されています。
(10)	カッター用コネクタ (右側)	カッターユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(11)	コネクタカバー	コネクタを保護するカバーです。
(12)	ハクリ用コネクタ (左側)	ハクリユニットのケーブルを接続するコネクタです。
(13)	操作部	プリンターのさまざまな設定を行う場所です。詳しくは2章の「操作部とプリンターの設定」(53 ページ) を参照してください。
(14)	プラテン	用紙を送ります。
(15)	カラムスケール	用紙をセットする際にペーパーホルダーの位置合わせの目安となるメモリです。
(16)	ロックレバー	用紙幅を調整するときに押すレバーです。
(17)	用紙収納部	用紙を収納する場所です。
(18)	サーマルヘッド	熱を加えて印刷する部品です。

〈カッターモデル／オプション：PR-T500L-01〉



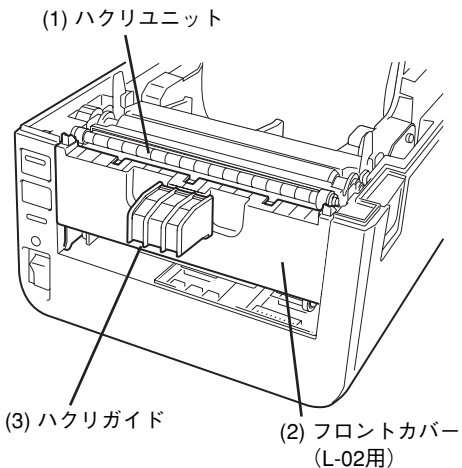
番号	部品名	機能
(1)	カッターユニット	<ul style="list-style-type: none"> 印刷済みの用紙を切り離します（フルカット方式）。 印刷済みの用紙の中央部分が次の用紙と部分的につながった状態でカットします（パーシャルカット方式）。 連続して用紙に印刷をします（ただしカットはしません）。
(2)	フロントカバー (L-01用)	専用のフロントカバーです。
(3)	スタッカ	カットした用紙をためておく部品です。

〈糊（のり）カッターモデル／オプション：PR-T500L-11〉



番号	部品名	機能
(1)	カッターユニット	<ul style="list-style-type: none"> ラベル糊（のり）部をカットするための専用カッターユニットです。印刷済みの用紙を切り離します（フルカット方式）。パーシャルカットはできません。 連続して用紙に印刷をします（ただしカットはしません）。
(2)	フロントカバー (L-11用)	専用のフロントカバーです。
(3)	スタッカ	カットした用紙をためておく部品です。

〈ハクリモデル／オプション：PR-T500L-02〉

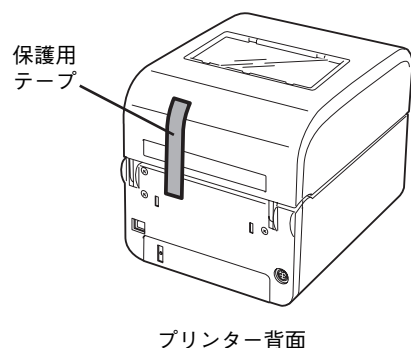
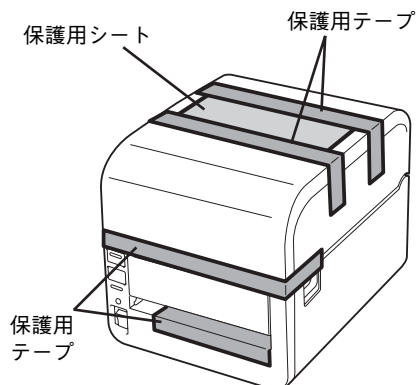


番号	部品名	機能
(1)	ハクリユニット	<ul style="list-style-type: none"> 印刷済みの用紙を台紙から剥離します。 連続して用紙に印刷をします（ただし剥離はしません）。
(2)	フロントカバー (L-02用)	専用のフロントカバーです。
(3)	ハクリガイド	剥離した用紙をガイドするユニットです。

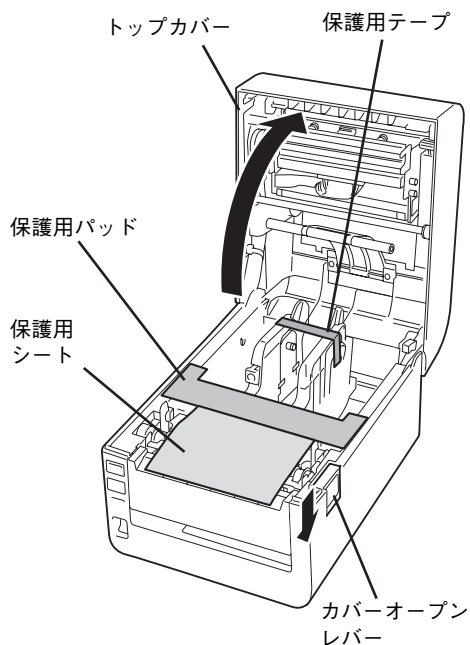
4 保護用部品を取り除く

プリンター本体には運搬時の衝撃からプリンターを守るためにテープが貼り付けられています。また印刷機構部には保護用シートと保護用パッドが入っています。これらはプリンターを使用するときには必要ありません。

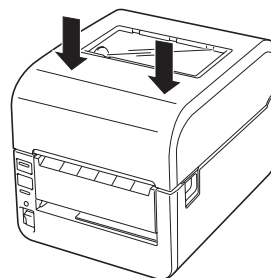
- ① プリンターを箱から取り出した後、保護用テープと保護用シートを取り除きます。



- ② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にします。
- ③ プリンター内部の保護用テープ、保護用シートおよび保護用パッドを取り除きます。



- ④ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



5 電源コード・ACアダプターを接続する

注意

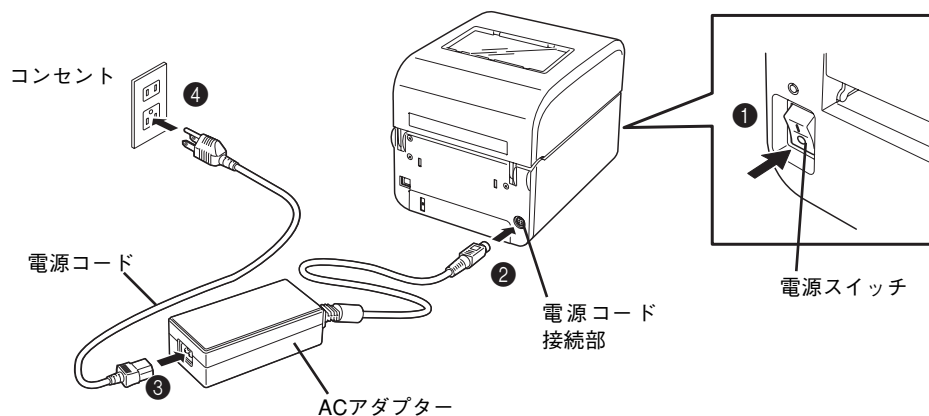
電源コードを接続するときは次のことを守ってください。守らないと火災や感電の原因となります。

- 電源コードは電流容量10アンペア（A）以上の壁付きコンセントに接続してください。
- 本プリンターに添付の電源コードを使用してください。
- コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。
- 延長コードを使った配線はしないでください。
- 電源コードの抜き差しはプラグを持って行ってください。
- アース線は必ずアース端子に接続してください。
- 電源コードのプラグは根元までしっかりと差し込んでください。
- 電源コードが損傷した場合は、すぐにお近くの販売店または保守サービス会社に修理を依頼してください。
- 電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないようにしてください。
- むれた手で電源プラグの抜き差しを行わないでください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜き、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。
- 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。電源の供給を完全に停止するためには電源プラグを抜く必要があります。電源スイッチをOFF「○」にしても電源の供給は停止しません。

重要

- アース線は切断しないでください。切断するとアース端子に接続できなくなり、故障の原因となります。
- アース線は、キャップを外してからアース端子に接続してください。
- アース線をコンセントと一緒に差し込まないでください。
- プラグを差し込む前にプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大容量の電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- 添付の電源コード、変換プラグ、およびACアダプターを他の装置で使用しないでください。

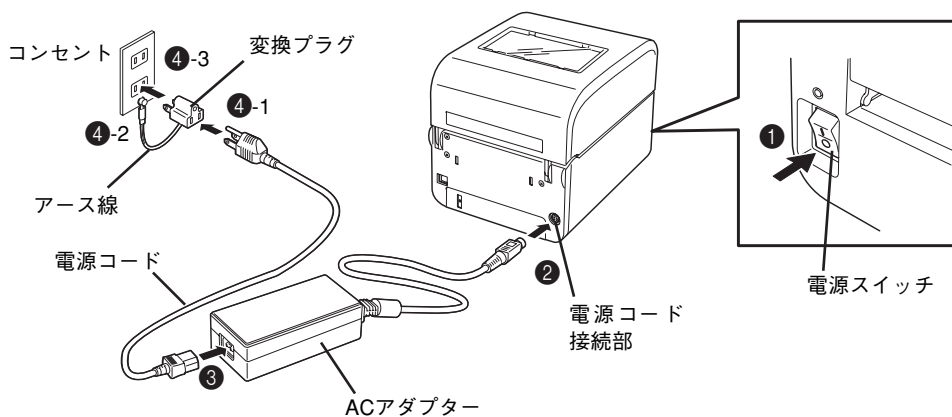
- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
「○」側がOFFです。
- ② ACアダプターの電源コネクタをプリンターの電源コード接続部に接続します。
- ③ 電源コードをACアダプターに接続します。
- ④ 〈コンセントが3極の場合〉
電源コードをそのままコンセントに接続します。



添付の変換プラグは使用しません。大切に保管してください。

〈コンセントが2極の場合〉

- ④-1 電源コードのプラグに変換プラグを取り付けます。
- ④-2 変換プラグのアース線をコンセントにあるアースプラグに接続します。
- ④-3 変換プラグをコンセントに接続します。



6 電源をONにする (OFFにする)

本プリンターは電源ON時にサーマルヘッドやメモリーのチェックを行います。

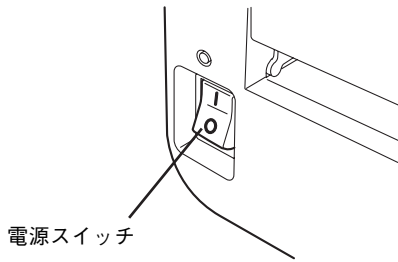
重要

電源のON/OFFは電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜き差ししてON/OFFすると、故障の原因となります。

電源をONにする

プリンターの電源スイッチをONにします。

「I」側がONです。



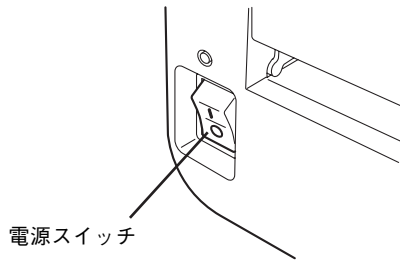
操作部のONLINEランプ（緑）、ERRORランプ（赤）、および電源ランプ（緑）が点灯し、コネクターカバー下の7セグメントLED（以降、「7セグメントLED」と呼びます）には「E」が表示されます。（7セグメントLEDについては2章の「操作部とプリンターの設定」（53 ページ）を参照してください。）

電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示したときは、4章の「エラー表示が出ているときは」（74 ページ）を参照してください。

電源をOFFにする

プリンターの電源スイッチをOFFにします。

「O」側がOFFです。



重要

用紙の印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。紙づまりや故障の原因となります。ただし、プリンターから異臭がしたり発煙しているときは、ただちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

7 リボンを取り付ける

MultiCoder 502L3Dタイプは印刷方式が感熱方式のため、この項目を飛ばして次へ進んでください。

本プリンターは「熱転写」と「感熱」という2種類の印刷方式に対応しています。熱転写方式とは、サーマルヘッドの熱でリボンのインクを溶かし、用紙に定着させる印刷方式です。感熱方式とは、発色剤を含んだ用紙にサーマルヘッドで熱を加え、発色させる印刷方式です。

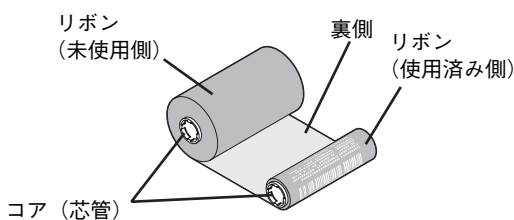
本プリンターに取り付けることのできるリボンについては「リボン一覧」(18ページ)を参照してください。また使用する用紙とリボンの適合については「用紙とリボンの適合表」(19ページ)を参照してください。ここでは、初めて本プリンターにリボンを取り付ける手順について説明します。

注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

重要

- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、リボンはNEC指定品を使用することを推奨します。
- 感熱方式で印刷するときは、リボンを取り付けしないでください。リボンを取り付けて印刷した場合、印刷に汚れが出たり、サーマルヘッドが破損したり、サーマルヘッドに溶けたリボンが付着したりして、サーマルヘッドの交換(有償)が必要になります。
- リボンには裏と表(インク面)がありますので、注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換(有償)が必要になります。
- 途中まで使用したリボンの未使用側/使用済み側の見分け方は、下図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- リボン幅と用紙幅の差が大きい場合、シワが発生するおそれがあります。下表を参考に用紙幅に合ったリボンを使用してください。



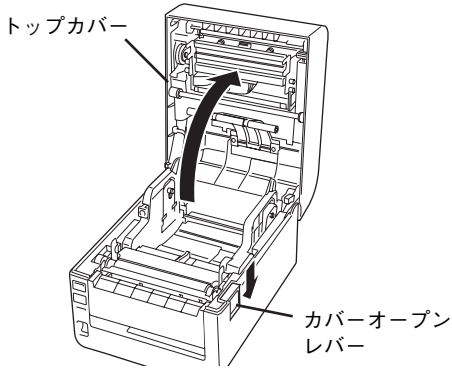
リボン幅	対応可能な用紙幅 (台紙含む)
40mm	25~35mm
60mm	25~55mm
90mm	55~85mm
112mm	85~118mm

- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。
- リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

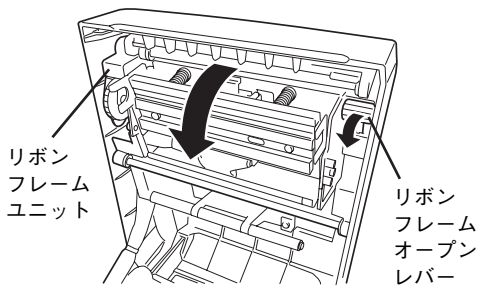
チェック

- NEC指定以外のリボンを取り付けて印刷した場合、その結果に対しては責任を負いかねます。
- リボンから用紙に転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの [ネガイメージ] を選択して印刷する際はご注意ください。

- ① カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



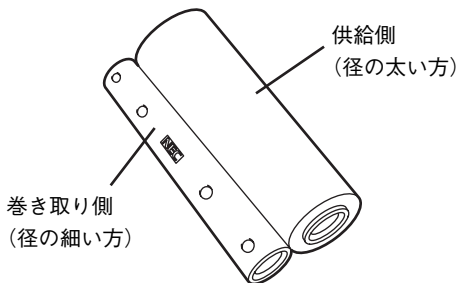
- ② リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



- ③ リボンを袋から取り出します。

リボンの種類によって色分けがされています（「リボン種類マーキング色一覧表」（18ページ）参照）。

リボンを袋から出したときは下図のようになっています。

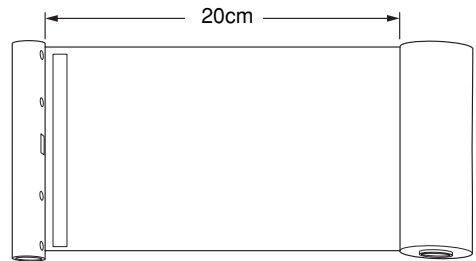


- ④ 両手で供給側のシール部分（右側）を離します。

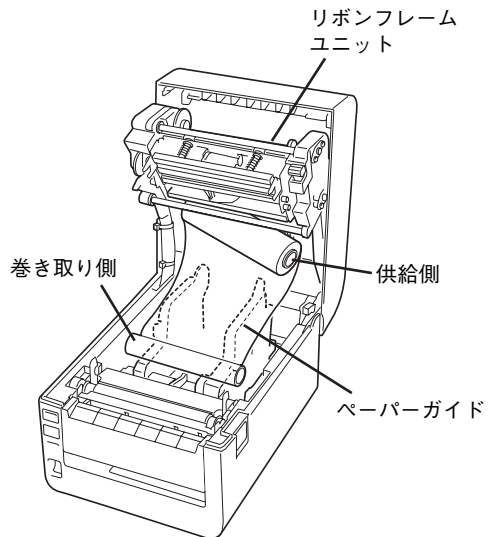


巻き取り側のシール部分は離さないでください。

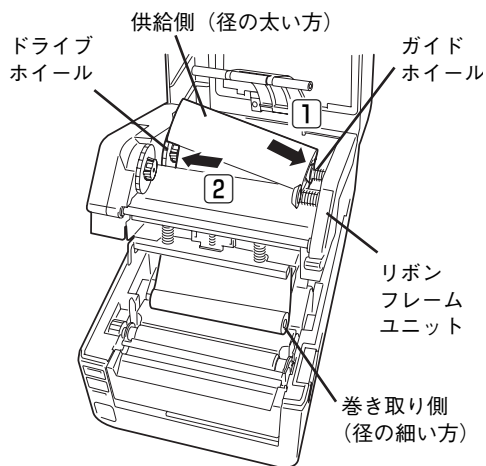
- ⑤ 透明な部分を20cmくらい広げます。



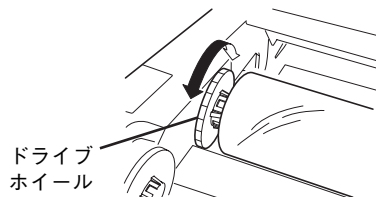
- ⑥ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に置き、供給側をリボンフレームユニットの下をくぐらせます。



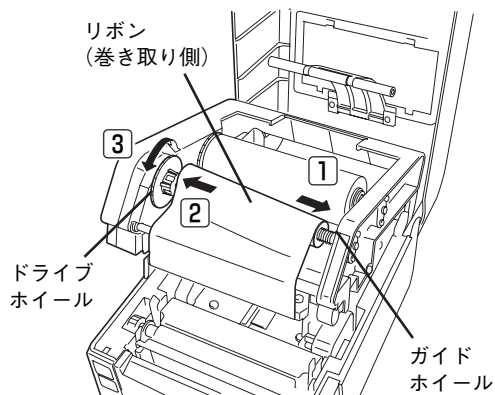
- 7 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。
- 8 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。



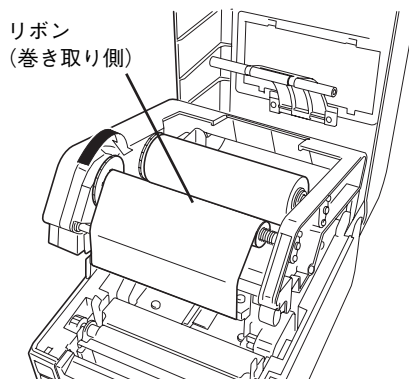
ドライブホイールに入らないときは前後に回しながら入れます。



- 9 リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。
前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいときは前後に回しながら入れてください。

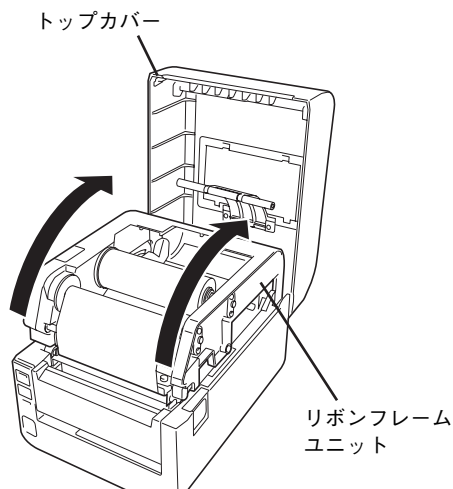


- 10 ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。

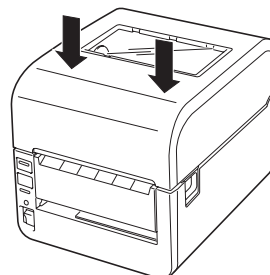


途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

- 11 リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。



- 12 トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上で完了です。

8 用紙をセットする

ここでは、初めて本プリンターに用紙を取り付ける手順について説明します。

- プリンターの中に入れて使用するロール紙の場合 35ページ
- プリンターの外で使用するファンフォールド紙の場合 37ページ

本プリンターではラベルとタグを使用することができます。用紙はNEC指定の純正品を推奨します（「用紙一覧」（18ページ）を参照）。

用紙の購入および用紙の作成につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくとな意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- 印刷後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。

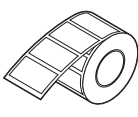
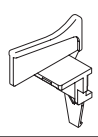
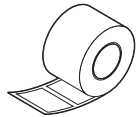
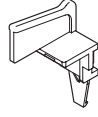
🔑 重要

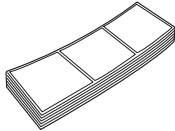
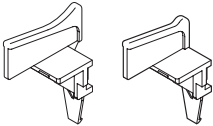
- 本プリンターは NEC 指定の消耗品を使用した時に印刷品質や性能が最も安定するように設計されています。NEC指定以外の消耗品を使用した場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、用紙はNEC指定品を使用することを推奨します。
- ご使用になる用紙の種類に合わせてセンサーの感度調整を行ってください。「11 センサーしきい値を調整する」（44ページ）を参照して補正設定を行ってください。

センターリブの交換

使用する用紙に合わせてセンターリブを交換してください。取り外したセンターリブは大切に保管してください。センターリブを交換後、センサーしきい値調整を行ってください。（「11 センサーしきい値を調整する」（44 ページ）参照。）

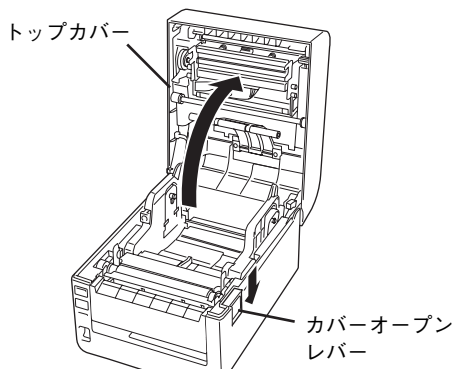
用紙とセンターリブの適合表

用紙	センターリブ	色	説明
外巻き 		ブラック	装置にはじめから装着されています。
内巻き 		グレー	装置に添付されています。

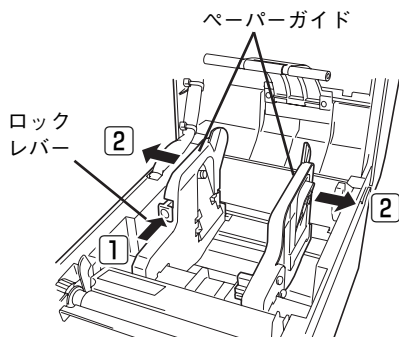
用紙	センターリブ	色	説明
ファンフォールド紙 		ブラック・グレー	どちらのセンターリブでも使用できます。

センターリブの取り外し

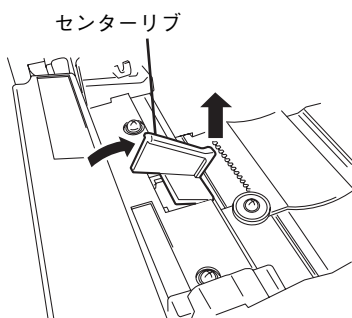
- ① カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



- ② ロックレバーを押しながらペーパーガイドを両端まで広げます。



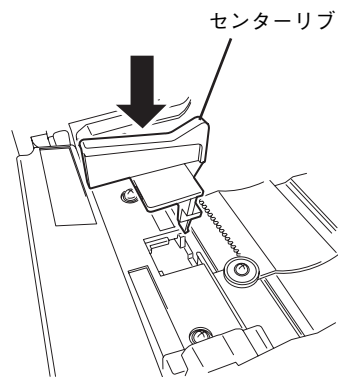
- ③ センターリブを上を回転させた後、上方向へ取り外します。



センターリブの取り付け

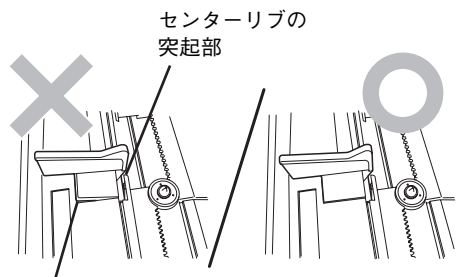
- ① 取り外し手順①～②を行います。
- ② センターリブをまっすぐに差し込みます。
- ③ センターリブをしっかりと押します。

「カチッ」と音がしてプリンターにロックされます。



✓チェック

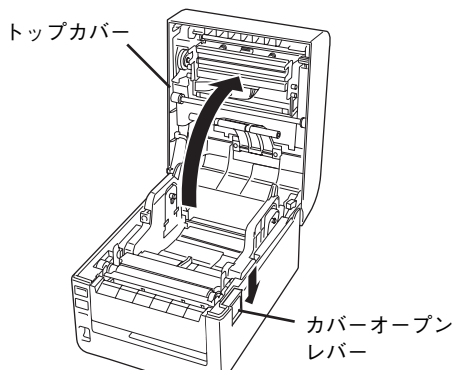
センターリブの突起部がプリンター内部のフレームの切り欠きの上に位置していることを確認してください。センターリブが下図のように浮き上がっている場合はもう一度取り付け直してください。



取り付け不良による浮き上がり

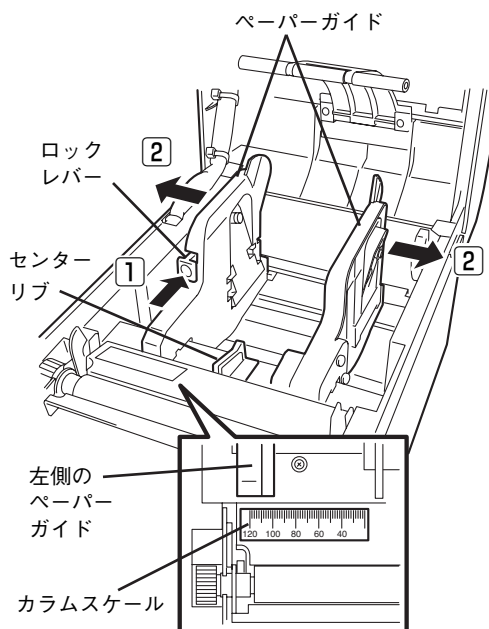
ロール紙のセット

- 1 プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

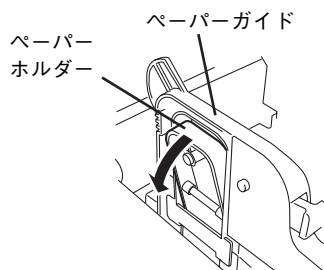


- 3 ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットする用紙の幅と同じ値の目盛りに合わせます。左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。

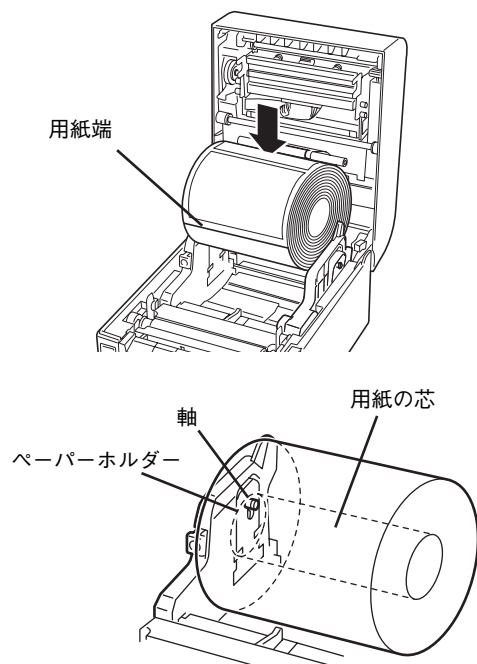


- ✓ **チェック**
- 左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



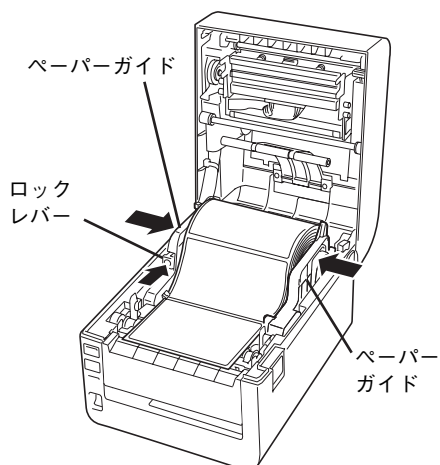
- 4 用紙端が手前側にくるようにして用紙を持ちます。
- 5 用紙をそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸が用紙の芯に入るようにセットします。

ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。



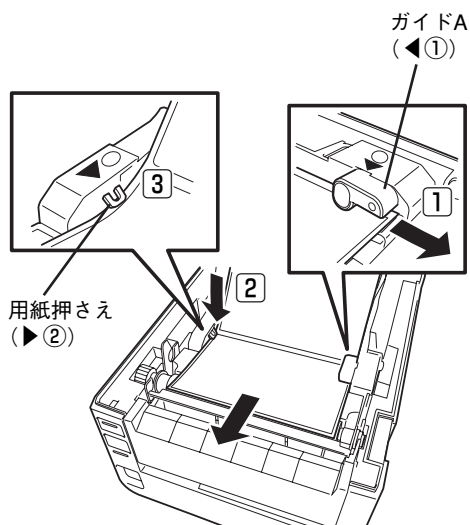
- ✓ **チェック**
- 〈ロール紙外径が小さい場合〉
ロール紙の芯にペーパーホルダーの軸が入らない場合はペーパーホルダーを外側から押しつけてセットしてください。

- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側と用紙がぴったりと付くように用紙幅を合わせます。



用紙が左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑦ 用紙をガイドA (◀①) の下にくぐらせた後 (①)、用紙押さえ (▶②) の上から用紙を押して (②)、用紙押さえの下に用紙が通るようにセットします (③)。



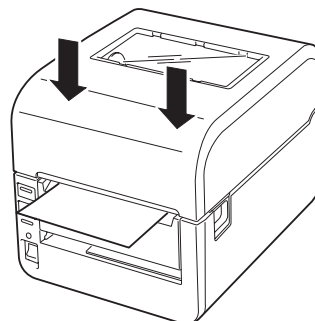
- ⑧ 用紙を引き出します。

用紙はフロントカバーより手前側になるように引き出します。



用紙が左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でロール紙のセットは完了です。

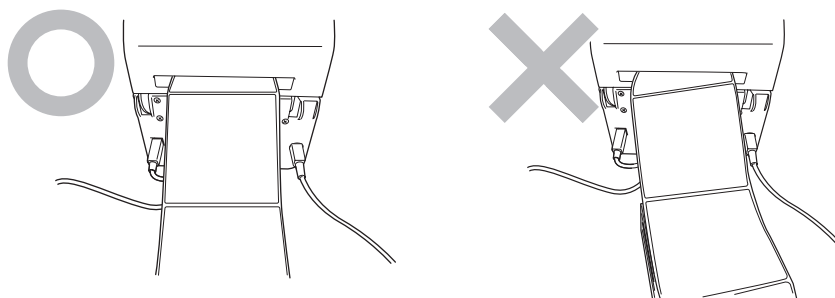
ファンフォールド紙のセット

感熱タイプと熱転写+感熱タイプではセット方法が異なります。



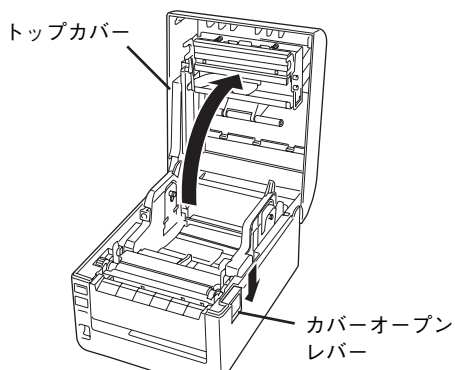
<ファンフォールド紙を置くときの注意>

- 装置内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置いてください。
- プリンターに対して斜めに置かないでください。

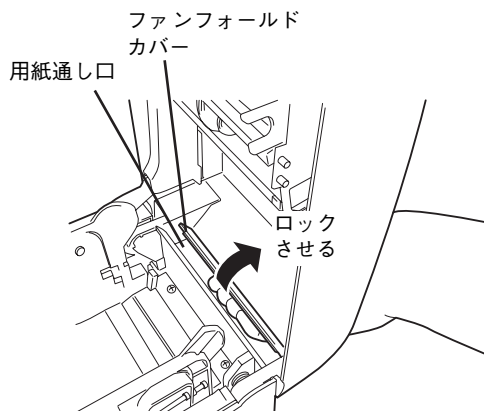


感熱タイプ

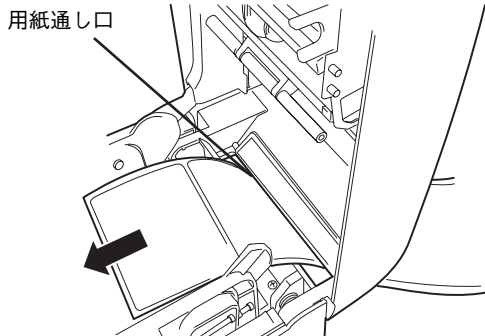
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



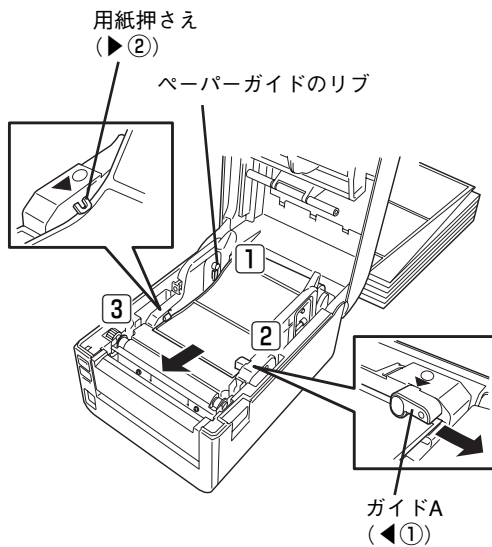
- ③ プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上回転させ、ロックします。



- ④ 印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



- ⑤ 左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて (①)、ガイドA (◀①) の下を通した後 (②)、用紙押さえ (▶②) の上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようセットします (③)。

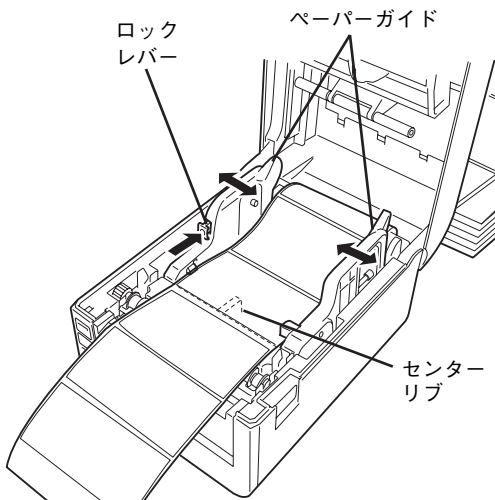


- ⑥ 用紙を引き出します。

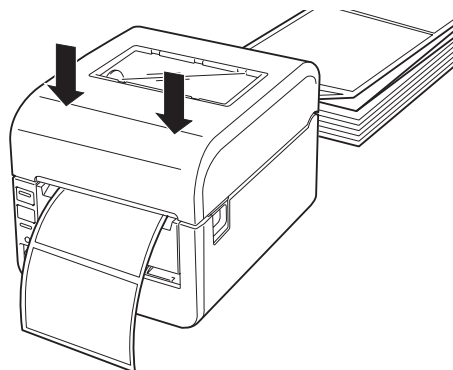
用紙はフロントカバーより手前側になるように引き出します。

- ⑦ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。

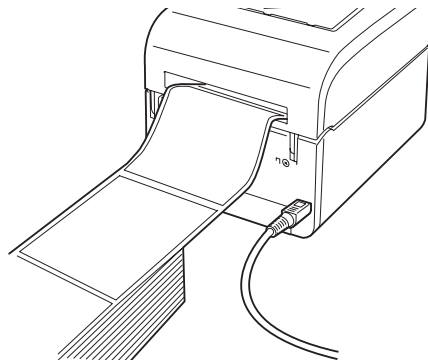
センターリブを基準に伸縮します。



- ⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



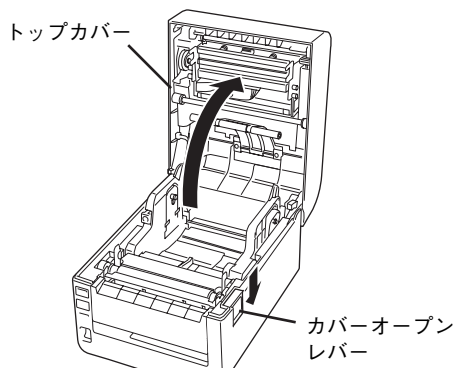
- ⑨ プリンター内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置きます。



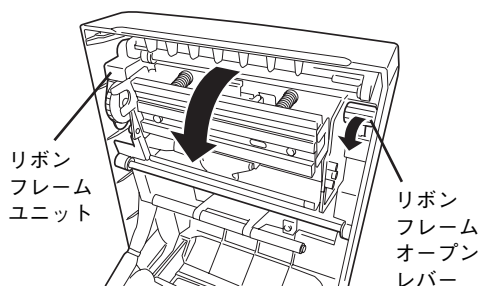
以上でファンフォールド紙のセットは完了です。

熱転写+感熱タイプ

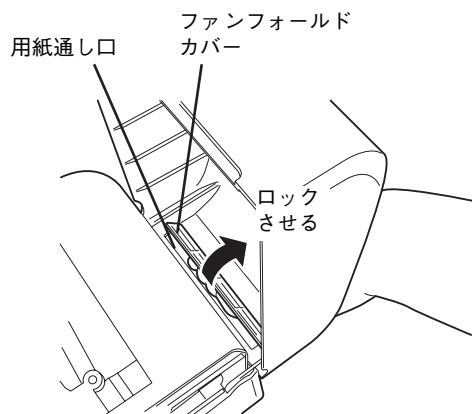
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



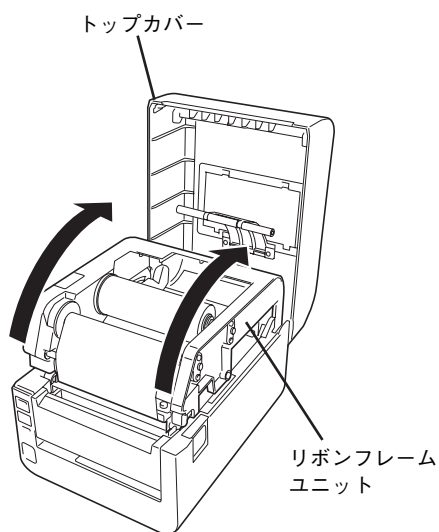
- ③ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



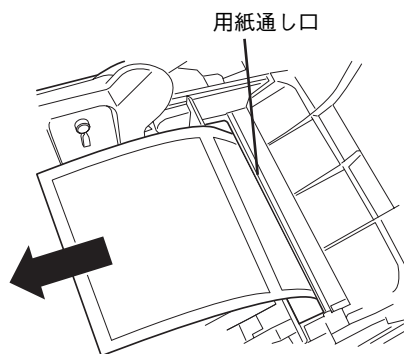
- ④ プリンター背面から手を回してファンフォールドカバーを上回転させ、ロックします。



- ⑤ リボンフレームユニットをトップカバー側に入れ、固定させます。

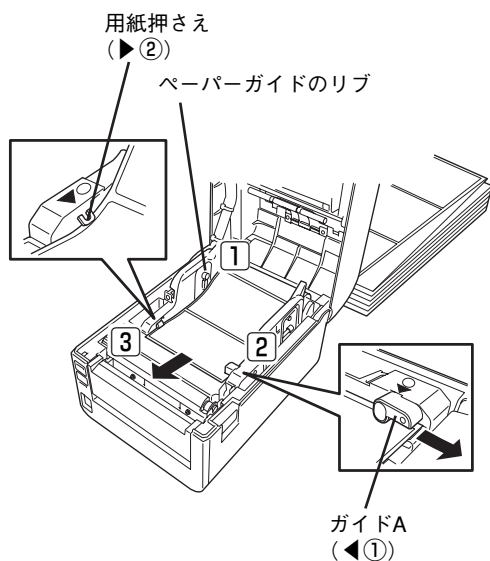


- ⑥ 印刷面を上にして、用紙をプリンター背面の用紙通し口から内部へ通します。



1 初めてお使いになるとき

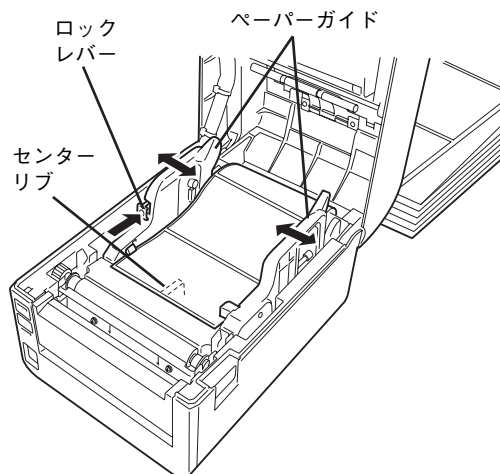
- ⑦ 左右のペーパーガイドの下にあるリブの下をくぐらせて (①)、ガイドA (◀①) の下を通した後 (②)、用紙押さえ (▶②) の上から用紙を押して用紙押さえの下に用紙が通るようセットします (③)。



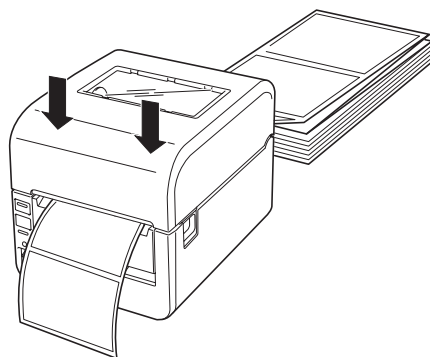
- ⑧ 用紙を引き出します。

- ⑨ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを伸縮させ、用紙幅を調整します。

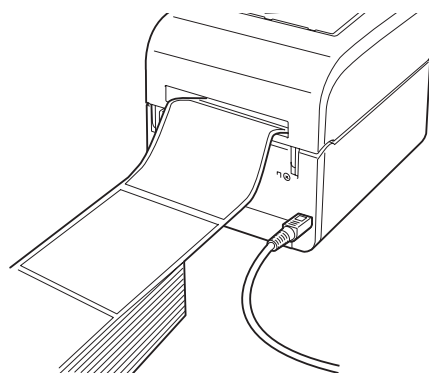
センターリブを基準に伸縮します。



- ⑩ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



- ⑪ プリンター内のペーパーガイドに対してまっすぐになるように置きます。



以上でファンフォールド紙のセットは完了です。

9 プリンターの設定をする

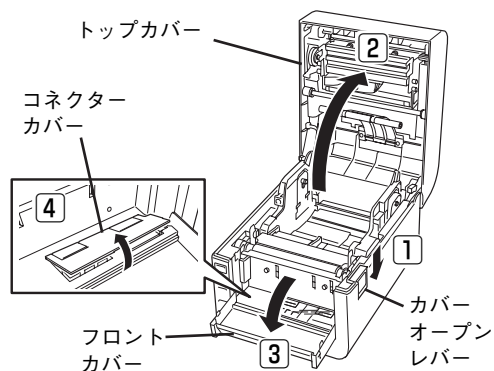
本プリンターにはプリンターの機能を設定するディップスイッチ (DIP SW) があります。DIP SWの設定はお使いになる状態に正しく設定してください。DIP SWの詳細な説明については2章の「ディップスイッチ (DIP SW)」(56 ページ) を参照してください。またそれぞれの設定をするときにプリンタードライバーを使用する方法と使用しない方法がありますが、プリンタードライバーを使用する方法を推奨します。

✓ **チェック**

- DIP SWの設定を変更するときはプリンターの電源がOFFになっていることを確認してください。
- DIP SWで設定を変更した場合は、設定を有効にするために電源をONにしてください。

1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します (29ページ参照)。

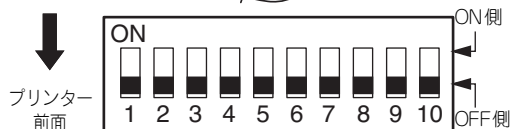
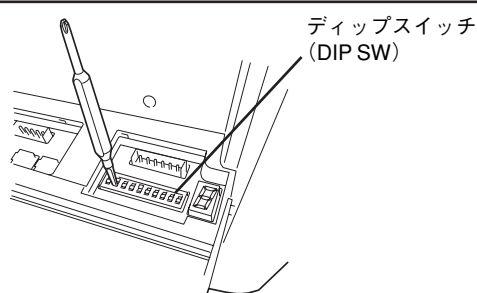
2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



コネクターカバー下には、プリンターの設定を変更するディップスイッチ (DIP SW) があります。プリンターに添付の調整ドライバーを使ってスイッチを変更してください。

✓ **チェック**

添付の調整ドライバー以外でスイッチを変更するとスイッチが破損するおそれがあります。



DIP SWにない機能はプリンタードライバーまたは「リモートパネル」から設定します。詳しくはオンラインマニュアルを参照してください。

DIP SW	機能	設定	DIP SW	機能	設定
SW1・SW2	動作モードの切り替え	OFF・OFF：モード1 (NLPL) *1 OFF・ON：モード2 (305dpi)*1 ON・OFF：未使用 ON・ON：モード3 (203dpiエミュレーション) *1	SW6・SW7*2	用紙頭出しセンサーの選択	OFF・OFF：センサー無視 ON・OFF：反射センサー OFF・ON：透過センサー ON・ON：センサー無視
SW3・SW4*2	印刷モードの選択	OFF・OFF：連続印刷 OFF・ON：ハクリ印刷 ON・OFF：ハクリ印刷 ON・ON：カット印刷	SW8	プリンタードライバー設定の有効/無効	ON：無効 OFF：有効
SW5*2, *3	印刷方式の選択	ON：熱転写方式 OFF：感熱方式	SW9	ボリューム調整方法の選択	ON：操作部のボリューム OFF：リモートパネル
			SW10*4	インターフェースの選択	ON：USBインターフェース OFF：インターフェースボード

* 1 モードの説明については、「DIP SW1・SW2 動作モード切り替え」(57 ページ) を参照してください。プリンタードライバーまたは NLPL コマンドを利用する場合は「モード1 (NLPL)」に設定してください。

* 2 DIP SW8 が「ON」の場合に機能します。DIP SW8 は DIP SW3～7 に割り当てられた3つの機能の有効/無効を切り替えるスイッチです。これら3つの機能はプリンタードライバーからも設定できるため、DIP SW8 でどちらの設定を有効にするか指定します。

* 3 感熱タイプはこの設定を無視して常に感熱式で動作します。

* 4 プリンターにインターフェースボードを装着 (21 ページ参照) している場合に機能します。装着していない場合は、この設定を無視して、常に USB インターフェースで動作します。

10 テスト印刷をする

プリンターが正常に動作することを確認するために、テスト印刷を行います。

このテスト印刷は4章の「故障かな？と思ったときは」（73 ページ）の処置が済んだ後にも実行することをお勧めします。

テスト印刷に使用する用紙はプリンターに添付のテスト用紙（感熱ラベル紙）または用紙幅が105mm以上のタグ紙をプリンターにセットしてください。また、用紙のラベル先頭位置がプラテンの中央（真上）になるように用紙をセットしてください。

ここでは添付のテスト用紙を使用した場合の手順について説明します。



テスト印刷をする際は「8 用紙をセットする」（33ページ）を参照して必ず用紙をセットしてください。

- 1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

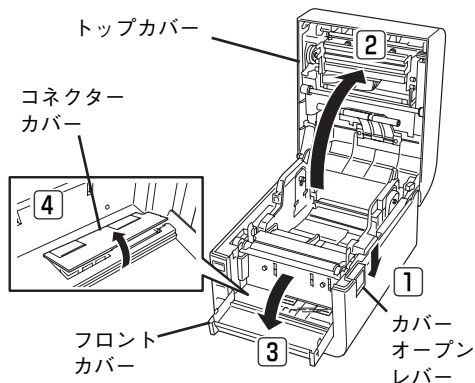
「○」側がOFFです。

- 2 プリンターに用紙がセットされていることを確認します。



熱転写方式で印刷する場合は、リボンが正しくセットされていることを確認してください（「7 リボンを取り付ける」（30ページ）参照）。

- 3 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。

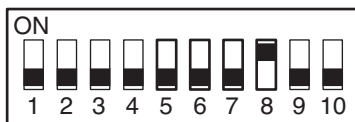


- 4 DIP SWを次のように設定します。

DIP SW5をOFFにして感熱方式にします。

DIP SW6をOFF、DIP SW7をOFFにしてセンサー無視にします。

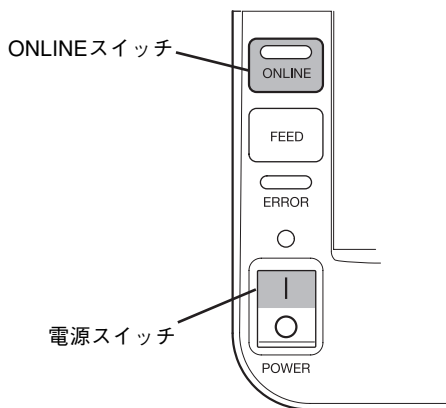
DIP SW8をONにしてプリンタードライバー設定を無効にします。



- 5 コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- 6 ONLINEスイッチを押しながら電源スイッチをONにします。

「|」側がONです。



7セグLEDには、“2”が点滅表示します。

その他のコードを表示している場合は、4章の「エラー表示が出ているときは」（74 ページ）を参照して問題を取り除いてください。

7 FEEDスイッチを押してテスト印刷の種類を選択します。



3種類のテスト印刷を選択することができます。FEEDスイッチを押すたびに7セグLEDの点滅表示が切り替わります。

- プリンターの設定情報
- プリンターが内蔵しているテスト印刷パターン1
- プリンターが内蔵しているテスト印刷パターン2

8 ONLINEスイッチを押します。



7セグLEDの表示が点滅から点灯に変わります。はじめに、サーマルヘッドの断線チェックやプリンター内部のチェックした後、印刷を開始します。

```

<PRINTER>
MODEL          PR-T502L3T
RESOLUTION     305dpi

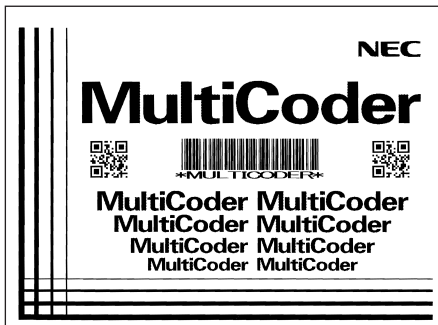
<OPTION>
OPTION BOARD   LAN WIRELESS
OPTION MODULE   NONE

<Diagnostic>
THERMAL HEAD   OK

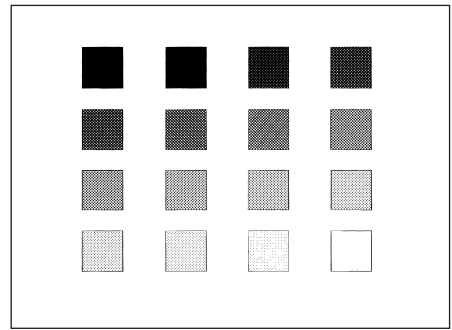
<DIP SWITCH>   <RS-232C DIP>
SW1 : OFF      SW1 : OFF
SW2 : OFF      SW2 : OFF
SW3 : OFF      SW3 : OFF
SW4 : OFF      SW4 : OFF
SW5 : OFF      SW5 : OFF
SW6 : OFF      SW6 : OFF
SW7 : OFF      SW7 : OFF
SW8 : OFF      SW8 : OFF
SW9 : OFF      SW9 : OFF
SW10: OFF      SW10: OFF

<MEMORY SWITCH>
MSW1 1 2 3 4 5 6 7 8   MSW9 1 2 3 4 5 6 7 8
MSW2 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW10 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW3 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW11 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW4 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW12 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW5 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW13 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW6 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW14 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW7 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW15 0 0 0 0 0 0 0 0
MSW8 0 0 0 0 0 0 0 0   MSW16 0 0 0 0 0 0 0 0
      :
      :
      :
~以下省略~
    
```

の場合のテスト印刷結果例



の場合のテスト印刷結果例



の場合のテスト印刷結果例

テスト印刷を終了すると、エラーがなければ7セグLEDの表示が点灯から点滅に変わります。

エラーを検出した場合は、テスト印刷後にエラー表示をします。4章の「エラー表示が出ているときは」(74 ページ)を参照して問題を取り除いてください。

✓チェック

サーマルヘッド断線チェックエラーを検出した場合は、「」を表示します。ONLINEスイッチを1回押すと、テストを続けることができます。ただし、印刷結果の一部が欠けることがあります。

テスト印刷の結果

テスト用紙以外のラベル紙をセットしている場合は、ギャップ間(例えば台紙)に印刷され、印刷結果が正しく読みとれない場合もあります。

9 テスト印刷を終了させるために、電源をOFFにします。

「○」側がOFFです。

ネットワーク設定の印刷

ここで説明しているテスト印刷はインターフェースを除いたプリンター単体テストを行います。プリントサーバー(有線または無線)内蔵の場合は、プリントサーバーのパネルにあるスイッチを使ってIPアドレスやMACアドレスなどの設定を印刷させることができます。詳しくはプリントサーバーのマニュアルで説明しています。

10 テスト印刷を終了したら、DIP SWの設定を使用する際の設定に戻します。

「9 プリンターの設定をする」(41ページ)を参照して正しく設定してください。

11 センサーしきい値を調整する

印刷の際、印刷位置を一定に保つために本プリンターはセンサーを使用しています。使用する用紙に合わせてしきい値調整を行ってください。

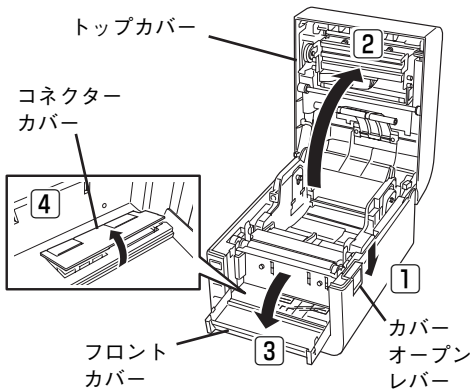
- 透過センサー..... ラベル間のすき間（ギャップ）で用紙の頭出し位置を検出します。
- 反射センサー..... 用紙の裏面の黒マークで用紙の頭出し位置を検出します。

✓ チェック

ラベル紙の種類によって台紙の色や台紙の厚さが異なる場合があります。使用する用紙を変更した場合は、センサーしきい値の調整をしてください。

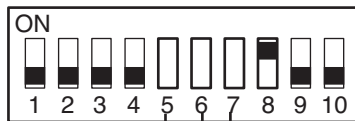
ここでは、使用する用紙に合わせたセンサーのしきい値調整をする手順を説明します。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- ③ DIP SW8をONにしてプリンタードライバーの設定を無効にします。

DIP SW5（印刷方式）はお使いの環境に合わせた設定をしてください。
DIP SW6とSW7（用紙頭出しセンサーの選択）は、使用する用紙に合わせた設定をしてください。



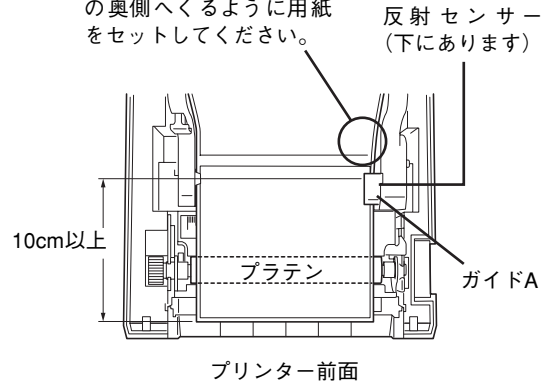
SW5 : OFF → 感熱方式 → 反射センサー
ON → 熱転写方式
SW6 : ON ・ SW7 : OFF
SW6 : OFF ・ SW7 : ON → 透過センサー

- ④ 用紙をセットします。

ハクリ印刷のときは用紙を台紙排出口に通さずいったんセンサーしきい値を調整します。

用紙がプラテンから落ちないようにプラテン付近と反射センサー付近の間は10cm以上にして用紙をセットしてください。

ラベルのギャップまたは黒マークは反射センサーの奥側へくるように用紙をセットしてください。

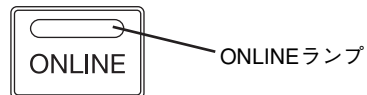


- ⑤ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- ⑥ プリンターの電源スイッチをONにします。

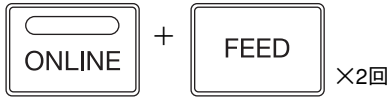
- ⑦ ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



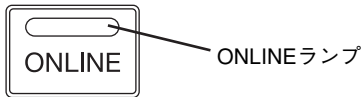
8 ONLINEスイッチを押しながらFEEDスイッチを2回押して調整します。

用紙がフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。



9 フィードが止まったら、ONLINEスイッチを押してONLINE状態にします。

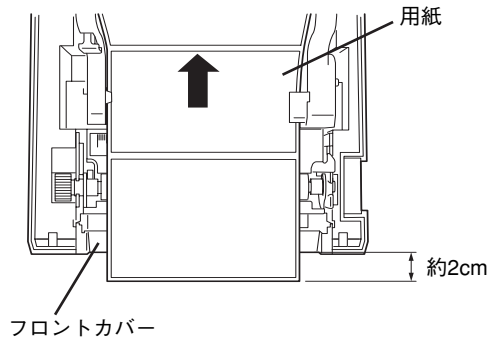
ONLINEランプが点灯した状態です。



10 フィードした用紙を取り除きます。

- 手で巻き取る場合は、電源をONにしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、用紙を巻き取ります。
- 用紙を切り取る場合は、はさみなどを使って、ていねいに切り取ってください。

用紙を取り除く際、フロントカバーより約2cmほどプリンター前面側にはみ出る程度にしてください。



✓ チェック

- しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに“E”を表示し、ERRORランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。
- ラベルのギャップ（透過センサーの場合）または黒マーク（反射センサーの場合）がはっきり認識できるように用紙のプレ印刷の内容を薄い色にすることを勧めます。

11 DIP SWの設定を使用する際の設定に戻します。

DIP SWの設定を変更する前にプリンターの電源をOFFにしてください。

詳しくは、「9 プリンターの設定をする」（41ページ）を参照して設定してください。

12 コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。コンピューターから印刷を実行すると、自動用紙先頭位置合わせ機能により、用紙先頭から印刷を行うことができます。

12 コンピューターに接続する

ここではコンピューターとUSB、LAN（有線または無線）、パラレル、またはRS-232Cの各インターフェースへの接続手順を説明します。

✓チェック

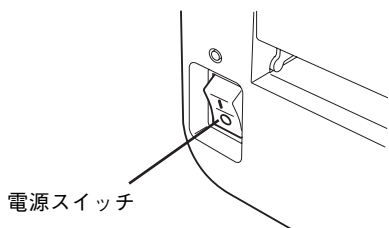
- コンピューター本体とプリンターの接続は、本プリンターに付属、または対応したケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用すると、プリンターの機能が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークに接続する場合はネットワークケーブルが必要です。
- 対応コンピューターについての最新情報はカタログや情報サービスで提供しています。
- 無線LANをお使いの場合でも、はじめは有線LANでネットワークに接続し、無線の設定を行う必要があります。

ディップスイッチの設定を変更する

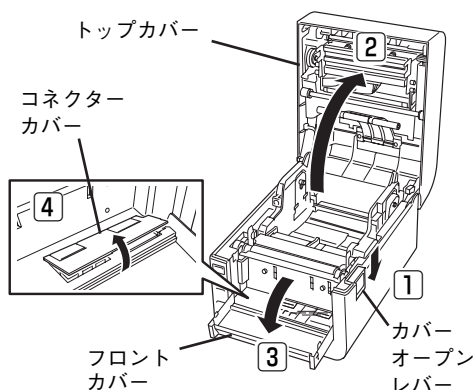
本プリンターのディップスイッチ（DIP SW10）でコンピューターとの通信に使用するインターフェースを指定します。工場出荷時のDIP SW10の設定は「OFF」（インターフェースボードのインターフェース（LAN、無線LAN、パラレル、またはRS-232Cのいずれか*¹）を使用する）に設定されています。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

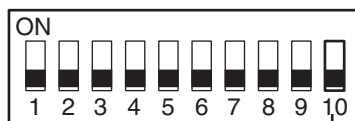
「○」側がOFFです。



- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクターカバーを取り外します。



- ③ DIP SW10の設定を使用する環境に合わせて変更します。



SW10 :

OFF→ インターフェースボードを使用する

ON→ USBインターフェースを使用する

- ④ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

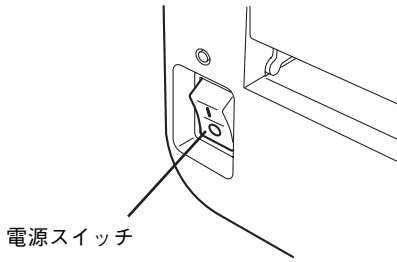
*1 プリンターに装着しているインターフェースボードによって異なります。

USBケーブルで接続する

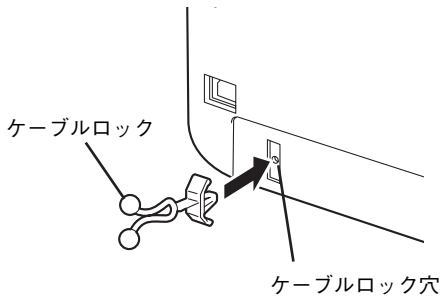
本プリンターのUSBインターフェースは、USB1.1/USB2.0（Full Speed）に準拠しています。プリンターに添付のUSBケーブルで接続してください。また、ケーブルの抜けを防止するケーブルロックも取り付けてください。

- 1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

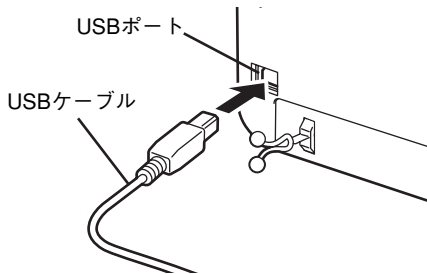
「O」側がOFFです。



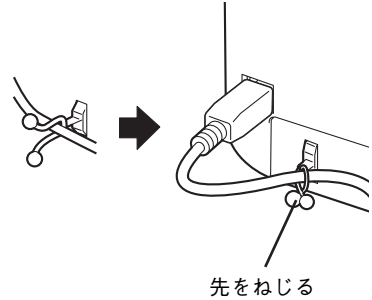
- 2 プリンター背面のケーブルロック穴へ装置に添付のケーブルロックをしっかりと差し込みます。



- 3 背面のUSBポートにUSBケーブルのコネクターを接続します。

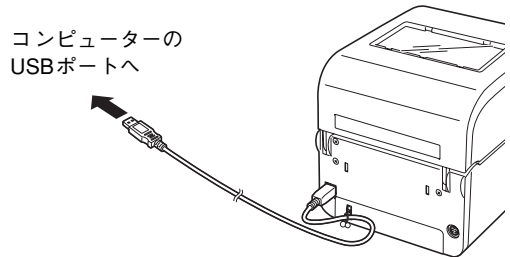


- 4 USBケーブルをケーブルロックの間に通し、先をねじります。



- 5 USBケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターのUSBポートに接続します。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。



重要

プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを取り外すときは、コンピューターの「ハードウェアの安全な取り外し」などに従って取り外してください。

LANケーブルで接続する

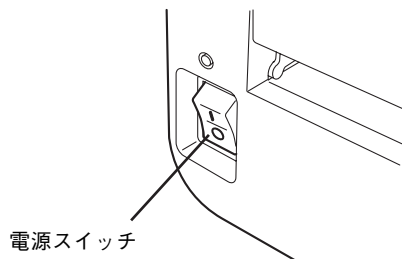
プリンターに内蔵のプリントサーバーに接続する方法は次のとおりです。

✓チェック

100BASE-TX環境でお使いの場合は、100BASE-TX対応のイーサネットハブ（HUB）とカテゴリ5以上のネットワークケーブル、10BASE-T環境でお使いの場合は、カテゴリ3以上のネットワークケーブルをご用意ください。

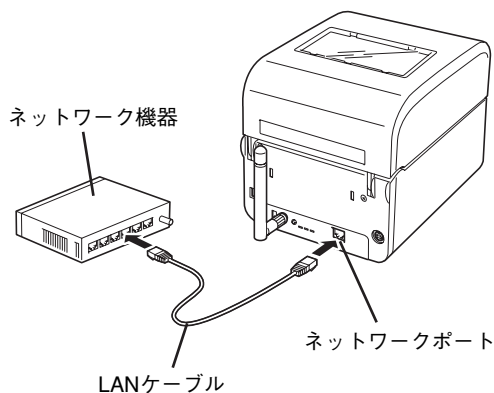
① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

「○」側がOFFです。



② 本体背面のネットワークポートにLANケーブルのコネクターを接続します。

③ LANケーブルのもう一方のコネクターをハブなどのネットワーク機器に接続します。



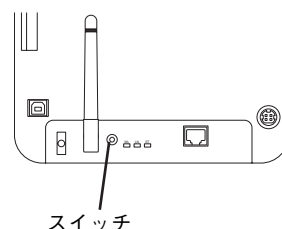
詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。プリントサーバーに関する詳しい説明はプリンターまたはプリントサーバーに同梱されているセットアップガイドなどのマニュアルを参照してください。TCP/IPの設定などが詳しく記載されています。

✓チェック

LAN（有線／無線）インターフェースでネットワークに接続する場合、電気通信事業法で定められた電気通信事業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

■□ ネットワーク設定の印刷 □■

プリントサーバーにあるスイッチ（下図参照）を使ってIPアドレスやMACアドレスなどの設定を印刷させることができます。詳しくはプリントサーバーのセットアップガイドで説明しています。



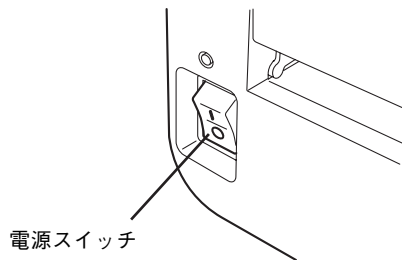
パラレルインターフェースケーブルで接続する

パラレルインターフェースケーブルはプリンターに添付されていません。「オプション」(15 ページ)を参照してお買い求めの販売店またはプリンターに添付されている「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。

プリンターのパラレルポートに接続する方法は次のとおりです。

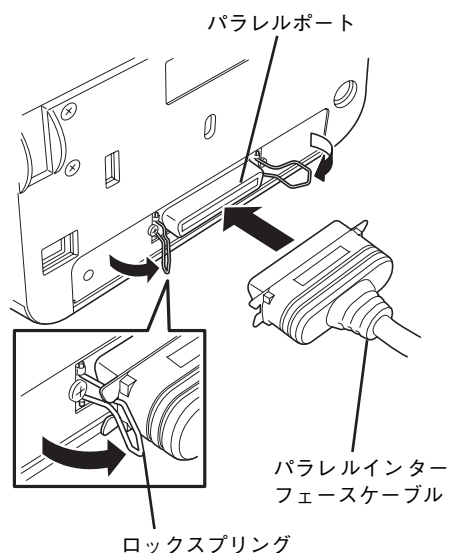
- 1 プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

「○」側がOFFです。



- 2 本体背面のパラレルポートにパラレルインターフェースケーブルのコンネクターを接続します。

- 3 パラレルポートの両端にあるロックスプリングでコンネクターを固定します。



- 4 パラレルインターフェースケーブルのもう一方のコンネクターをコンピューターに接続します。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

RS-232Cインターフェースケーブルで接続する

プリンターに添付のRS-232Cインターフェースケーブルで接続してください。

スイッチの設定を変更する

プリンター底面のカバーを取り外すと、データビット長やパリティ、ボーレートなどの設定をするDIP SW（ディップスイッチ）とプリンターの動作モードを切り替えるスライドスイッチがあります。DIP SWの出荷時の設定は次のとおりです。お使いの環境に合わせて設定してください。なお、スライドスイッチについては手順④を参照してください。

SW	名称	設定	機能	SW	名称	設定	機能	SW	名称	設定	機能		
1	データビット長	ON	7ビット	5 6 7	ボーレート (bps)	SW5 SW6 SW7		8 9	プロトコル *1	SW8 SW9			
		OFF	8ビット			ON ON ON	未使用			ON ON	モード1: XON/XOFF+ハードウェア制御(DTR) モード2・3: ステータス監視 (ステータス長 27バイト)		
2 3	パリティビット	SW2 SW3				OFF ON ON	115200			ON OFF	OFF	ON OFF	モード1: ハードウェア制御 (DTR) モード2・3: ステータス監視 (ステータス長 11バイト)
		ON ON	未使用			ON OFF ON	57600						
		ON OFF	ODD			OFF OFF ON	38400						
		OFF ON	EVEN			ON ON OFF	19200						
		OFF OFF	NONE			OFF ON OFF	9600						
4	ストップビット	ON	2ビット	ON OFF OFF	未使用	OFF ON	XON/XOFF	OFF ON	XON/XOFF				
		OFF	1ビット	OFF OFF OFF	19200	OFF OFF	モード1: ハードウェア制御 (RTS) モード2・3: ハードウェア制御						
10	未使用	OFF	未使用										

「設定」欄の下線：工場出荷時の設定。SW10は「OFF」のまま固定としてください。

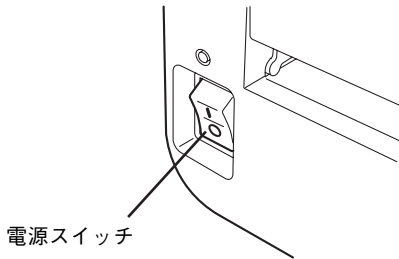
* 1 プリンター前面のDIP SW1・2でモード1・2・3を切り替えます（41ページ参照）。



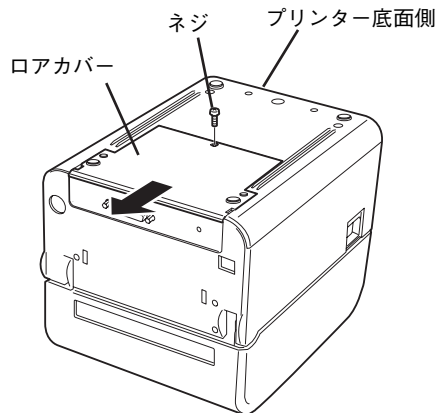
プリンタードライバーのインストール後、プリンターのプロパティダイアログボックスの [ポート] シート内にある [ポートの構成] をクリックして表示される [ポートの設定] シートでDIP SWの設定と同じ設定に変更してください。
詳しくは、オンラインマニュアルの1章「プリンタードライバー」を参照してください。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

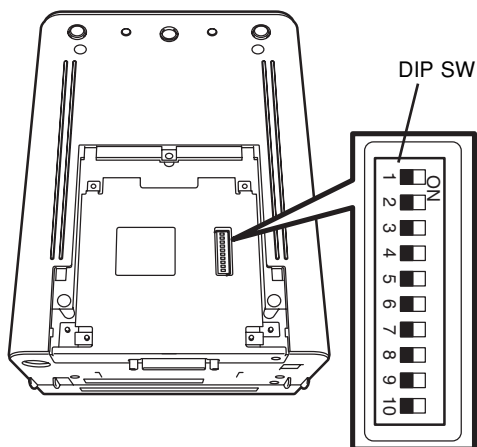
「○」側がOFFです。



- ② プリンターを裏返し、ロアカバーを固定しているネジを外してロアカバーを取り外します。

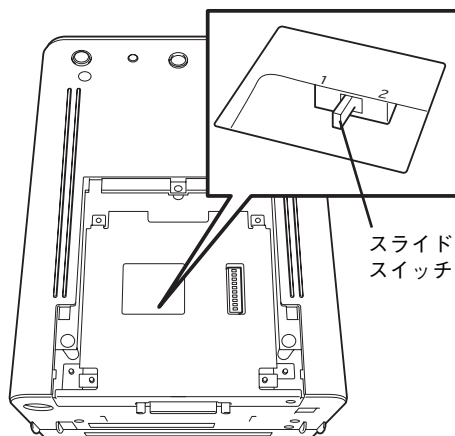


- ③ 添付の調整ドライバーでDIP SWの設定を変更します。



- ④ プリンター前面にあるDIP SWの設定とスライドスイッチの設定を合わせます。

「9 プリンターの設定をする」(41 ページ) のプリンター前面のDIP SW1とSW2の設定(動作モードの設定)と同じ設定にしてください。「モード1 (NLPL)」で使用する場合は、「1」の位置にセットします(工場出荷時の設定)。「モード2」または「モード3」で使用する場合は、「2」の位置にセットします。



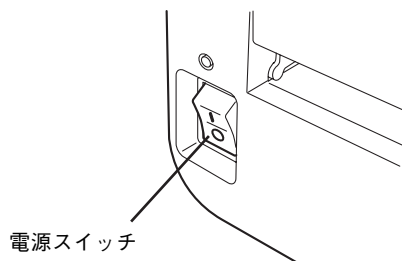
- ⑤ ロアカバーを取り付けて元のとおりに戻します。

ケーブルを接続する

プリンターのRS-232Cポートに接続する方法は次のとおりです。

- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

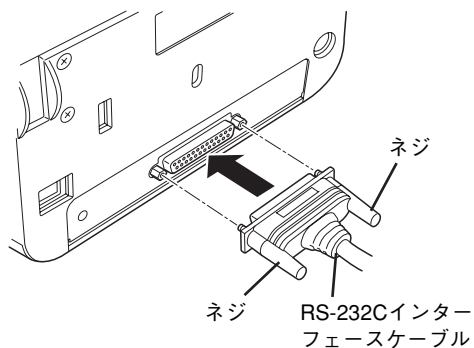
「○」側がOFFです。



電源スイッチ

- ② 本体背面のRS-232CポートにRS-232Cインターフェースケーブルのコンネクターを接続します。

- ③ RS-232Cインターフェースケーブルのコンネクターをネジで固定します。



- ④ RS-232Cインターフェースケーブルのもう一方のコンネクターをコンピューターに接続します。

詳しくはコンピューターのマニュアルをご覧ください。

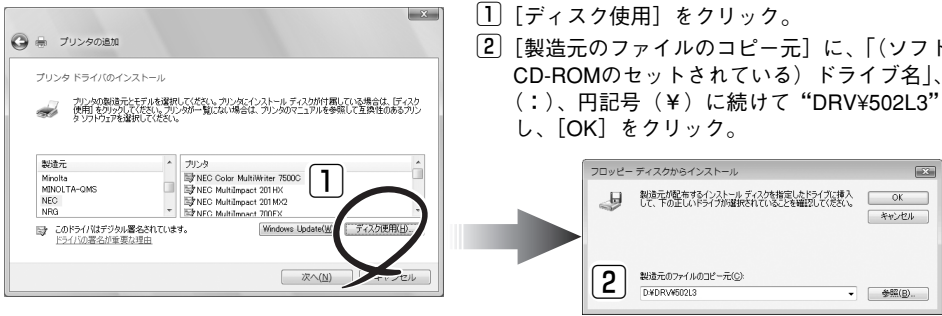
13 ソフトウェアをインストールする

コンピューターから印刷するには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールしてください。プリンタードライバーは添付のソフトウェアCD-ROMに収録されています。プリンタードライバーのインストール方法には、次の方法があります。

- ソフトウェアCD-ROMのインストーラーを使う
- Windowsのプラグ・アンド・プレイ機能を使う

■□ [フロッピーディスクからインストール] 画面で選択するファイルについて □■

プリンタードライバーのインストールの際に“プリンタの製造元とモデル”を選択するダイアログボックスが表示されます。ここでは添付のソフトウェアCD-ROMをセットしたCD-ROMドライブの次の場所を入力（または指定）してインストールを進めてください。詳しい手順はオンラインマニュアルで説明しています。



- 1 [ディスク使用] をクリック。
- 2 [製造元のファイルのコピー元] に、「(ソフトウェアCD-ROMのセットされている) ドライブ名」、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて“DRV¥502L3”と入力し、[OK] をクリック。

添付のソフトウェアCD-ROMには、プリンタードライバーの他にWindowsの画面上からプリンターの各種設定や調整を行える「リモートパネル」、プリンターの状態監視を行う「PrinterSignalStation」、および帳票・バーコード作成ユーティリティなどが収録されています。

インストール方法や使用方法などそれぞれの詳しい説明については、オンラインマニュアルを参照してください。

14 ネットワークの設定をする

LANボードを装着して使用する場合は、IPアドレスなどお使いのネットワーク環境に合った設定をします。

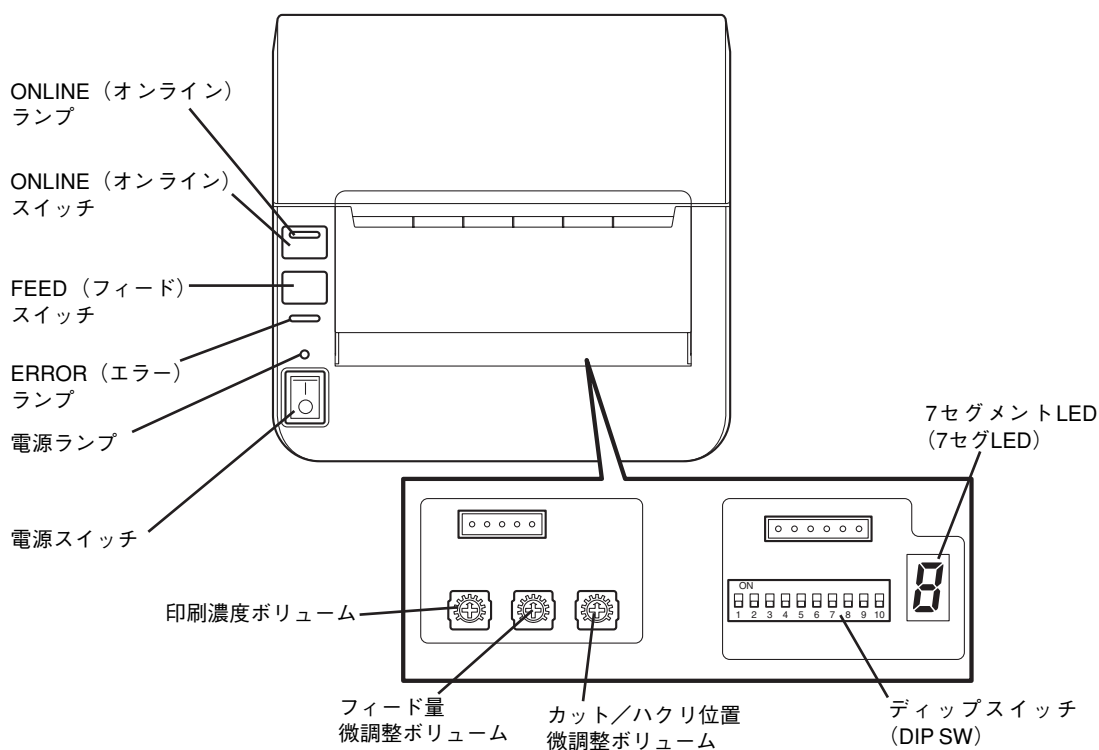
ネットワークの設定はプリントサーバーに添付のマニュアルを参照してください。IPアドレスの設定は添付のソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」からWindowsの画面上で行うこともできます（ただし、プリンタードライバーとリモートパネルがインストールされている必要があります）。リモートパネルについてはオンラインマニュアルの2章「リモートパネル」を参照してください。

2章 操作部とプリンター の設定

この章では、操作部を使ってプリンターの操作と7セグメントLED、および操作部ボリュームの設定について説明しています。

操作部には、3個のスイッチ、3個のランプ、3個のボリューム、10個のディップスイッチ (DIP SW)、および1個の7セグメントLEDがあります。プリンターのさまざまな設定をしたり、変更したりします。7セグメントLEDとランプはプリンターの状態やエラーを知らせます。

操作部の外観と各部の名称は次のとおりです。



スイッチ

操作部には3個のスイッチがあります。各スイッチの機能は下表のとおりです。

名称	機能
電源スイッチ	本プリンターの電源をON/OFFします。 : ON ○ : OFF
ONLINEスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> スイッチは押してから放したときに有効になります。 押すごとにデータを印刷できる状態（オンライン状態）とできない状態（オフライン状態）を交互に切り替えます。 印刷中に押すと、ページ間で一時停止を行います。再度押すと、印刷を再開します。 テスト印刷の機能を持っています。 〈テスト印刷をするには〉 プリンターの電源がOFFの状態、ONLINEスイッチを押しながら、電源スイッチをONにします（1章の「10 テスト印刷をする」（42ページ）参照）。
FEEDスイッチ	<ul style="list-style-type: none"> スイッチは押してから放したときに有効になります。 モード1：オフライン状態、またはオンライン状態で印刷動作をしていない時に有効です。モード2・3：用紙頭出しセンサーが有効かつ、オフライン状態でのみ有効です。 自動カット位置送り機能が有効な場合： 現在の用紙先頭位置から次の先頭位置まで用紙を送った後、自動カット位置送りを実行して停止します。 自動カット位置送り機能が無効な場合： 現在の用紙先頭位置から次の先頭位置まで用紙を送って停止します（用紙を1枚分紙送りします）。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>■□ 用紙頭出しセンサー □■</p> <p>用紙の先頭位置を検知するセンサーはDIP SW8が“OFF”の場合、プリンタードライバーの設定に従います。DIP SW8が“ON”の場合は、DIP SW6とSW7による組み合わせで選択されます。センサー無視が設定されている場合はプリンタードライバーの用紙サイズ設定値に従って用紙を送ります。ただし、モード2、3のときは用紙を送りません。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> リモートパネルでモード1専用の機能 OFF（再印刷しない）：オンライン状態でFEEDスイッチを押した場合、フィード動作をします。 ON（再印刷する）：オンライン状態でFEEDスイッチを押した場合、再印刷をします。 センサーしきい値調整の機能を持っています。 〈センサーしきい値調整をするには〉 プリンターの電源がONおよびオフライン（ONLINEランプ消灯）の状態、ONLINEスイッチを押しながら、FEEDスイッチを2回続けて押します（1章の「11 センサーしきい値を調整する」（44ページ）参照）。







ランプ

操作部には3個のランプがあります。これらのランプは点灯、点滅、または消灯することでプリンターの状態を知らせます。

ランプ	色	状態	表示の意味
ONLINEランプ	緑	点灯	オンラインで印刷可能な状態です。
		点滅	印刷中の一時停止状態およびデータがあるときの復旧可能状態です。
		消灯	オフライン状態です。
ERRORランプ	赤	点灯	復旧不可能なエラーが発生している状態です。
		点滅	復旧可能なエラーが発生している状態です。
		消灯	エラーが発生していない状態です。
電源ランプ	緑	点灯	電源がONの状態です。
		消灯	電源がOFFの状態です。

7セグメントLED

操作部にある7セグメントLEDは、1文字の英数字（コード）を表示します。プリンターが通常の状態（オンライン状態またはオフライン状態）の間はなにも表示せず、特殊な場合にコードを表示してその状態を知らせます。

コード	表示の意味	コード	表示の意味
 (消灯)	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの電源がOFFの状態です。 プリンターの電源がONで、オンライン状態、オフライン状態、または印刷を一時停止中の状態です。 		点灯：テスト印刷中です。 点滅：テスト印刷の準備を完了しました（ONLINEスイッチを1回押すと開始します）。
	プリンターの初期化中です。		
	センサーのしきい値調整が失敗しました。		
その他	プリンターにエラーが発生しています。4章の「エラー表示が出ているときは」（74ページ）を参照して問題を解決してください。		

ディップスイッチ (DIP SW)

「ディップスイッチ (DIP SW)」は10個の機械的なスイッチから構成されています。スイッチには本プリンターの機能が割り当てられていて、1つのスイッチで切り替えをするものと複数のスイッチによるON/OFFの組み合わせで設定されるものがあります。本プリンターのDIP SWによって7つの機能を設定することができます。



重要

- DIP SWを変更する場合はプリンターの電源をOFFにしてください。
- 「未使用」の設定にしないでください。



チェック

変更したDIP SWの設定はプリンターの電源をONにした後、有効となります。

スイッチ番号	機能	工場設定															
1	動作モード切り替え	OFF															
2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DIP SW1</th> <th>DIP SW2</th> <th>モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>モード1 (NLPL) *1</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>モード2 (305dpi) *1</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>モード3 (203dpiエミュレーション) *1</td> </tr> </tbody> </table>	DIP SW1	DIP SW2	モード	OFF	OFF	モード1 (NLPL) *1	OFF	ON	モード2 (305dpi) *1	ON	OFF	未使用	ON	ON	モード3 (203dpiエミュレーション) *1	OFF
	DIP SW1	DIP SW2	モード														
	OFF	OFF	モード1 (NLPL) *1														
	OFF	ON	モード2 (305dpi) *1														
	ON	OFF	未使用														
ON	ON	モード3 (203dpiエミュレーション) *1															
3*2	印刷モード切り替え	OFF															
4*2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DIP SW3</th> <th>DIP SW4</th> <th>モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>連続印刷</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>ハクリ印刷</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ハクリ印刷</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>カット印刷</td> </tr> </tbody> </table>	DIP SW3	DIP SW4	モード	OFF	OFF	連続印刷	OFF	ON	ハクリ印刷	ON	OFF	ハクリ印刷	ON	ON	カット印刷	OFF
	DIP SW3	DIP SW4	モード														
	OFF	OFF	連続印刷														
	OFF	ON	ハクリ印刷														
	ON	OFF	ハクリ印刷														
ON	ON	カット印刷															
5*2	印刷方式 OFF：感熱式とします。 ON：熱転写式とします。	OFF															
6*2	用紙頭出しセンサーの選択	OFF															
7*2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DIP SW6</th> <th>DIP SW7</th> <th>モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>センサー無視</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>反射センサー</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>透過センサー</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>センサー無視</td> </tr> </tbody> </table>	DIP SW6	DIP SW7	モード	OFF	OFF	センサー無視	ON	OFF	反射センサー	OFF	ON	透過センサー	ON	ON	センサー無視	OFF
	DIP SW6	DIP SW7	モード														
	OFF	OFF	センサー無視														
	ON	OFF	反射センサー														
	OFF	ON	透過センサー														
ON	ON	センサー無視															

* 1 モード1はプリンタードライバーを使った印刷、NLPLを使った印刷（例：SVF for JavaPrint (SVF for NEC MultiCoder)、Report Director Enterprise (RDE NEC MultiCoder Option)）で使用するモードです。モード2はSVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの305dpiで使用するモードです。モード3はSVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの203dpiで使用するモードです。

* 2 DIP SW8が“ON”の場合に機能します。DIP SW8はDIP SW3～7に割り当てられた3つの機能の有効/無効を切り替えるスイッチです。これら3つの機能はプリンタードライバーからも設定できるため、DIP SW8でどちらの設定を有効にするか指定します。

スイッチ番号	機能	工場設定
8	プリンタードライバー設定の有効/無効 OFF：設定を有効とします。 ON：設定を無効とします。	OFF
9	調整値設定のリモートパネル/操作部ボリューム設定の切り替え OFF：リモートパネル設定を有効とします。 ON：操作部ボリューム設定を有効とします。	OFF
10	インターフェースボード装着時のインターフェースの切り替え OFF：インターフェースボードを有効とします（USBは無効とします）。 ON：プリンター本体のUSBを有効とします（インターフェースボードは無効とします）。	OFF

DIP SW1・SW2 動作モード切り替え

アプリケーションや自作のプログラムから送信される命令に対する動作を切り替えます。
出荷時の設定は「モード1」です。

- モード1：プリンタードライバーを使った印刷、NLPL（NEC Label Printer Language：NECラベルプリンタ言語に準拠したコマンド）で使用するモードに対応
（例：SVF for JavaPrint（SVF for NEC MultiCoder）、Report Director Enterprise（RDE NEC MultiCoder Option））
- モード2：SVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの305dpiで使用するモードに対応
- モード3：SVF for JavaPrint、Report Director Enterpriseの203dpiで使用するモードに対応



RS-232Cインターフェースを使用する場合は、「RS-232Cインターフェースケーブルで接続する」（50ページ）を参照してスライドスイッチの設定を動作モードと合わせてください。

DIP SW3・SW4 印刷モード切り替え

印刷モードを切り替えます。
出荷時の設定は「連続印刷」*1です。

連続印刷は印刷を途中で止めることなく連続して印刷します。
ハクリ印刷は剥離しながら用紙を送ります。剥離したらベルを取らない限り、次の印刷を行いません。
カット印刷はカットしながら用紙を送ります。

DIP SW5 印刷方式

印刷方式を切り替えます。
出荷時の設定は「感熱方式」*1です。

感熱方式はリボンを使用しません。リボンを装着していないことを確認してください。
熱転写方式はリボンを使用します。リボンを装着していることを確認してください。装着していない場合はエラーとなります。



MultiCoder 502L3Dタイプ（感熱タイプ）はON/OFFの機能を無視して感熱方式で動作します。

*1 DIP SW8の工場設定が“OFF（プリンタードライバーの設定が有効）”のため、DIP SW8の設定を“ON”にしない限り、プリンタードライバーの設定に従います。

DIP SW6・SW7 用紙頭出しセンサーの選択

用紙頭出しに使用するセンサーのタイプを選択します。

出荷時の設定は「センサー無視（プリンタードライバーの設定値に従う）」です。

センサー無視はどのセンサーも見ずにプリンタードライバーで設定した用紙長で用紙をフィードします。

反射センサーは用紙裏側に印刷されている黒マークを検出し、黒マークの位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

透過センサーはラベルギャップ（ラベルとラベルの間の台紙）を判断し、次のラベル位置を停止位置とするように用紙をフィードする方式です。

DIP SW8 プリンタードライバー設定の有効／無効

プリンタードライバーの設定を有効にするか無効にするかを切り替えます。

出荷時の設定は「有効」です。

「無効」の場合、印刷モード、印刷方式、用紙頭出しセンサーの選択はDIP SWの設定に従います。

DIP SW9 調整値設定のリモートパネル／操作部ボリューム設定の切り替え

リモートパネル設定を有効にするか、ボリューム設定を有効にするかを切り替えます。

出荷時の設定は「リモートパネル設定を有効」です。

OFFにした場合は、印刷濃度、フィード量微調整、カット／ハクリ位置微調整についてリモートパネル設定を有効にします（ボリューム設定は無効にします）。

設定値は、リモートパネル設定値＋プリンタードライバー設定値を足した値です。

ONに設定した場合は、印刷濃度、フィード量微調整、カット／ハクリ位置微調整についてボリューム設定を有効にします（リモートパネル設定は無効にします）。

設定値は、操作部ボリューム設定値＋プリンタードライバー設定値を足した値です。



調整後にDIP SW9の「リモートパネル設定」の調整値を切り替えても、もう一方の「ボリューム設定」の調整値には「リモートパネル設定」の調整値として反映されません。

「リモートパネル設定」変更後は、「ボリューム設定」の調整値も設定のし直しをしてください。

また、逆の場合の「ボリューム設定」の調整値を切り替えても、もう一方の「リモートパネル設定」の調整値には「ボリューム設定」の調整値として反映されません。

「ボリューム設定」変更後は、「リモートパネル設定」の調整値も設定し直しをしてください。

DIP SW10 インターフェイスボード装着時のインターフェースの切り替え

プリントサーバーなど、プリンター背面のインターフェイスボード装着部（21ページ参照）にインターフェイスボードを装着時、プリンター本体側のUSBを有効にするか、インターフェイスボードのインターフェースを有効にするかを切り替えます。インターフェイスボードを装着しているが、USB接続で使用したい場合に切り替えます。

出荷時の設定は「インターフェイスボードが有効」です。

インターフェイスボードが装着されていない場合は、本設定を無視してUSBインターフェースを使用して動作します。

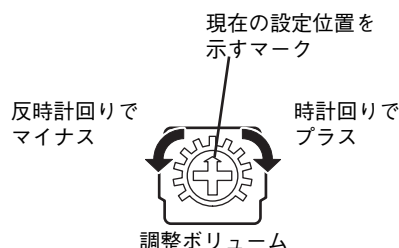
自動カット位置送り機能

自動カット位置送り機能の設定や説明についてはオンラインマニュアルの「リモートパネル」の章を参照してください。

ボリューム

3個の調整ボリュームがあります。装置に添付の調整ドライバーで回して調整します。DIP SW9をONにしたときのみ有効です。

ボリューム名	機能
印刷濃度	印刷濃度を調整します。マイナスの設定で薄くなり、プラスの設定で濃くなります。
フィード量 微調整	用紙の頭出し位置（用紙端からの第1印字行）を調整します。マイナスの設定で基準位置からプリンター前方へ、プラスの設定で基準位置からプリンター後方へ調整されます。
カット／ハクリ 位置微調整	用紙のカットまたは剥離をする位置を調整します。マイナスの設定で基準位置からプリンター前方へ、プラスの設定で基準位置からプリンター後方へ調整されます。 プリンターに装着しているモジュール（カッターまたはハクリ）に対する設定です。



「印刷濃度」「フィード量」「カット／ハクリ位置」の調整は、調整ボリュームの他にプリンタードライバーおよび装置に添付のソフトウェアCD-ROMにある「リモートパネル」からも設定できます。プリンタードライバーおよびリモートパネルの設定値と本ボリュームによる設定値の関係は次のとおりです。

- 調整ボリュームとプリンタードライバー**
 調整ボリュームとプリンタードライバーで設定したそれぞれの値の合計が設定値となります。切り替えはDIP SW9（ON）で行います。値はDIP SW8（プリンタードライバー設定の有効／無効）の設定に関係なく合算されます。
- リモートパネルとプリンタードライバー**
 リモートパネルとプリンタードライバーで設定した値を加えた合計が設定値となります。切り替えはDIP SW9（OFF）で行います。値はDIP SW8（プリンタードライバー設定の有効／無効）の設定に関係なく合算されます。

DIP SW9 調整値の切り替え

DIP SW9で本体の調整ボリュームとリモートパネルユーティリティのどちらの調整値を使用するかを切り替えます。

DIP SW9	機能
OFF	リモートパネルの設定を有効にします。調整ボリュームの設定値は無効です。
ON	調整ボリュームの設定を有効にします。リモートパネルによる設定値は無効です。



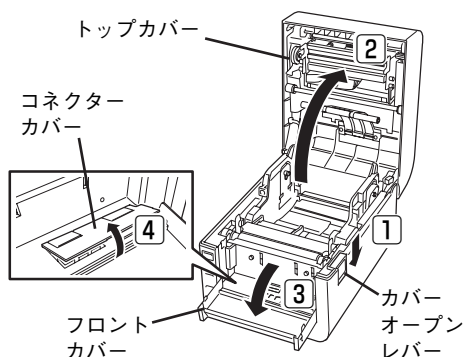
調整した値は調整ボリュームとリモートパネル間で引き継がれません。調整後にディップスイッチを切り替えたら、切り替えた方（調整ボリュームまたはリモートパネル）で調整し直す必要があります。

設定手順

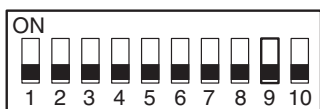
調整はリモートパネルを使用する方法と、ボリュームを使用する方法があります。調整手順を以下に示します。ここでは、例として印刷濃度を調整する方法を説明します。フィード量微調整およびカット／ハクリ位置微調整も同じ要領で設定してください。

リモートパネルで調整する方法

- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



- ③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW9をOFFにしてリモートパネルによる調整設定値を有効にします。



- ④ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑤ 用紙をセットします。
- ⑥ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押しingて確実に閉めます。
- ⑦ リモートパネルを起動し、印刷濃度を調整します。

リモートパネルの使用方法は添付のCD-ROM内のオンラインマニュアルを参照してください。

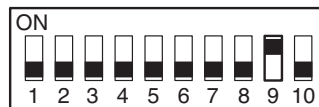
✓チェック

リモートパネルを使用するには、プリンタードライバーとリモートパネルのインストールが必要です。

- ⑧ テスト印刷をして印刷結果を確認します。

調整ボリュームで調整する方法

- ① 電源をOFFにします。
- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します（右のコラムの手順②の図を参照）。
- ③ 装置に添付の調整ドライバーを使ってDIP SW9をONにして調整ボリュームによる調整設定値を有効にします。



- ④ 調整用ドライバーで印刷濃度ボリュームを調整します。

時計回りに回すと、「+」になり印刷濃度が濃くなります。反時計回りに回すと「-」になり印刷濃度が薄くなります。



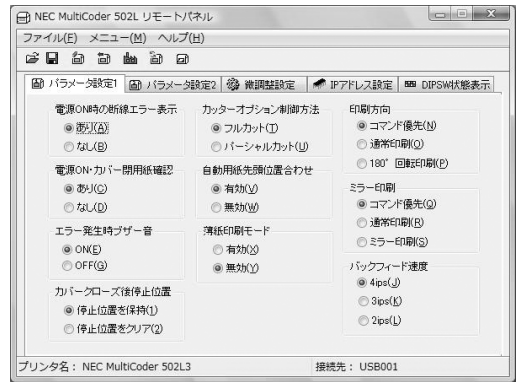
- ⑤ プリンターの電源スイッチをONにします。
- ⑥ 用紙をセットします。
- ⑦ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。
- ⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押しingて確実に閉めます。
- ⑨ テスト印刷をして印刷結果を確認します。

✓チェック

リモートパネルの印刷濃度微調整、フィード量微調整、およびカット（ハクリ）位置微調整以外の設定はDIP SW9に関係なくリモートパネルの設定値が有効になります。

リモートパネル

ソフトウェアCD-ROMに収録されている「リモートパネル」ユーティリティは次の5つのプロパティシートでプリンター本体のスイッチでは設定できない機能に対する変更を行います。詳しくは、オンラインマニュアルの「リモートパネル」の章を参照してください。下表にリモートパネルで設定できる項目を一覧で示します。



項目名	説明	既定値
【パラメータ設定 1】		
電源ON時の断線エラー表示	電源ON時に自動で断線チェックをするかどうかを設定します。	あり
電源ON・カバー閉用紙確認	電源ON時、またはカバークローズ動作時に用紙の有無を確認するかどうかを切り替えます。	あり
エラー発生時ブザー音	エラーが発生したときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。	ON (鳴らす)
カバークローズ後停止位置	用紙の停止位置を制御する方法を切り替えます。	停止位置を保持
カッターオプション制御方法	カッター制御方法を切り替えます。	フルカット
自動用紙先頭位置合わせ	自動用紙位置合わせをするかどうかを切り替えます。	有効
自動カット位置戻し時間	自動カット位置から元の位置に戻す時間の長さを切り替えます。	無制限
薄紙印刷モード	カット位置からの戻し動作を行うかどうかを切り替えます。	無効
印刷方向	印刷の向きを切り替えます。	コマンド優先
ミラー印刷	ミラー印刷をするかどうかを切り替えます。	コマンド優先
バックフィード速度	用紙をプリンター内へ戻す（後ろに送る）バックフィードの速度（ips：インチ/秒）を切り替えます。	4ips
【パラメータ設定 2】		
黒マーク検出時の頭出し制御	黒マークを検出する制御を切り替えます。	黒マーク上端
ゼロスラッシュ	半角の“0（ゼロ）”（JISコード0x30）に対して、スラッシュを付けて印刷するかどうかを切り替えます。	なし
プリンタ起動時の状態	電源投入時、本プリンターをオンライン状態で起動させるかオフライン状態で起動させるかを切り替えます。	オンライン
[FEED] スイッチによる印刷	オンライン状態で、[FEED] スイッチを押したときにフィード動作のみを行うか、再印刷を行うかを切り替えます。	(再印刷)を行わない
自動カット位置送り機能	自動カット位置送り機能の有効/無効を切り替えます。	有効*1
パラレル/F ACK幅変更	パラレルインターフェース使用時、データ受信に対するACK応答の幅を指定します。	0.5 μsec
インプットプライム	パラレルインターフェース使用時、インプットプライム信号を受信した場合、本プリンターをリセットするかどうかを切り替えます。	無効
ステータス自動送信	ステータスの自動送信を行うかどうかを切り替えます。	無効*2

項目名	説明	既定値
【微調整設定】		
印刷濃度微調整（感熱）	感熱印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	0
印刷濃度微調整（熱転写）	リボンを使った熱転写印刷での印刷濃度を設定します（1ステップ単位）。	0
フィード量微調整値	プリンターのスイッチまたはソフトウェアのコマンドによってラベル1枚分を送った（フィード）後の印刷開始位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
カット（ハクリ）位置微調整値	カット位置（ハクリ位置）を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
自動カット位置送り微調整値	手動でカットをする場合に印刷済みの用紙を排出する位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
戻し位置微調整値	カット、ハクリ、自動カット位置送り、または自動正転待機動作後、印刷開始位置（ホームポジション）まで用紙を戻す位置を微調整します。	方向：後方 微調整値：0.0
自動正転待機位置微調整値	自動正転待機の際の停止位置の微調整をします。	方向：後方 微調整値：0.0
X位置微調整値	横方向位置の微調整をします。	方向：右側 微調整値：0.0
【IPアドレス設定】		
DHCP/BOOTP機能設定	DHCP/BOOTP機能の無効／有効を設定します。	DHCP/BOOTP機能有効
RARP機能設定	RARP機能の無効／有効を設定します。	RARP機能有効
IPアドレス	プリンターのIPアドレスを設定します。	0.0.0.0
サブネットマスク	プリンターのサブネットマスクを設定します。	0.0.0.0
ゲートウェイ	プリンターのゲートウェイアドレスを設定します。	0.0.0.0
ソケット通信ポート設定	使用する通信ポート番号を設定します。	12000
【DIPSW 状態表示】		
プリンター本体のスイッチ（DIP SW）の設定状態を表示します* ³ 。設定の変更はできません。変更したい場合は、プリンター本体のスイッチを操作してください。		

* 1 「連続印刷」を指定しているときのみ機能します。

* 2 RS-232C インターフェース、LAN インターフェース、および無線 LAN インターフェース接続時に有効な機能です。

* 3 パラレルインターフェースおよび RS-232C インターフェース接続時または双方向通信ができない接続状態の場合は、プリンターの現在の設定状態を表示しません。
USB インターフェース、LAN インターフェース、および無線 LAN インターフェース接続時の場合でも、双方向通信ができない接続状態の場合は、プリンターの現在の設定状態を表示できません。

3章

日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品と消耗部品の交換、およびプリンターの清掃について説明します。清掃はプリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

清 掃

いつもきれいな印刷が得られるように、定期的（用紙またはリボン交換ごと）に本プリンターの清掃を行ってください。

特にサーマルヘッドやプラテンには汚れがつきやすいので、次の手順で清掃してください。サーマルヘッドの清掃が不十分な場合にはサーマルヘッドの寿命が短くなるおそれがあります。



警告

水を直接かけたり、多量に水分を含んだ布で清掃しないでください。内部に水が入ると、火災・感電のおそれがあります



注意

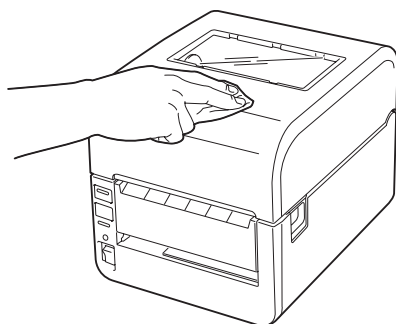
- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類で拭かないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくとおに下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

カバーを清掃する

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

② カバーの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。

特に汚れが目立つ部分は、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



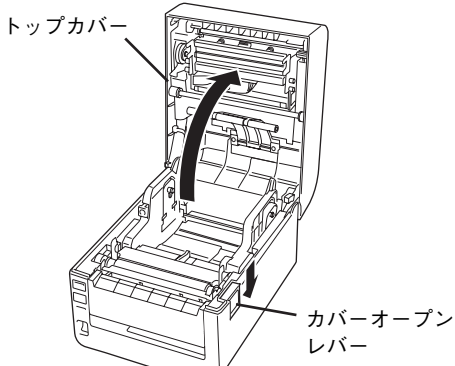
重要

シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。カバーの変色の原因となります。また、プラスチック部品の破損の原因となります。

サーマルヘッド／リボンローラー／プラテンを清掃する

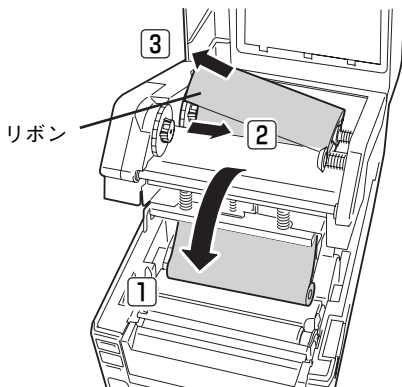
① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

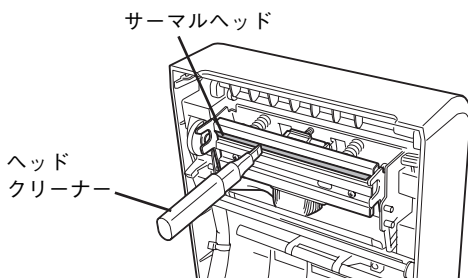


③ 用紙がセットされているときは用紙を取り除きます。

④ <MultiCoder 502L3Tタイプのみ>
リボンがセットされているときは、リボンを取り外します。



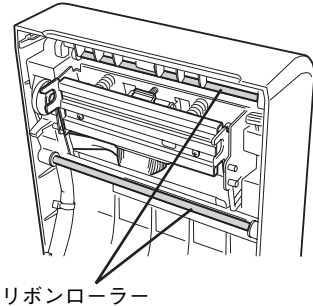
⑤ サーマルヘッドの発熱部（網掛け部分）の汚れは、装置に添付のヘッドクリーナーで拭き取ります。その後、静電気の起きない乾いた布などで乾拭きをしてください。



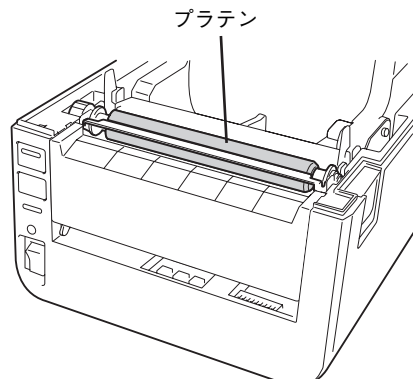
✓チェック

ヘッドクリーナーはお買い上げの販売店へご注文ください（16ページ参照）。

⑥ <MultiCoder 502L3Tタイプのみ>
リボンローラーに付着しているリボンの汚れを柔らかい布で拭き取ります。



⑦ プラテンの汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。



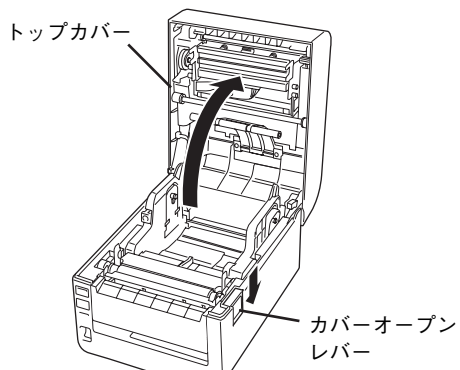
🔑重要

- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、絶対に使用しないでください。印刷不良や故障の原因となります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損することがあります。

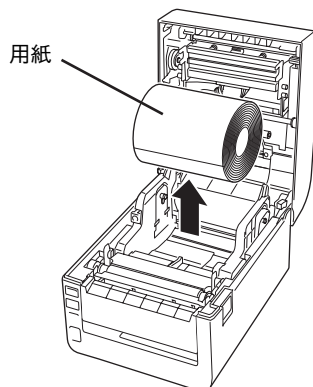
用紙収納部を清掃する

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

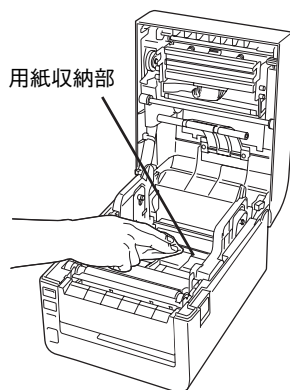
② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



③ 用紙を取り出します。



④ 用紙収納部の紙粉やホコリは、少量の水を含ませた柔らかい布で拭き取ります。



ハクリモジュールを清掃する

ハクリモジュールはローラー部分とセンサーを清掃します。

⚠ 注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で清掃すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくとな意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

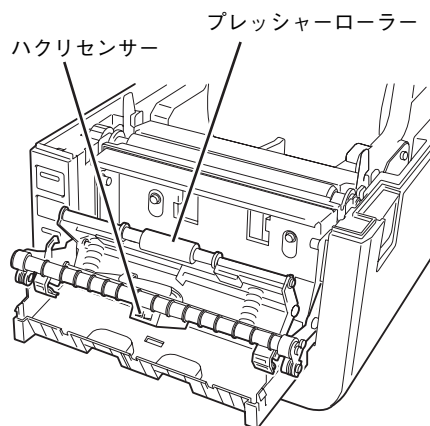
② トップカバー、フロントカバー（ハクリ）、ハクリユニットの順に開きます。

詳しい手順はオンラインマニュアルを参照してください。

③ 用紙を取り除きます。

④ プレッシャーローラーを無水エタノールで湿らせた柔らかい布または綿棒で拭きます。

⑤ ハクリセンサーをチェックして紙粉やほこりが付着している場合は、市販のOAクリーナーで取り除きます。



⑥ ハクリユニットを閉じてからプリンターを元の状態に戻します。

消耗品の交換

リボンや用紙など使用する回数が多い用品の交換手順についての説明は1章の「7 リボンを取り付ける」(30ページ) や1章の「8 用紙をセットする」(33ページ) を参照してください。

消耗部品の交換

消耗部品の交換手順について説明します。

サーマルヘッドを交換する

プリンター操作部の7セグLED “■” が表示された場合は、プリンターのサーマルヘッドに異常が起きたか、寿命になったことを示します（サーマルヘッドは消耗部品です）。

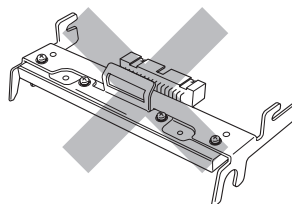
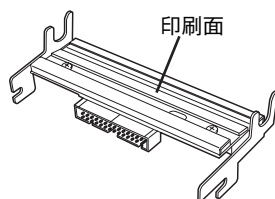
お買い求めの販売店またはNECサービス窓口に連絡して新しいサーマルヘッドブロック（型番 PR-T500L3-TH01）を購入してください。

注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

重要

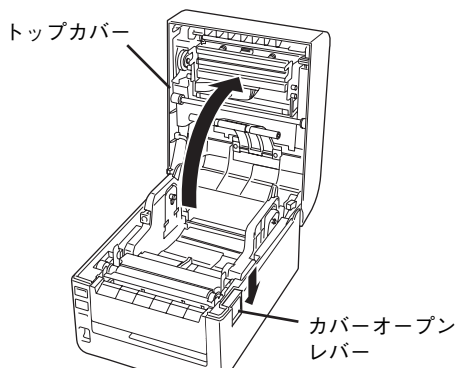
- サーマルヘッドは静電気によって故障するおそれがあります。故障を未然に防止するため、サーマルヘッドに触れる前に身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に手を触れて静電気を取り除いてから扱ってください。
- サーマルヘッドの印刷面に硬いものを当てないでください。傷ついて印刷ができなくなったり破損したりします。
- 新旧のサーマルヘッドを机の上などに置くときは、印刷面を上に向けて置いてください。印刷面を下に向けておくと、印刷品質の低下の原因となったり、印刷できなくなったりすることがあります。



次の手順で交換します。

- 1 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

- 2 カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

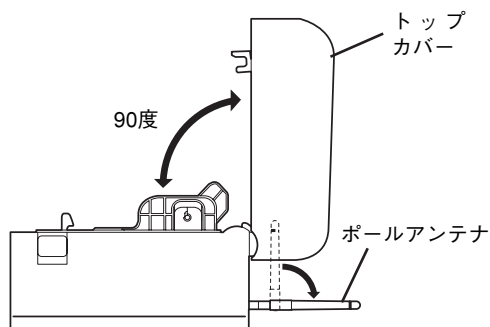


重要

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- 3 リボンがセットされている場合は、いったん取り外します。

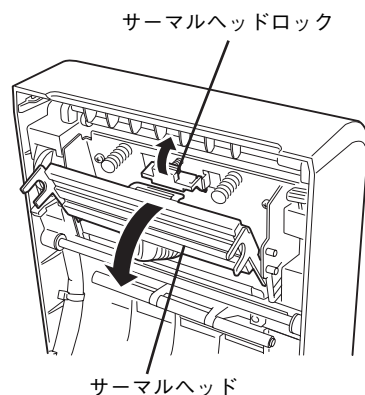
- 4 トップカバーとリボンフレームユニットの角度が90度になっている状態で取り外します。



重要

- 手前に傾けた場合、サーマルヘッドが自然に落下しますのでご注意ください。
- 無線LANを装備している場合は、ポールアンテナを倒し、トップカバーを開けたときに、当たらないようにしてください。

- 5 サーマルヘッドロックを奥側に押し、サーマルヘッドを外します。

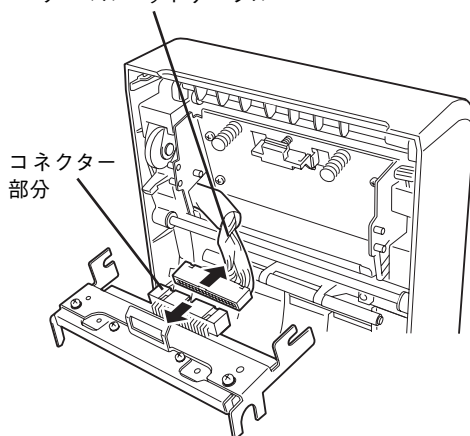


- 6 サーマルヘッドを持ちながらサーマルヘッドケーブルを抜きます。

重要

- サーマルヘッドを持つときは、凹凸の部分があるため、注意しながら取り扱ってください。
- ケーブルを持たずにサーマルヘッドを引っぱりながら外そうとすると、ケーブルが断線してしまいます。コネクター部分を持ってケーブルを外してください。

サーマルヘッドケーブル



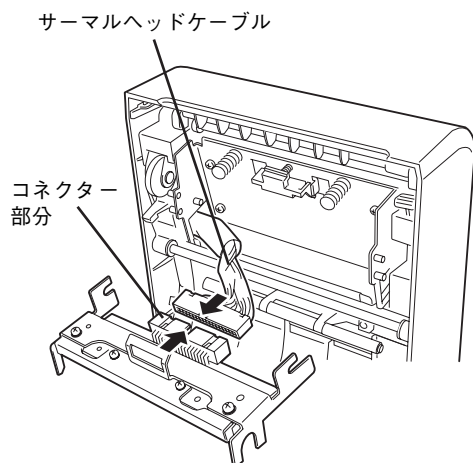
- ⑦ 新しいサーマルヘッドを持ち、サーマルヘッドケーブルを根元まで確実に差し込みます。

⚠ 注意

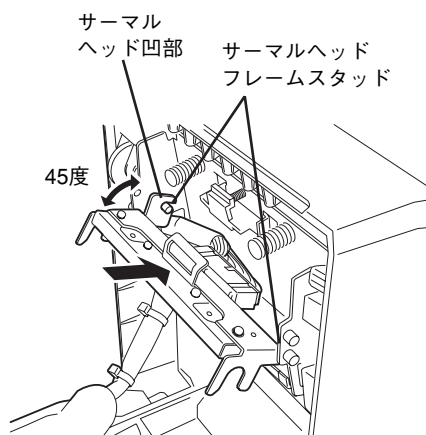
サーマルヘッドにケーブルを確実に差し込んでください。ケーブルを逆向きに差したり、中途半端に接続したままプリンターの電源をONにすると、サーマルヘッドの破損の原因となったり、印刷が正しくできなくなったりするおそれがあります。

🔑 重要

サーマルヘッドの印刷面には触らないように注意してください。印刷不良の原因となります。

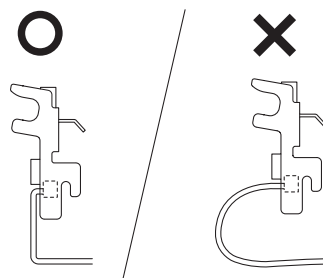


- ⑧ サーマルヘッドを45度にして持ちながら凹部をサーマルヘッドフレームスタッドに差し込みます。

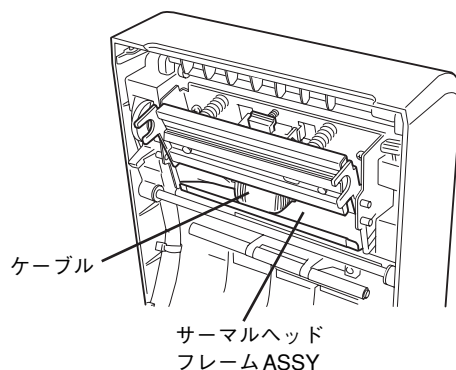


✓ チェック

ケーブルがサーマルヘッドフレームASSYの中に収まっていることを確認してください。もし、収まっていない場合やふくらんでいる場合は、手で押して平らになるように形作りませす。ふくらんでいる場合は、リボンに接触し、印刷に支障をきたすおそれがあります。

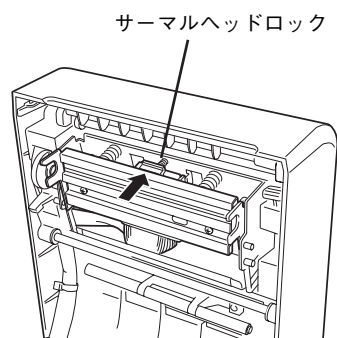


横から見たサーマルヘッドケーブル図



- ⑨ サーマルヘッドを向こう側に押して取り付けます。

サーマルヘッドロックが「パチン」と音がするまで押します。

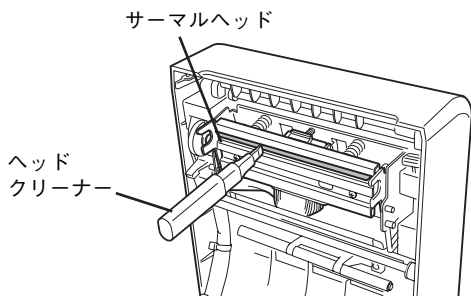


- ⑩ サーマルヘッドの発熱部（網かけ部）の汚れを装置に添付のヘッドクリーナーでふき取ります。その後、静電気の起きない乾いた布などで乾拭きをしてください。

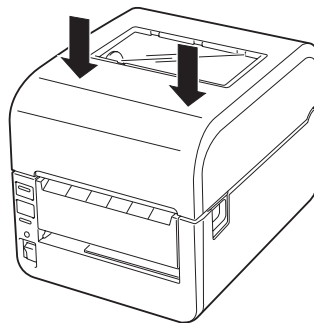


チェック

ヘッドクリーナーはお買い上げの販売店へご注文ください（16ページ参照）。



- ⑪ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で交換は完了です。

プラテンブロックを交換する

ひんぱんに用紙づまりが起きたり、印刷位置を微調整したにもかかわらず印刷するたびに印刷位置がずれたりする場合は、プラテンブロックが寿命になったことを示します（プラテンブロックは消耗部品です）。

お買い求めの販売店またはNECサービス窓口にご連絡して新しいプラテンブロックを購入してください。

型番：PR-T500L-PB01

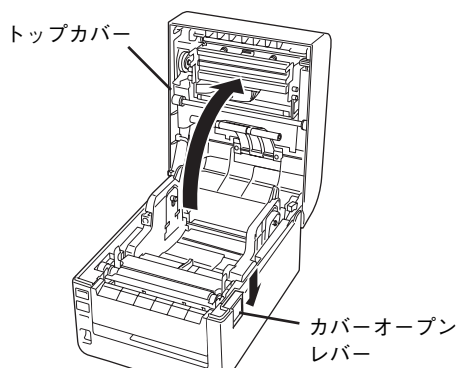


注意

- 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源がON状態で交換すると、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

① 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。



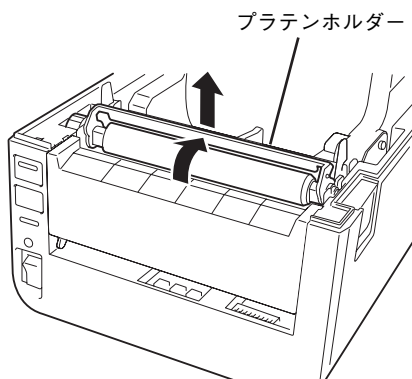
重要

- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

③ 用紙を取り除きます。

④ カッターユニットを装着している場合は取り外します（オンラインマニュアルの「オプション」の章を参照）。ハクリユニットを装着している場合は開きます。

⑤ プラテンホルダーを垂直に立ててプラテンを上を持ち上げます。

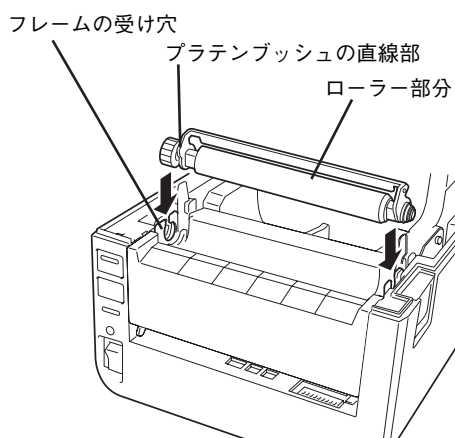


⑥ 新しいプラテンに交換します。

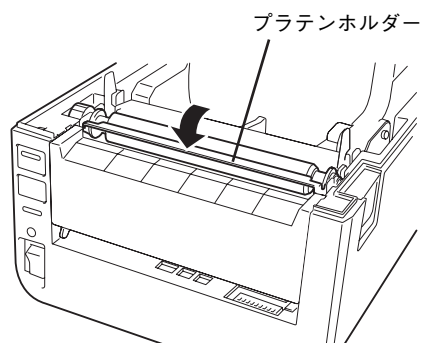
プラテンブッシュの直線部が手前を向くようにプラテンを持ち、プラテンホルダーを立てたままプラテンをフレームの受け穴に垂直に差し込みます。

重要

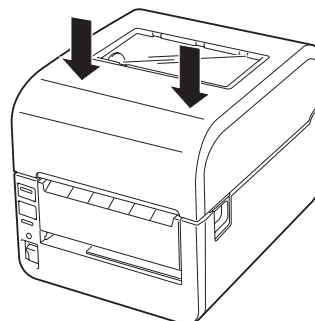
プラテンブロックのローラー部分には触れないように注意してください。印刷不良の原因となります。



⑦ プラテンホルダーを「パチン」と音がするまで手前に水平に倒します。



⑧ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉じます。



以上で交換は完了です。

4章

故障かな?と思ったときは

ここでは、プリンターにエラーが発生した場合の対処方法について説明します。

操作部のアラームランプが点灯しているときは、この後の「エラー表示が出ているときは」(74ページ)の表をご覧になりながら、処置してください。エラー表示が出ていないときは、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」(76ページ)の表をご覧になりながら処置してください。

処置が終了したら、必要に応じ、1章の「10 テスト印刷をする」(42ページ)に従ってプリンターが正しく動作することを確認してください。表に示された処置を行ってもプリンターが回復しない場合は、お近くの販売店あるいは保守サービス会社にご相談ください。

エラー表示が出ているときは

プリンターに何らかのエラーが発生して印刷できない状態になった場合は、主なエラーであれば7セグLEDの表示からその原因を知ることができます。







本プリンターのエラー表示とその意味、および処置方法は次の表のとおりです。処置を行っても回復しない場合はプリンターの故障が考えられます。お近くの販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。

なお、リモートパネルでブザー設定を有効にしている場合はブザーが「ピッピッピッ」と3回鳴るエラーと電源をOFFにするまでブザーが鳴り続けるエラーがあります。ブザーを鳴らせないように設定したい場合は、装置に添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

エラー表示一覧（1 / 2）

7セグ表示	ブザー	原因	処置
	3回鳴る	カバーが開いています。	カバーを確実に閉じてください。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	3回鳴る	紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈透過センサー選択時〉 ラベルのギャップが検出できませんでした。	ラベルギャップのある用紙をセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈反射センサー選択時〉 黒マークが検出できませんでした。	用紙の右側の裏側に黒マークのある用紙をセットします。
		透過センサーまたは反射センサーのしきい値の設定が用紙に合いません。	センサーのしきい値を正しく設定してください。（→44ページ参照）
	3回鳴る	用紙がありません。	新しい用紙をセットします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	3回鳴る	〈印刷方式が熱転写方式のとき〉 リボンを使い切っています。 リボンが途中で切れています。	リボンを交換します。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		〈印刷方式が熱転写方式のとき〉 リボンにたるみがあります。	リボンを張った状態にします。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
		リボンモーター用のセンサーが故障しています。	お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口ご連絡してください。
	3回鳴る	サーマルヘッドの発熱体の一部が断線しています。	ONLINEスイッチを押すと、そのまま印刷を続けることができますが、正しく印刷されないおそれがあります。早急にサーマルヘッドを交換することをお勧めします（3章の「サーマルヘッドを交換する」（68ページ）参照）。
	3回鳴る	ハクリ印刷で定量フィードしても用紙を一度も検出できませんでした。	つまった用紙を取り除いて用紙を正しくセットし、カバーを閉じてください。
	3回鳴る	モード1で正しくない印刷コマンドを受信しました。	コンピューターで印刷をキャンセルしてください。 ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。

エラー表示一覧 (2 / 2)

7 セグ表示	ブザー	原因	処置
	鳴り続け	電源ONの状態でもユニットの接続ケーブルを抜き差ししました。	プリンターの電源をOFFにしてからユニットの接続ケーブルを接続してください。
	3回鳴る	サーマルヘッドの温度が使用範囲の上限に達しました。	しばらくお待ちください。温度が使用範囲内まで下がると自動的に印刷を再開します。 温度が下がった後、再開した印字位置から約20mmの部分の印刷品位が損なわれることがあります。
 *1	3回鳴る	センサーのしきい値調整中にエラーが発生しました。	用紙を正しくセットし直して調整し直します。 カバーを閉じた後、ONLINEスイッチを押してプリンターをオンライン状態（ONLINEランプ点灯）にしてください。
	鳴り続け	プリンターにエラーが発生しました。	プリンターの電源をOFFにして、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口に連絡してください。
	鳴り続け	RS-232C インターフェース接続で以下のいずれかのエラーが発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • パリティエラー • フレーミングエラー • バッファオーバーエラー 	電源を入れ直してください。
	鳴り続け	プリンターにエラーが発生しました。	プリンターの電源をOFFにして、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口に連絡してください。

* 1 「センサー無視」(58 ページ) に設定している場合は、エラーを検出しません。

4

故障かな?と思ったらときは

エラー表示が出ていないのにおかしいときは

エラー表示が出ていないのに、プリンターが思うように動作しなかったり印刷の状態が悪くなかったりしたときは、次の表でプリンターの症状に当てはまる項目を探し、確認作業を行ったうえでそれぞれの処置方法に従ってください。

プリンターの症状一覧（1 / 2）

現 象	原 因	処 置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	停電かコンセントまで電気がきていない。	他の電気器具で電気がきているか確認してください。電気がきていない場合は、最寄りの電力会社にご相談ください。
	建物のヒューズやブレーカーが切れている。	ヒューズやブレーカーを点検してください。 電源スイッチをOFFにした後は、約5秒ほど待ってからONにしてください。
用紙が正しく送られない。	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットし直してください。
用紙に印刷されない。	感熱印刷方式を選択しているのに、感熱用紙がセットされていない。	感熱用紙をセットしてください。
	熱転写印刷方式を選択しているのに、リボンがセットされていない。	リボンをセットしてください。
	用紙が正しくセットされていない。	用紙を正しくセットしてください。
	リボンが正しくセットされていない。	リボンを正しくセットしてください。
	コンピュータから印刷データが送られていない。	印刷データを送信してください。
印刷がかすれる。	NEC指定の用紙を使用していない。	NEC指定の用紙に交換してください。
	NEC指定のリボンを使用していない。	NEC指定のリボンに交換してください。
	印刷濃度が薄い設定になっている。	59ページまたはオンラインマニュアルの「リモートパネル」の章を参照して、印刷濃度を調整してください。
	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください（→オンラインマニュアルの「用紙規格と印刷範囲」の章にある「印刷濃度推奨設定」を参照）。
印刷結果がつぶれている。	印刷の設定が正しくされていない。	印刷設定を見直してください（→オンラインマニュアルの「用紙規格と印刷範囲」の章にある「印刷濃度推奨設定」を参照）。
印刷が汚れる。	感熱用紙を熱転写方法の指定で使用している。	使用したい印刷方式に従ってリボンと用紙をセットしてください。（→30ページ、33ページ参照）
ドット抜けする。	サーマルヘッドが汚れている。	サーマルヘッドを清掃してください。（→65ページ参照）
きれいにカットされない。 （カッターモジュール装着時）	カッターの刃が汚れている。	お買い求めの販売店または添付の「NEC サービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口ご連絡してください。
うまくラベルを剥離できない。 （ハクリモジュール装着時）	使用している用紙の種類・サイズに対する適切な設定をしていない。	プリンタードライバーまたはリモートパネルで正しく設定してください（→オンラインマニュアル参照）。

プリンターの症状一覧（2 / 2）

現 象	原 因	処 置
DIP SWの設定どおりに動作しない。	プリンタードライバーの設定を有効にしている。	DIP SW8でプリンタードライバーとDIP SWの設定のどちらを有効にするかを設定することができます（OFFでプリンタードライバー設定が有効）。
	〈USB+RS-232Cモデルのみ〉 RS-232Cインターフェースボードのスライドスイッチの動作モード設定とプリンター前面にあるDIP SWの設定と合っていない。	RS-232Cインターフェースボードのスライドスイッチの動作モード設定とプリンター前面にあるDIP SW1、2の動作モード設定を合わせてください。（→51ページ、56ページ参照）
調整ボリュームの設定が反映されない。	リモートパネルの設定を有効にしている。	DIP SW9でリモートパネルとDIP SWの設定のどちらを有効にするかを設定することができます（ONで操作部ボリューム設定が有効）。
印刷データを受信しない。 プラグ・アンド・プレイでプリンターが認識されない。	DIP SWの設定で有効にしているインターフェースと異なるインターフェースで通信しようとしている。	DIP SW10で本体のUSBインターフェースとインターフェースボードのどちらのインターフェースを有効にするかを設定することができます（OFFでインターフェースボードが有効）。
センサーしきい値調整機能が働かない。	DIP SWの設定で用紙頭出しセンサーの選択を「センサー無視」にしている。	DIP SW8を“ON”にして、DIP SW6とSW7でセンサーを選択してください（→56ページ参照）。

4

故障かな？と思ったらときは

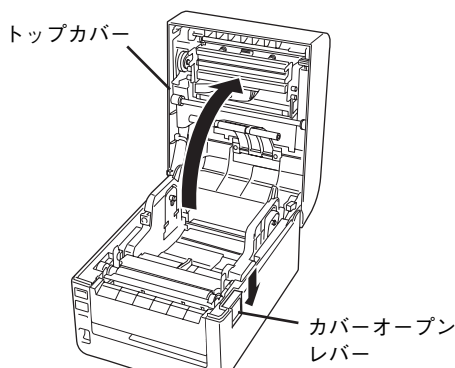
用紙が詰まったとき

本プリンターの内部で用紙が詰まったときは、次の手順に従って取り除いてください。

⚠ 注意

- トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- カッターモジュールにはカッター（刃）が組み込まれています。たいへん危険ですので、用紙が詰まったときには電源をOFFにしてお買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口までご連絡ください。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

- ① カバーオープンレバーを押し、トップカバーを後方へ静かに倒すように全開にします。



- ② つまっている用紙を取り除きます。

カッターユニットを装着している場合は、お買い求めの販売店または添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス受付窓口にご連絡してください（お客様ご自身で取り除かないでください）。

- ③ 用紙をセットし直します。

1章の「8 用紙をセットする」（33ページ）を参照してください。

🔑 重要

- サーマルヘッドやプラテンを鋭利なもので傷つけないでください。印刷不良や故障の原因になります。
- サーマルヘッドの発熱部に直接手を触れないでください。静電気により、サーマルヘッドが破損するおそれがあります。

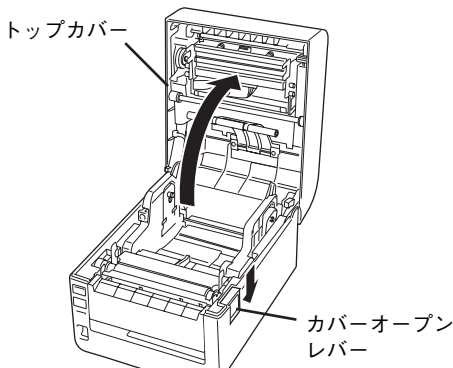
リボンが途中で切れたとき

リボンが途中で切れたときは、次の手順で貼り合わせてください（これは応急処置の場合です）。
新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「7 リボンを取り付ける」(30ページ)を参照）。

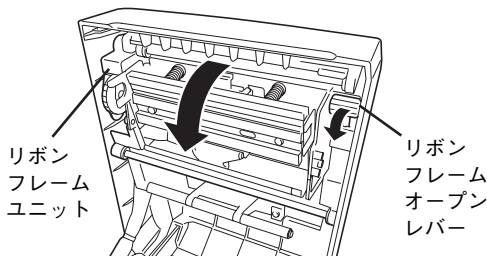
⚠ 注意

- トップカバーは後方へ倒すように全開にしてください。中途半端な状態にしておくと不意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部に手などをぶつけないように注意してください。けがの原因となるおそれがあります。

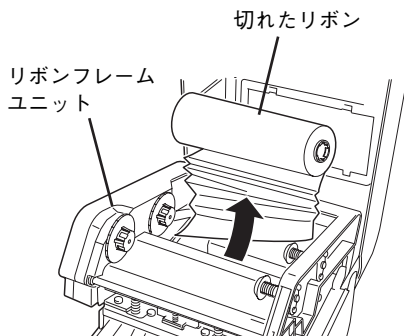
- ① カバーオープンレバーを押し、トップカバーを開きます。



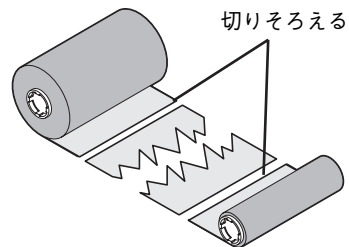
- ② リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。



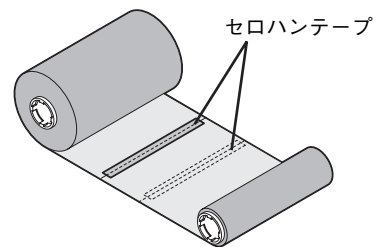
- ③ 切れたリボンを取り外します。



- ④ 切れた部分をきれいに切りそろえます。



- ⑤ 左右がズレないようにリボンを重ね合わせ、合わせ目をセロハンテープでしっかり止めます。



- ⑥ 使用済み側の方にリボンを2~3周ほど巻き取り、ガイドホイールとドライブホイールの上にセットし直します。

1章の「7 リボンを取り付ける」(30ページ)を参照してください。

4

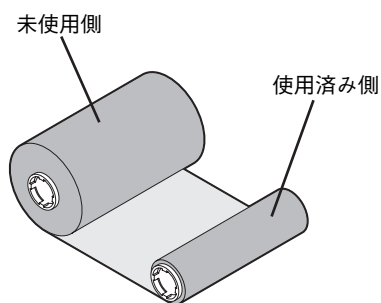
故障かな?と思ったときは

リボンの巻きが乱れたとき

リボンの保管が悪かったり、リボンの取り付け時にリボンを落として巻きが乱れたときは、次の手順で巻き戻してください（これは応急処置の場合です）。

新しいリボンがあるときは、リボンを交換してください（1章の「7 リボンを取り付ける」（30ページ）を参照）。

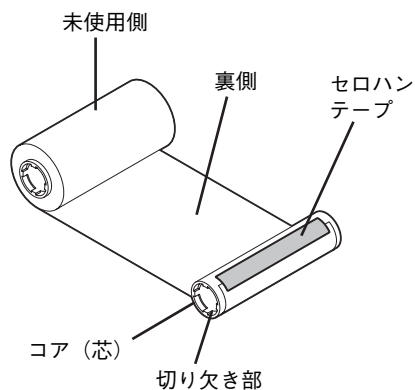
- ① 二人でリボンの両側を持ち、リボンを張った状態で左右がズレないように巻き戻します。



リボンを強く引っ張らないでください。
必要以上に強く引っ張ると、リボンが切れます。

- ② どうしても上手に巻き戻せないときは、使用済み側のリボンを切断します。

- ③ 使用済み側のコア（芯）に未使用側のリボンをセロハンテープでしっかり貼り付け、2～3周ほど巻き取ります。



リボンはコア（芯）と水平になるよう貼り付けてください。斜めに貼り付けると、リボンにシワが発生する原因となります。

- ④ リボンをセットし直します。

1章の「7 リボンを取り付ける」（30ページ）を参照してください。

保証および修理の依頼について

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話問い合わせの際に必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる時に必要な「ログインID」を取得してください。ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

ご登録については装置に添付のNECサービス網一覧表を参照してください。

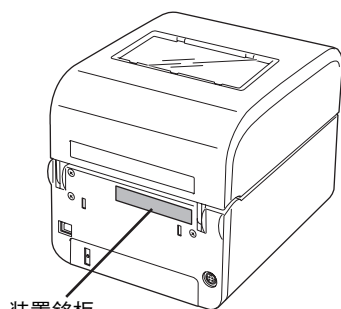
保証について

本製品には『保証書』が付いています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については『保証書』をご覧ください。

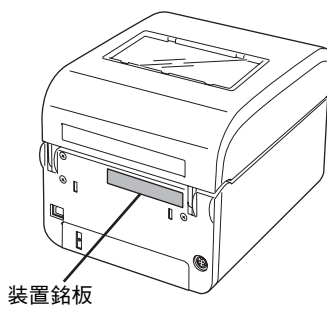
保証期間後の保守サービスについては、この後の「保守サービスについて」（82ページ）をご覧ください。プリンターをお買い求めになった販売店またはサービス受付窓口にご相談ください。



本体の背面に、製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された装置銘板が貼ってあります。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また装置銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一、プリンターが保証期間に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの際にご相談ください。



MultiCoder 502L3Tタイプ



MultiCoder 502L3Dタイプ

4

故障かな？と思ったらときは

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を行ってください。

- ① 電源プラグ、電源コードおよびインターフェースケーブル（無線LANの場合を除く）などが正しく接続されていることを確認します。
- ② リボンや用紙の取り付けが確実に行われていることを確認します。
- ③ 「エラー表示が出ているときは」（74ページ）、「エラー表示が出ていないのにおかしいときは」（76ページ）を参照し、該当する症状があれば記載されている処置を行います。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、この後の「保守サービスについて」をご覧ください。また、保証期間中の修理は『保証書』を添えてお申し込みください。



チェック

- 問い合わせをする際、7セグLEDの表示内容やランプの状態（点灯または点滅）をご確認ください。故障時の7セグLEDの表示、ランプの表示は修理の際の有用な情報となることがあります。
- プリンターをお持ち込みいただくときは「プリンターを運搬するときは」（84ページ）の手順に従ってプリンターを梱包してください。

保守サービスについて

プリンターの問題はプリンター自身に起因するものばかりでなくパソコンなど関連商品にも起因する場合があります。マニュアルの記載どおり処置を行っても、なお問題が解決しない場合はプリンターに添付のNECサービス網一覧表をご覧ください。保守サービスをご利用ください。

プリンターの寿命について

本プリンターの製品寿命は使用年数5年です。その後も継続して使用される場合は、必ず販売店またはサービス窓口にご相談ください（損耗状態によっては継続して使用できない場合があります）。なおサーマルヘッドとプラテンブロックは消耗部品（有償）です。

補修用部品について

本プリンターの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

マニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお買い求めください。ユーザーズマニュアル（コピー版）を再度購入することができます。

品名 MultiCoder 502Lシリーズ ラベルプリンター ユーザーズマニュアル

なお、マニュアルの紛失に備えて、品名をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL : <http://pcm.mepros.com/>

電話 : 03-5471-5215

受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00 13:00~16:00

(土曜、日曜、祝祭日はご利用になれません)

FAX : 03-5471-3996

受付時間 24時間 (いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)



チェック

ユーザーズマニュアルはNEC 8 番街 (<http://nec8.com/>) よりPDF形式 (Adobe Reader または Acrobat Reader (Ver.5以降) を推奨) の電子データを閲覧、ダウンロードすることができます。

情報サービスについて

NEC製品に関する最新情報を下記で提供しています。

インターネットのWeb ページ	NEC 8 番街 (http://nec8.com/)
-----------------	--

プリンターを運搬するときは

本プリンターを引っ越しや修理などで移動するときは、次の手順に従って付属品などを取り外し、梱包してください。

- ① プリンターの電源スイッチをOFFにします。
- ② 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- ③ プリンターにインターフェースケーブルを接続している場合は、ケーブルを取り外します。
- ④ 用紙を取り出します。
- ⑤ リボンを取り外します。
1章の「7 リボンを取り付ける」(30ページ)を参照してください。
- ⑥ スタッカまたはハクリガイドを取り付けている場合は取り外します。
- ⑦ オプションを外します。
オプションを取り付けている場合、取り外してください。取り外し方はオンラインマニュアルを参照してください。
- ⑧ 梱包します。
「4 保護用部品を取り除く」(26ページ)を参照して印刷機構部分を柔らかい用紙などで保護してから梱包材を取り付けてプリンターおよび付属品を箱に入れます。
これでプリンターを運搬する準備ができました。

プリンターの廃棄とリボンの処理について

プリンターの廃棄について

プリンターおよびオプションの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせ願います。

また、NECでも法人のお客様に販売したプリンターを対象として、NECグループの物流ネットワークを効率的に活用し、使用済みとなったプリンターを有償でお客様から回収して再資源化拠点で処理しております。詳しくは、<http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/>をご覧ください。



プリンターの廃棄の際は、他の装置への転用を防ぐために、プリンターに添付されていた電源コードも一緒に廃棄してください。
規格に合っていない装置に使用すると、感電や火災の原因となることがあります。

リボンの廃棄について

使用済みのリボンを廃棄するときは各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。

また、NECでも資源の有効利用と地域環境保全を目的に使用済みのNEC製リボンの回収を行っております。恐れ入りますが、使い終わりましたリボンがございましたら、全国のサービス窓口のカウンターにお持ち頂き、回収にご協力をお願いいたします。

詳しくは、<http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/>をご覧ください。

索引

数字

7セグメントLED.....	55
----------------	----

アルファベット

ACアダプター.....	14
DIP SW.....	41, 50, 56
LANケーブル.....	48
MultiCoder SDK説明書.....	ix
NEC PCマニュアルセンター.....	83
NECサービス網一覧.....	14
NLPLコマンドマニュアル.....	ix
PrinterSignalStation API説明書.....	ix
RS-232Cインターフェースケーブル.....	14, 50
USBケーブル.....	14, 47

ア

安全上のご注意.....	2
安全にお使いいただくために.....	1
一般感熱紙.....	18
印刷機構部.....	22
印刷方式.....	57
印刷モード切り替え.....	57
インターフェースボード装着時のインターフェースの 切り替え.....	58
内巻き.....	17
運搬.....	84
エラー表示.....	74
お客様登録.....	81
オプション.....	15

カ

外観.....	20
各部の名前.....	20
感熱タイプ.....	v
関連文書.....	ix
銀PET.....	18
警告ラベル.....	1
ケーブルロック.....	14
交換 サーマルヘッド.....	68
プラテンブロック.....	71
故障かな?と思ったときは.....	73
コート紙.....	18

サ

サーマルヘッド 交換.....	68
サーマルヘッドブロック.....	16
寿命.....	82
情報サービス.....	83
消耗品.....	17
~の交換.....	68
消耗部品.....	16
白PET.....	18
スイッチ.....	54
電源.....	29
スタッカ.....	14
スライドスイッチ.....	51
清掃 カバー.....	64
サーマルヘッド.....	65
ハクリモジュール.....	67
プラテン.....	65
用紙収納部.....	66
リボンローラー.....	65
接続 ACアダプター.....	27
LANケーブル.....	48
RS-232Cインターフェースケーブル.....	50
USBケーブル.....	47
電源コード.....	27
パラレルインターフェースケーブル.....	49
設置場所.....	12
センサーしきい値.....	44
センターリブ.....	14, 33
操作部.....	53
装置銘板.....	81
外巻き.....	17
ソフトウェアCD-ROM.....	14
ソフトウェアのご使用条件.....	14

タ

耐保存感熱紙.....	18
タグ紙.....	18
正しく使用するために.....	13
調整値設定のリモートパネル/操作部ボリューム設定の 切り替え.....	58
調整ドライバー.....	14
ディップスイッチ.....	41, 50, 56
適合表.....	19
テスト印刷.....	42
テスト用紙.....	14
電源コード.....	14
~を接続する.....	27
電源スイッチ.....	29
電源のON/OFF.....	29
動作モード切り替え.....	57
特長.....	x

取り付け	
用紙	33
リボン	30

ナ

日常の保守	63
熱転写+感熱タイプ	vi

ハ

廃棄	84
ハクリガイド	14
箱の中身	14
初めてお使いになるとき	11
パラレルインターフェースケーブル	49
ファンフォールド紙	17, 37
プラテンブロック	16
交換	71
プリンタードライバー設定の有効/無効	58
プリンターの症状一覧	76
プレ印刷	45
ヘッドクリーナー	14, 16, 65, 71
別売品	15
変換プラグ	14
保護用部品	26
補修用部品	82
保守サービス	82
保証	81
保証書	14
ボリューム	59

マ

マニュアルの構成	viii
マニュアルの再購入	83
モデル	v, vi

ヤ

ユーザズマニュアル	14
ユポ	18
ユポ感熱	18
用紙	17
~が詰まったとき	78
~をセットする	33
用紙頭出しセンサーの選択	58
用紙一覧	18
用紙とリボンの適合表	19

ラ

ランプ	55
-----	----

リストバンド	17
リストバンド一覧	19
リボン	17
~が途中で切れたとき	79
~の廃棄	84
~の巻きが乱れたとき	80
幅	19
~を取り付ける	30
リボン一覧	18
リボン種類マーキング色一覧	18
リボン/センターリフ/用紙 取り付け・取り外し	
マニュアル	ix, 14
リボン幅	30
リモートパネル	
DHCP/BOOTP機能設定	62
[FEED] スイッチによる印刷	61
IPアドレス	62
RARP機能設定	62
X位置微調整値	62
印刷濃度微調整 (感熱)	62
印刷濃度微調整 (熱転写)	62
印刷方向	61
インプットブライム	61
薄紙印刷モード	61
エラー発生時ブザー音	61
カッターオプション制御方法	61
カット (ハクリ) 位置微調整値	62
カバークローズ後停止位置	61
黒マーク検出時の頭出し制御	61
ゲートウェイ	62
サブネットマスク	62
自動カット位置送り機能	61
自動カット位置送り微調整値	62
自動カット位置戻し時間	61
自動正転待機位置微調整値	62
自動用紙先頭位置合わせ	61
ステータス自動送信	61
ゼロスラッシュ	61
ソケット通信ポート設定	62
電源ON・カバー閉用紙確認	61
電源ON時の断線エラー表示	61
バックフィード速度	61
パラレル/F ACK幅変更	61
フィード量微調整値	62
プリンタ起動時の状態	61
ミラー印刷	61
戻し位置微調整値	62
リモートパネル API説明書	ix
レジンリボン	18

ワ

ワックスリボン	18
ワックスレジンリボン	18

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、オプションのPR-NP-09 プリントサーバー（無線+LANボード）を搭載した場合、およびUSB+無線LANモデルは、クラスA情報技術装置の基準になります。その場合、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会 (社団法人日本電子工業振興協会) のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下ガイドラインに基づく表示)

海外でのご使用について

本装置は、日本国内仕様のため海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

電気通信事業法について

LANインターフェースでネットワークへ接続される場合、電気通信事業法で定められた電気通信業者の通信設備（ADSLモデムやCATVなど）へ直接接続することは許可されていません。

